

名古屋市観光客・宿泊客動向調査

（平成１８年度）

平成１９年 １０月

名古屋市市民経済局

目 次

1. 観光統計について	1
(1) 全国観光統計基準の採用	1
(2) 入込客数	1
(3) 観光消費額	3
2. 調査の集計結果	5
2-1 観光客の現状	5
(1) 調査の概要	5
(2) 調査結果	7
2-2 宿泊客の現状	24
(1) 調査の概要	24
(2) 調査結果	25
2-3 宿泊施設調査	40
(1) 調査の概要	40
(2) 宿泊施設の現状	41
(3) 宿泊客数	43
2-4 全国から見た名古屋の観光に関する評価	53
(1) 調査の概要	53
(2) 名古屋の観光の認知度・訪問状況	54
(3) 名古屋に対する評価	60
(4) 観光振興の条件	68
3. 資料編	74
(1) 主要観光施設への入込動向	74
(2) 名古屋のまちの印象	78

巻末 調査票

- 注1：本文中で用いたテレビ塔、パノラマハウス、ブルーボネット、イタリア村、スカイプロムナードの正式名称は、それぞれ名古屋テレビ塔、JR セントラルタワーズパノラマハウス、名古屋港 ワイルドフラワーガーデンブルーボネット、名古屋港イタリア村、ミッドランドスクエア スカイプロムナードである。
- 注2：文章や表、グラフに記してある構成比率（％）は、小数第2位で四捨五入しているため、総和が 100.0 とならない場合や、小計と内訳の総和が一致しない場合がある。
- 注3：表、グラフに記してある居住地別のなどの数値にはその項目の「無回答」が除かれているため、その合計と全体の数値が一致しない場合がある。

1. 観光統計について

(1) 全国観光統計基準の採用

名古屋市では、交流人口の核をなす観光入込客数の把握の精度を高め、観光施策の企画立案に必要な基礎データを整備するため、愛・地球博開催を契機に平成 17 年度より、全国観光統計基準に準拠し、行・祭事、イベント、スポーツ、音楽・演劇等の都市観光を中心とする新たな観光地点を調査に加えた。

平成 18 年度については、全国観光統計基準に適合する 85 地点の観光入込客数を把握した。

(2) 入込客数

①観光入込客延べ人数

観光関連施設や行・祭事、イベント実施団体からの入込客数の回答により、観光入込客延べ人数を算出した。平成 18 年度の名古屋市内の観光入込客延べ人数は約 5,317 万人であり、平成 17 年度と比較して約 551 万人減少（対前年度比率 90.6%）した。

主な減少理由は、平成 17 年度に「愛・地球博」の名古屋市事業として「万博ささしまサテライト事業」（352 万人）と「新世紀・名古屋城博」（120 万人）が開催されたことである。

表 1-2-1 観光地点の分類別入込客数の推移

全国観光統計基準に基づく分類		平成 17 年度		平成 18 年度	
大分類	中分類	地点数	入込客延べ人数	地点数	入込客延べ人数
学ぶ（見る・体験する）	自然				
	文化・歴史	26	19,577,602	25	19,246,422
	産業観光	6	1,821,014	7	2,003,055
遊ぶ（楽しむ・リフレッシュする）	スポーツ・レクリエーション施設	17	14,834,016	17	12,955,647
	温泉				
	買物				
触れ合う（交流する）	行・祭事	12	7,477,495	14	7,428,814
	イベント	24	14,967,916	22	11,538,634
計		85	58,678,043	85	53,172,572

注：行・祭事、イベントの地点数は、年度によって変動します。

◆調査対象観光地点の選定について

名古屋市では、平成 8 年 3 月に社団法人日本観光協会が刊行した『全国観光客数統計～観光統計の調査・集計方法の全国統一～（全国観光統計基準の提案）』の基準を参考に、調査対象観光地点を選定している。

参考：調査対象施設の基準

- ・原則として、年間入込客数が 5 万人以上かつ、市外の観光入込客数が 2 割以上見込まれる市内観光地点を対象とした。
- ・新規開業施設については、初年度から年間 5 万人以上の入込客が見込まれる場合には、初年度から調査対象とした。

②観光入込客実人数の推計

観光客の現状調査の回答により、平均訪問地点数（回遊率）を設定し、観光入込客実人数を推計した。平成 18 年度の観光入込客実人数は 3,074 万人であり、平成 17 年度と比較して 440 万人減少（対前年度比率 87.5%）した。

表 1-2-2 観光入込客 延べ人数と実人数の推移

	平成 17 年度	平成 18 年度
観光入込客延べ人数（人）	58,678,043	53,172,572
回遊率（注）	1.67	1.73
観光入込客実人数（万人）	3,514 万人	3,074 万人

③居住地別観光入込客数の推計

観光客の現状調査の回答により、観光入込客の居住地割合を設定し、名古屋市内・市外別の観光入込客実人数を推計した。

表 1-2-3 宿泊客・日帰り客実人数の推計

	全 体	名古屋市内客	名古屋市外客
観光入込客の居住地割合	100%	33.5%	66.5%
観光入込客実人数	3,074 万人	1,030 万人	2,044 万人

④宿泊客実人数の推計

宿泊施設の現状調査の回答により、宿泊施設の延べ宿泊客数、宿泊客実人数、宿泊客平均宿泊日数を推計した。平成 18 年度の宿泊客実人数は 475 万人である。

表 1-2-4 宿泊施設の宿泊客数 延べ人数と実人数の推移

	平成 17 年度	平成 18 年度
延べ宿泊客数（人）	7,135,833	6,288,947
宿泊客実人数（人）	4,472,967	4,752,837
宿泊客平均宿泊日数（日泊）	1.60	1.32

⑤居住地別宿泊客実人数の推計

宿泊客の現状調査の回答により、宿泊客の居住地割合を設定し、名古屋市内・市外別の宿泊客実人数を推計した。

表 1-2-5 居住地別宿泊客実人数

	全 体	名古屋市内客	名古屋市外客
宿泊客の居住地割合	100%	5.6%	94.4%
宿泊客実人数	475 万人	27 万人	448 万人

⑥宿泊客・日帰り客実人数の推計

観光入込客実人数から宿泊客実人数を差し引いて、日帰り客実人数を推計した。

表 1-2-6 宿泊客・日帰り客実人数の推計

	全 体	名古屋市内客	名古屋市外客
観光入込客実人数	3,074 万人	1,030 万人	2,044 万人
宿泊客実人数	475 万人	27 万人	448 万人
日帰り客実人数	2,599 万人	1,003 万人	1,596 万人

(3) 観光消費額

①観光総消費額の推計

観光客の現状調査の回答により、観光入込客一人あたりの名古屋市内での消費額を名古屋市内・市外別、宿泊客・日帰り客別に設定し、観光総消費額を推計した。平成 18 年度の名古屋市内の観光総消費額は、3,405 億円である。

表 1-3-1 観光総消費額の推計

	名古屋市内客	名古屋市外客	観光客計
宿泊客実人数	27 万人	448 万人	475 万人
日帰り客実人数	1,003 万人	1,596 万人	2,599 万人
宿泊客一人あたり消費額	20,200 円	21,463 円	
日帰り客一人あたり消費額	8,311 円	9,737 円	
宿泊客総消費額	55 億円	962 億円	1,017 億円
日帰り客総消費額	834 億円	1,554 億円	2,388 億円
名古屋市内観光総消費額	889 億円	2,516 億円	3,405 億円

②観光消費額の内訳

観光客の現状調査の回答により、観光入込客一人あたりの名古屋市内での各項目別の平均消費額を算出し、名古屋市内での旅行費用項目別の消費額を推計した。

表 1-3-2 観光客一人あたりの平均消費額

	全 体	名古屋市内客	名古屋市外客
宿泊客 食事費	8,309 円	2,211 円	8,469 円
宿泊客 交通費	2,710 円	1,737 円	2,737 円
宿泊客 土産費	5,151 円	2,184 円	5,229 円
宿泊客 宿泊費	12,177 円	11,447 円	12,202 円
日帰り客 食事費	2,731 円	2,489 円	2,878 円
日帰り客 交通費	1,237 円	677 円	1,610 円
日帰り客 土産費	1,547 円	1,117 円	1,810 円

表 1-3-3 旅行費用項目別総消費額

	名古屋市内客	名古屋市外客	観光客計
宿泊客 食事費総消費額	6 億円	379 億円	385 億円
宿泊客 交通費総消費額	5 億円	123 億円	128 億円
宿泊客 土産費総消費額	6 億円	234 億円	240 億円
宿泊客 宿泊費総消費額	31 億円	547 億円	578 億円
日帰り客 食事費総消費額	250 億円	459 億円	709 億円
日帰り客 交通費総消費額	68 億円	257 億円	325 億円
日帰り客 土産費総消費額	112 億円	289 億円	401 億円

表 1-3-4 旅行費用の内訳

	名古屋市内客	名古屋市外客	観光客計
食事費消費額	256 億円	838 億円	1,094 億円
交通費消費額	73 億円	380 億円	453 億円
土産費消費額	118 億円	523 億円	641 億円
宿泊費消費額	31 億円	547 億円	578 億円
その他消費額	411 億円	228 億円	639 億円
総消費額	889 億円	2,516 億円	3,405 億円

2. 調査の集計結果

2-1 観光客の現状

(1) 調査の概要

①調査の目的

市内主要観光地点における観光客の入込・遊覧状況等を把握するためアンケート調査を実施した。

②調査日時等

●観光施設（名古屋城、熱田神宮、ノリタケの森、イタリア村）調査

・秋期調査：平成 18 年 11 月 1 日（水）9：30～16：30 天候：薄曇時々晴

※熱田神宮のみ 11 月 2 日（木）9：30～16：30 天候：曇時々晴後一時雨

11 月 4 日（土）9：30～16：30 天候：晴

11 月 5 日（日）9：30～16：30 天候：晴

・春期調査：平成 19 年 3 月 14 日（水）9：30～16：30 天候：晴

3 月 17 日（土）9：30～16：30 天候：晴一時薄曇

3 月 18 日（日）9：30～16：30 天候：晴

※ノリタケの森のみ 3 月 24 日（土）9：30～16：30 天候：曇一時小雨

3 月 25 日（日）9：30～16：30 天候：晴

●名古屋まつり調査：平成 18 年 10 月 15 日（日）9：30～16：30 天候：快晴

●イベント会場（ポートメッセなごや）調査

・トミカ博・コミックライブ：平成 18 年 12 月 24 日（日）9：30～16：30 天候：晴一時薄曇

・インポートカーショー：平成 19 年 1 月 7 日（日）9：30～16：30 天候：雪一時晴

③調査方法

それぞれの調査地点を訪れた観光入込客のうち、中学生以上と思われる観光入込客に対して、等間隔無作為抽出法により調査対象を抽出し、対面聞き取りにより年齢を確認した上で調査を行った。

④調査場所及び調査サンプル数

観光地点を全国観光統計基準に基づく分類（注）や施設・催し物の特性、所在地を勘案して、以下の地点で調査を実施した。

観光地点名称	秋期調査（11月）			春期調査（3月）			合 計
	平日	土曜	日曜	平日	土曜	日曜	
名古屋城	101	111	110	98	101	100	621
熱田神宮	110	110	110	100	100	100	630
ノリタケの森	111	111	110	100	100	100	632
イタリア村	110	109	110	100	100	100	629
名古屋まつり	603						603
イベント会場 (ポートメッセなごや)	(トミカ博・コミックライブ) 300						600
	(インポートカーショー) 300						
全 体							3,715

（注）大分類「学ぶ（見る・体験する）」・中分類「文化・歴史」として「名古屋城」と「熱田神宮」、同中分類「産業観光」として「ノリタケの森」、大分類「遊ぶ（楽しむ・リフレッシュする）」・中分類「スポーツ・レクリエーション」として「イタリア村」、大分類「触れ合う（交流する）」・中分類「行・祭事」として「名古屋まつり」、同中分類「イベント」として「ポートメッセなごや」に協力していただきました。

(2) 調査結果

①居住地構成、性・年齢構成

a. 居住地構成

観光入込客の居住地は、全体では「名古屋市」が33.5%と最も多く、次いで「愛知県（名古屋市を除く）」（24.7%）で、「岐阜県」（6.2%）、「三重県」（5.0%）、「静岡県」（3.1%）を合計した「東海」地域が72.5%を占め、「関東」（9.1%）、「近畿」（7.3%）など「東海以外」の地域からの入込客は全体で27.5%である。

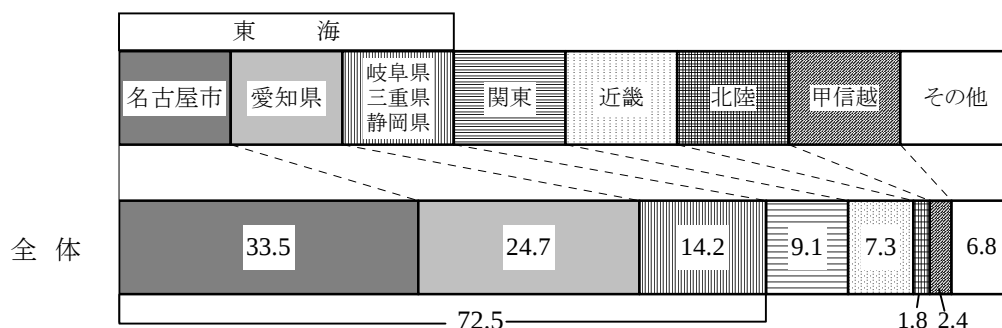
観光地点別にみると、「名古屋まつり」（55.9%）、「熱田神宮」（46.7%）では「名古屋市」居住者の構成比が相対的に高い。

また、「名古屋まつり」（94.3%）、「イベント会場」（96.3%）の入込客では「東海」地域の割合が9割を超えている。一方、「名古屋城」では「東海以外」の地域が67.8%と広域的に集客している。

表 2-1-1 入込客の居住地構成（観光地点別）

（単位：％）

観光地点 地 域	東 海	東 海 以 外						東 海 以 外	合 計
		名 古 屋 市	名 古 屋 市 外	愛 知 県 (名古屋市を除く)	岐 阜 県	三 重 県	静 岡 県		
名古屋城	32.2	11.5	20.7	14.2	1.5	1.8	3.2	67.8	100.0
熱田神宮	70.4	46.7	23.7	19.4	1.9	1.3	1.1	29.6	100.0
ノリタケの森	73.4	36.5	36.9	21.5	5.9	3.0	6.4	26.6	100.0
イタリア村	69.9	24.0	45.9	26.3	8.3	7.5	3.8	30.1	100.0
名古屋まつり	94.3	55.9	38.4	25.6	6.8	5.0	1.0	5.7	100.0
イベント会場	96.3	27.0	69.3	42.0	13.1	11.4	2.8	3.7	100.0
全 体	72.5	33.5	39.0	24.7	6.2	5.0	3.1	27.5	100.0



注：愛知県は名古屋市を除く

東 海—愛知県・岐阜県・三重県・静岡県

関 東—東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県・群馬県・栃木県・茨城県

近 畿—滋賀県・京都府・大阪府・奈良県・和歌山県・兵庫県

北 陸—福井県・石川県・富山県

甲信越—新潟県・長野県・山梨県

図 2-1-1 入込客の居住地構成

b. 性・年齢構成

全体では「20～29 歳」(22.5%)と「30～39 歳」(21.9%)が多く、以下「60 歳以上」(16.7%)、「40～49 歳」(15.1%)、「50～59 歳」(14.7%)、「10～19 歳」(9.1%)となっている。

性別にみると、男性では「30～39 歳」(24.0%)が、女性では「20～29 歳」(22.1%)が最も多くなっている。

観光地点別にみると、「60 歳以上」の割合が高いのは「ノリタケの森」(25.9%)と「熱田神宮」(24.3%)である。「名古屋城」では「20～29 歳」(35.1%)、「イベント会場」では「30～39 歳」(33.2%)と「10～19 歳」(19.7%)の割合が相対的に高い。

「イタリア村」と「名古屋まつり」では、他の地点と比較して、年齢構成に偏りが少なく、年代は全般にわたって集客する地点となっている。

表 2-1-2 入込客の地点別性・年齢構成

(単位：%)

性別	年 齢	10～ 19歳	20～ 29歳	30～ 39歳	40～ 49歳	50～ 59歳	60歳 以上	合 計
全 体	観光地点							
	名古屋城	6.3	35.1	16.3	9.5	14.3	18.5	100.0
	熱田神宮	4.5	17.2	21.2	15.1	17.7	24.3	100.0
	ノリタケの森	3.4	14.6	19.1	15.2	21.7	25.9	100.0
	イタリア村	12.9	19.6	21.4	18.8	14.3	13.0	100.0
	名古屋まつり	8.1	21.6	20.3	18.8	14.0	17.2	100.0
	イベント会場	19.7	27.0	33.2	13.5	5.8	0.7	100.0
	合 計	9.1	22.5	21.9	15.1	14.7	16.7	100.0
男 性	名古屋城	7.3	38.2	14.6	9.0	14.6	16.3	100.0
	熱田神宮	3.8	14.9	19.3	17.4	16.8	27.8	100.0
	ノリタケの森	2.9	13.7	21.0	15.1	20.5	26.8	100.0
	イタリア村	10.7	21.0	25.5	16.5	12.8	13.6	100.0
	名古屋まつり	3.9	22.1	19.3	22.8	14.7	17.2	100.0
	イベント会場	5.3	23.9	42.8	19.5	7.7	0.9	100.0
	合 計	5.7	23.2	24.0	16.6	14.1	16.4	100.0
女 性	名古屋城	5.3	31.8	18.9	10.6	14.0	19.3	100.0
	熱田神宮	5.4	19.7	23.4	13.0	18.1	20.4	100.0
	ノリタケの森	3.7	15.3	18.6	14.6	22.0	25.7	100.0
	イタリア村	14.5	18.9	18.7	20.3	15.3	12.3	100.0
	名古屋まつり	12.2	21.0	21.4	14.9	13.2	17.3	100.0
	イベント会場	38.5	31.2	20.8	5.8	3.5	0.4	100.0
	合 計	12.4	22.1	20.1	13.7	15.0	16.6	100.0

②旅行の内容

a. 今回の主な目的

旅行の主な目的は「観光施設の見学」が 33.0%と最も多く、次いで「イベント」(25.6%)、「ショッピング」(11.8%) となっており、これらをはじめとする「観光・娯楽」目的者の割合は合わせて 80.7%を占めている。

時系列にみると、調査概要は昨年度までと異なっているものの、ここ 4 年間は「観光・娯楽」の割合は 8 割台が続いている。

観光地点別にみると、「イタリア村」(54.6%)、「名古屋城」(53.3%)、「ノリタケの森」(47.1%) の入込客では「観光施設の見学」目的、「イベント会場」(89.6%) と「名古屋まつり」(44.4%) では「イベント」目的の割合が最も高くなっている。

「ショッピング」目的の割合は「名古屋まつり」(22.6%) や「イタリア村」(20.4%)、「ノリタケの森」(16.5%) で相対的に高い。また、「熱田神宮」では「七五三」を主とした「その他」(42.1%) 目的の割合が最も高くなっている。

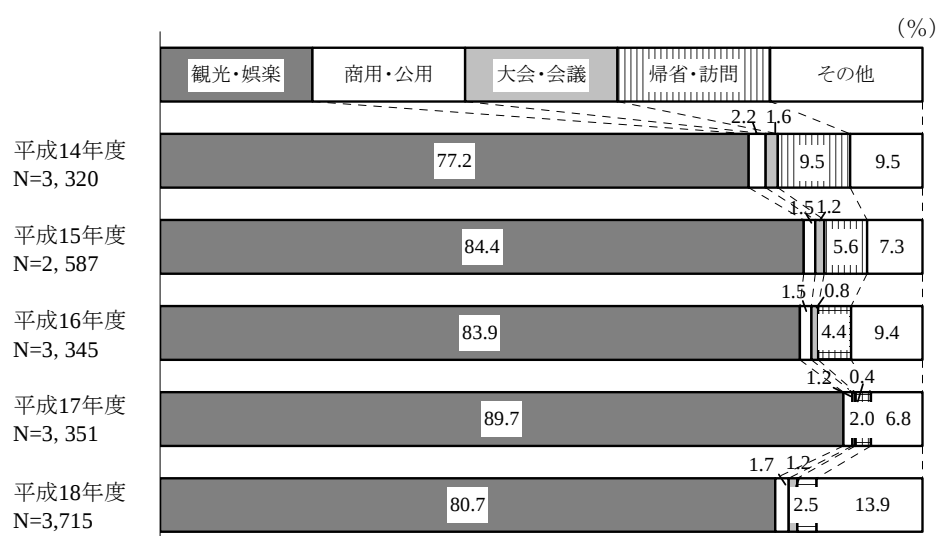


図 2-1-2 入込客の主な旅行目的と構成比の推移

表 2-1-3 入込客の主な旅行目的（観光地点別）

(単位：%)

旅行目的 観光地点	観光・娯楽						商用・公用	帰省・冠婚葬祭	大会・会議に参加	その他	合計
	観光施設の見学	ショッピング	観劇・コンサート	イベント	飲食	その他の娯楽行為					
名古屋城	53.3	2.6	2.4	10.9	6.4	4.1	1.8	3.4	1.3	13.8	100.0
熱田神宮	34.1	3.5	0.6	3.4	3.7	3.4	2.4	4.2	2.6	42.1	100.0
ノリタケの森	47.1	16.5	4.0	5.2	4.0	5.0	2.3	3.5	0.8	11.6	100.0
イタリア村	54.6	20.4	0.8	3.5	4.0	6.4	1.6	2.2	1.9	4.5	100.0
名古屋まつり	5.1	22.6	3.8	44.4	4.6	6.9	1.9	1.2	0.5	8.9	100.0
イベント会場	1.7	5.4	0.2	89.6	0.3	0.8	0.3	0.3	0.0	1.3	100.0
全 体	33.0	11.8	2.0	25.6	3.8	4.4	1.7	2.5	1.2	13.9	100.0

b. 名古屋を選んだきっかけ

「観光・娯楽」目的で来訪した方（全体の80.7%）の目的地として名古屋を選んだきっかけは、「友人・知人に薦められた」（19.9%）、「前に来たことがあり良かったから」（19.5%）、「雑誌・新聞をみて」（19.3%）が多い。以下、「特になし」（16.0%）、「テレビ・ラジオ番組の情報」（11.1%）、「インターネットホームページの情報」（8.9%）となっている。

観光地点別にみると、「名古屋城」と「ノリタケの森」では「友人・知人に薦められた」が、「イタリア村」と「名古屋まつり」では「前に来たことがあり良かったから」が、「熱田神宮」と「イベント会場」では「雑誌・新聞をみて」が比較的高いという結果になっている。

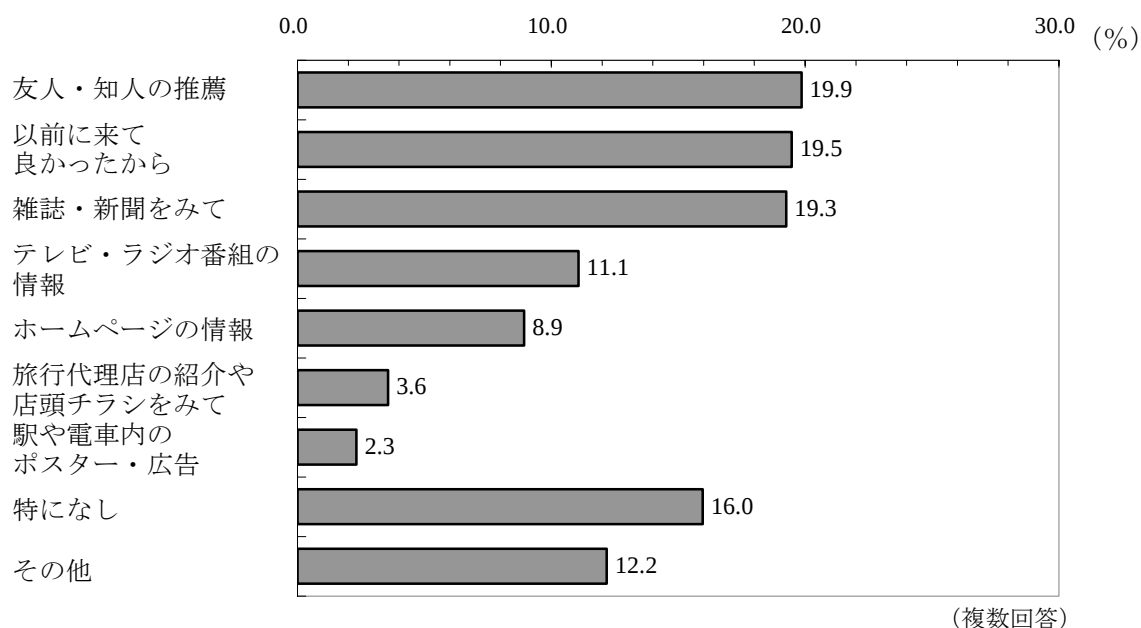


図 2-1-3 入込客の名古屋を選んだきっかけの内訳

表 2-1-4 入込客の名古屋を選んだきっかけの内訳（観光地点別）

(単位: %)

観光地点 \ きっかけ	友人・知人に薦められたから	前に来たことがあり良かったから	雑誌・新聞をみて	テレビやラジオ番組の情報から	インターネット	ホームページの情報から	旅行代理店の紹介や店頭チラシをみて	駅や電車内のポスター・広告	特になし	その他	合 計
名古屋城	26.1	17.6	16.7	5.6	9.0	2.6	3.4	11.3	19.3	111.6	
熱田神宮	21.8	16.1	23.2	16.5	10.2	8.4	2.2	11.5	6.2	116.1	
ノリタケの森	23.9	11.2	11.8	6.1	5.5	4.2	1.5	25.6	16.3	106.1	
イタリア村	9.7	37.9	11.2	5.4	3.2	3.6	0.7	20.2	14.8	106.7	
名古屋まつり	9.8	25.4	23.4	14.8	3.5	0.6	3.7	22.7	9.4	113.3	
イベント会場	23.2	17.0	24.3	14.3	18.3	1.6	1.8	7.9	9.7	118.1	
全 体	19.9	19.5	19.3	11.1	8.9	3.6	2.3	16.0	12.2	112.8	

c. 観光施設への遊覧状況

主要観光施設相互の立ち寄り状況をみると、「熱田神宮」と「ノリタケの森」、「イタリア村」の入込客は「名古屋城」にも、「名古屋城」の入込客は「熱田神宮」にも訪れる人が多い。また、「名古屋城」と「ノリタケの森」の入込客は「イタリア村」にも訪れる人が比較的多い。

調査場所ごとに他の観光施設への訪問状況をみると、「名古屋城」の入込客は上記のほか「テレビ塔」や「名古屋港」にも訪れる人が多く、一人あたりの訪問施設数は1.80施設となっている。「熱田神宮」の入込客一人あたりの訪問施設数は1.56施設と調査場所のうちでは他の施設への立ち寄りは最も少ない。「ノリタケの森」の入込客一人あたりの訪問施設数は1.72施設、「イタリア村」の入込客は「名古屋港水族館」や「名古屋港」にも訪れる人が多く、訪問施設数は1.77となっている。

「名古屋まつり」の入込客は「名古屋城」のほか「テレビ塔」や「ランの館」に、「イベント会場」の入込客は「名古屋港」や「イタリア村」、「名古屋港水族館」に訪れる人が多く、一人あたりの訪問施設数はそれぞれ1.72施設、1.82施設となっている。全般に調査場所の近隣にある観光施設にも立ち寄っているケースが多い。

居住地別にみると、「名古屋市」居住者では一人あたりの訪問施設数は1.48施設と少ない。一方、「名古屋市外」からの入込客は「名古屋城」や「名古屋港」、「テレビ塔」にも訪れる割合が高く、一人あたりの訪問施設数は1.86と「名古屋市」居住者より多くの観光施設に立ち寄っている。

表 2-1-5 他の観光施設への遊覧状況（地点・地域別）

（単位：％）

観光地点・地域 訪問施設	観 光 地 点						地 域	
	名古屋城	熱田神宮	ノリタケの森	イタリア村	名古屋まつり	イベント会場	名古屋市	名古屋市外
名古屋城		14.8	15.0	9.4	13.3	6.7	6.6	11.6
熱田神宮	10.3		4.9	4.5	4.1	5.0	2.7	5.9
白鳥庭園	0.0	3.7	0.3	0.3	1.3	0.2	1.5	0.7
ブルーボネット	0.0	0.0	0.3	1.1	0.0	0.3	0.6	0.2
徳川園	4.2	2.5	4.6	1.4	2.3	0.5	1.8	3.1
名古屋市博物館	0.5	1.0	0.2	0.0	1.0	0.2	0.5	0.4
市政資料館	0.0	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.1
文化のみち二葉館	0.2	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0
徳川美術館	3.1	2.2	4.1	0.6	1.0	0.2	0.7	2.5
名古屋市美術館	1.1	0.6	2.4	0.8	0.7	1.0	1.1	1.1
愛知県美術館	0.8	0.2	0.3	0.0	0.2	0.5	0.1	0.4
名古屋ボストン美術館	0.3	1.1	2.2	0.2	0.5	1.3	1.0	0.9
東山動植物園	4.5	3.2	3.3	4.3	2.3	5.8	2.5	4.6
ランの館	0.8	0.5	2.1	1.3	5.1	1.0	2.7	1.3
名古屋港水族館	3.5	3.3	3.5	11.4	2.7	7.7	4.4	5.9
名古屋港	8.5	4.0	3.5	14.3	3.5	14.2	3.3	10.3
名古屋市科学館	1.1	0.2	0.0	0.8	1.0	1.0	0.5	0.8
でんきの科学館	1.4	0.3	0.3	1.6	0.7	3.0	0.9	1.4
名古屋能楽堂	1.6	0.2	0.0	0.2	0.3	0.2	0.5	0.3
名古屋市農業センター	0.0	0.0	0.2	0.8	0.2	0.0	0.4	0.1
有松・鳴海絞会館	0.0	0.0	0.0	0.3	0.2	0.2	0.1	0.1
産業技術記念館	0.6	0.0	4.0	1.0	0.0	0.5	0.2	1.5
ノリタケの森	3.5	1.3		4.9	1.7	0.8	0.9	2.6
東谷山フルーツパーク	0.3	0.0	0.2	0.6	0.0	0.0	0.3	0.1
農業文化園・戸田川緑地	0.0	0.2	0.0	0.2	0.0	0.0	0.1	0.0
シートレインランド	1.0	0.3	0.2	0.6	0.7	1.5	0.6	0.8
イタリア村	6.9	1.0	6.8		3.8	8.7	2.1	5.7
東山スカイタワー	1.8	0.5	0.6	0.5	0.8	0.7	0.6	0.9
テレビ塔	11.1	2.7	2.5	3.5	7.1	6.2	2.0	7.3
その他	12.6	11.7	10.8	12.4	17.2	14.7	8.9	15.5
平均訪問施設数	1.80	1.56	1.72	1.77	1.72	1.82	1.48	1.86

（複数回答）

※一人あたりの平均訪問施設数

平均訪問施設数は、各観光地点での調査サンプル数（a）とその観光地点・施設以外へ訪れた数及び訪れる予定数（b）の合計を調査サンプル数（a）で除した数値。

$$\text{平均訪問施設数} : 1.73 = \{3,715 (a) + 2,713 (b)\} \div 3,715 (a)$$

d. 旅行形態

全体では、「友人・知人」が 37.9%、「夫婦」(16.7%)や「幼児・小学生連れ」(13.0%)など「家族連れ」が合計で 45.3%、「ひとり」が 12.0%となっている。

観光地点別にみると、「友人・知人」の割合は「イベント会場」や「名古屋城」、「イタリア村」では 4 割を超えている。一方、「熱田神宮」では「ひとり」(22.4%)や「幼児・小学生連れ」(19.5%)の割合が相対的に高い。

表 2-1-6 入込客の旅行形態（観光地点別）

(単位：%)

観光地点	旅行形態	ひとり	友人・知人	家族連れ			団体		その他	合計
				幼児・小学生連れ	夫婦	その他	一般	学生		
名古屋城		5.0	42.9	5.8	21.9	17.3	3.9	0.0	3.2	100.0
熱田神宮		22.4	23.3	19.5	15.7	14.0	3.5	0.2	1.5	100.0
ノリタケの森		14.8	35.4	9.3	20.0	14.6	4.9	0.2	0.8	100.0
イタリア村		3.5	42.8	11.1	15.2	20.0	5.3	0.5	1.7	100.0
名古屋まつり		13.0	35.7	14.8	19.1	15.5	0.9	0.0	0.9	100.0
イベント会場		13.5	47.4	17.9	8.2	12.3	0.0	0.0	0.9	100.0
全 体		12.0	37.9	13.0	16.7	15.6	3.1	0.1	1.5	100.0

パッケージ旅行の割合は、全体では 5.2%である。

観光地点別にみると、「イタリア村」の入込客では「パッケージ旅行」(11.4%)の割合が比較的多い。一方、「イベント会場」の入込客ではほとんどが「パッケージ旅行ではない」としている。

「東海以外」の地域からの入込客では 11.8%が「パッケージ旅行」を利用している。

表 2-1-7 入込客のパッケージ旅行利用有無（地点・地域別）

(単位：%)

観光地点・地域		旅行形態	パッケージ旅行	パッケージ旅行ではない	合計
観光地点	名古屋城		6.4	93.6	100.0
	熱田神宮		4.2	95.8	100.0
	ノリタケの森		4.5	95.5	100.0
	イタリア村		11.4	88.6	100.0
	名古屋まつり		3.1	96.9	100.0
	イベント会場		0.5	99.5	100.0
	東 海		2.4	97.6	100.0
地域	名古屋市		2.1	97.9	100.0
	愛知県（名古屋市を除く）		2.1	97.9	100.0
	岐阜県・三重県・静岡県		3.4	96.6	100.0
	東海以外		11.8	88.2	100.0
全 体			5.2	94.8	100.0

③旅行費用

a. 旅行予算

旅行予算をみると、全体では「5,000 円未満」が 43.5%と最も多く、次いで「10,000～30,000 円未満」(23.5%)、「5,000～10,000 円未満」(19.6%)となっている。旅行予算の平均額は 14,270 円である。昨年度 (11,841 円) と比較すると 2,429 円の増額となっている。

観光地点別にみると、「名古屋城」の入込客では「10,000～30,000 円未満」が最も多く、平均額は 20,000 円を超えている。一方、「名古屋まつり」と「イベント会場」では「5,000 円未満」が過半数を占め、平均額は 10,000 円未満である。

地域・宿泊別にみると、「名古屋市外からの宿泊客」では「10,000～30,000 円未満」が最も多く、30,000 円以上も 4 割みられ、平均額は 31,615 円と高額になっている。一方、「名古屋市内の日帰り客」では「5,000 円未満」が 70.5%を占め、平均額は 6,648 円となっている。

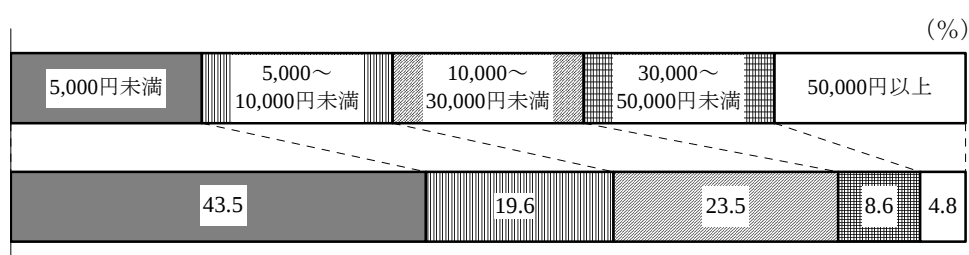


図 2-1-4 入込客の旅行予算

表 2-1-8 入込客の旅行予算(地点・地域×宿泊別)

(単位：％)

旅行予算		5,000円未満	5,000～10,000円未満	10,000～30,000円未満	30,000～50,000円未満	50,000円以上	合 計	平均額 (円)
地点・地域×宿泊								
観 光 地 点	名古屋城	22.1	14.0	39.2	15.3	9.4	100.0	22,643
	熱田神宮	43.6	14.5	25.5	10.7	5.7	100.0	15,807
	ノリタケの森	47.5	19.4	20.8	9.0	3.4	100.0	12,929
	イタリア村	36.4	25.4	22.8	9.8	5.6	100.0	15,488
	名古屋まつり	55.0	20.3	18.9	4.1	1.6	100.0	9,532
	イベント会場	61.6	23.1	12.0	1.5	1.8	100.0	7,628
地 域 × 宿 泊	名古屋市	69.9	17.0	9.4	2.7	1.0	100.0	6,756
	宿泊客	41.2	23.5	23.5	11.8	0.0	100.0	12,206
	日帰り客	70.5	16.9	9.1	2.6	1.0	100.0	6,648
	名古屋市外	33.2	20.6	29.1	10.9	6.2	100.0	17,207
	宿泊客	2.8	7.6	49.2	26.3	14.2	100.0	31,615
	日帰り客	47.3	26.6	19.8	3.8	2.5	100.0	10,545
全 体		43.5	19.6	23.5	8.6	4.8	100.0	14,270

注：平均額の計算式：{(2,500 円) × (「5,000 円未満」の回答者数) + (7,500 円) × (「5,000～10,000 円未満」の回答者数) + (20,000 円) × (「10,000～30,000 円未満」の回答者数) + (40,000 円) × (「30,000～50,000 円未満」の回答者数) + (75,000 円) × (「50,000 円以上」の回答者数)} / (全回答者数)

b. 名古屋市内消費額

観光入込客が名古屋市内で使う金額を具体的に尋ねたところ、全体では「10,000～20,000 円未満」が 28.1%、「5,000 円未満」が 24.4%、「5,000～10,000 円未満」が 23.6%、「20,000～30,000 円未満」が 12.2%、30,000 円以上が合計 11.7%となっている。なお、名古屋市内消費額の平均額は 12,594 円である。

観光地点別にみると、「名古屋城」の入込客では平均額が 15,348 円と高額で、「名古屋まつり」と「イベント会場」の入込客では平均額は 10,500 円前後と比較的低額となっており、a.旅行予算と同様な傾向を示している。

地域・宿泊別にみると、「宿泊客」の平均額は「名古屋市」、「名古屋市外」とも 20,000 円を超えていて、それぞれ「日帰り客」より 12,000 円程度高くなっている。

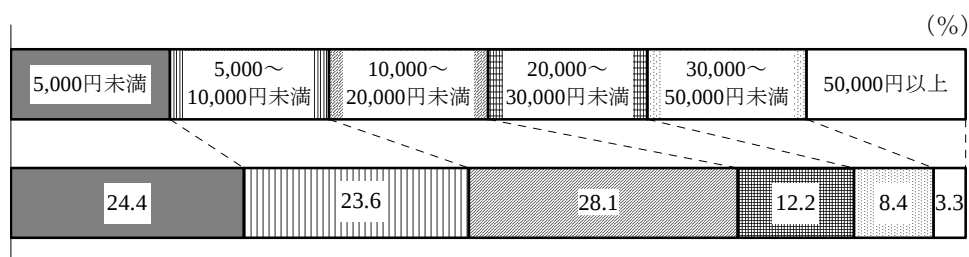


図 2-1-5 入込客の名古屋市内消費額

表 2-1-9 入込客の名古屋市内消費額（地点・地域×宿泊別）

（単位：％）

市内消費額		5,000円未満	5,000～10,000円未満	10,000～20,000円未満	20,000～30,000円未満	30,000～50,000円未満	50,000円以上	合 計	平均額（円）
地点・地域×宿泊									
観 光 地 点	名古屋城	17.0	18.3	31.4	18.5	10.7	4.1	100.0	15,348
	熱田神宮	29.1	17.6	26.6	14.0	8.6	4.0	100.0	12,352
	ノリタケの森	22.0	22.3	31.7	12.5	10.4	1.2	100.0	11,732
	イタリア村	14.4	29.6	29.8	13.0	8.3	5.0	100.0	13,884
	名古屋まつり	35.1	25.1	22.8	8.2	6.1	2.6	100.0	10,733
	イベント会場	33.3	27.5	25.2	5.6	5.8	2.6	100.0	10,366
地 域 × 宿 泊	名古屋市	39.8	26.5	20.6	6.5	4.3	2.4	100.0	8,641
	宿泊客	13.3	0.0	13.3	46.7	20.0	6.7	100.0	20,200
	日帰り客	40.6	27.2	20.8	5.3	3.8	2.3	100.0	8,311
	名古屋市外	19.7	22.7	30.4	13.9	9.6	3.6	100.0	13,812
	宿泊客	3.4	10.8	33.9	25.9	18.4	7.5	100.0	21,463
	日帰り客	28.3	29.1	28.5	7.6	5.0	1.6	100.0	9,737
全 体		24.4	23.6	28.1	12.2	8.4	3.3	100.0	12,594

c. 市内交通費

名古屋市内の移動や駐車などで支出する交通費は、全体では「1,000 円未満」(33.4%)や「1,000～3,000 円未満」(30.4%)が多く、「交通費はかからない」は 20.9%である。市内交通費の平均額は 1,549 円であり、昨年度 (1,043 円) と比較すると、506 円の増額となっている。

観光地点別にみると、「名古屋城」と「イベント会場」の入込客では「1,000～3,000 円未満」が、「ノリタケの森」と「名古屋まつり」では「1,000 円未満」が、「熱田神宮」では「交通費はかからない」の割合が最も多くなっている。

地域・宿泊別にみると、「名古屋市」居住者では「1,000 円未満」が、「名古屋市外」からの入込客では「1,000～3,000 円未満」の割合が、最も多くなっている。また、それぞれ平均額は「宿泊客」の方が「日帰り客」より高額になっている。

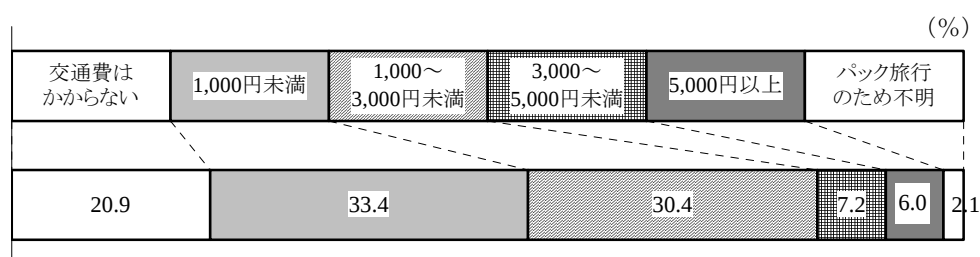


図 2-1-6 入込客の市内交通費

表 2-1-10 入込客の市内交通費（地点・地域×宿泊別）

(単位：%)

市内交通費		交通費はかからない	1,000円未満	1,000～3,000円未満	3,000～5,000円未満	5,000円以上	パック旅行のため不明	合 計	平均額 (円)
地点・地域×宿泊									
観 光 地 点	名古屋城	14.4	21.5	36.9	12.7	14.0	0.5	100.0	2,417
	熱田神宮	39.3	28.1	20.0	6.2	4.3	2.1	100.0	1,135
	ノリタケの森	28.4	39.6	22.0	4.5	4.0	1.4	100.0	1,136
	イタリア村	13.4	29.8	31.0	8.5	8.9	8.4	100.0	1,936
	名古屋まつり	18.5	49.1	26.7	4.3	1.5	0.0	100.0	1,060
	イベント会場	12.9	33.5	44.5	6.5	2.6	0.0	100.0	1,512
地 域 × 宿 泊	名古屋市	36.2	45.8	14.3	2.0	1.3	0.4	100.0	696
	宿泊客	26.3	15.8	42.1	10.5	5.3	0.0	100.0	1,737
	日帰り客	36.4	46.3	13.8	1.9	1.2	0.4	100.0	677
	名古屋市外	13.7	27.7	37.8	9.6	8.2	2.9	100.0	1,952
	宿泊客	9.0	16.7	40.9	15.2	15.3	2.8	100.0	2,737
	日帰り客	15.8	32.5	36.4	7.2	5.1	3.0	100.0	1,610
全 体		20.9	33.4	30.4	7.2	6.0	2.1	100.0	1,549

注：平均額の計算式： $\{(0 \text{ 円}) \times (\text{「交通費はかからない」の回答者数}) + (500 \text{ 円}) \times (\text{「1,000 円未満」の回答者数}) + (2,000 \text{ 円}) \times (\text{「1,000～3,000 円未満」の回答者数}) + (4,000 \text{ 円}) \times (\text{「3,000～5,000 円未満」の回答者数}) + (7,500 \text{ 円}) \times (\text{「5,000 円以上」の回答者数})\} / \{(全回答者数) - (\text{「パック旅行のため不明」の回答者数})\}$

d. 市内での土産代

「名古屋市内で土産を購入する」という回答が 53.4%であり、支出額としては、全体では「2,000 円未満」(20.6%)や「2,000～5,000 円未満」(20.3%)の割合が多い。土産代の平均額は 2,325 円であり、昨年度 (2,015 円) より 310 円の増額となっている。

観光地点別にみると、「土産を購入する」割合は「名古屋城」(75.2%)や「イタリア村」(67.3%)の入込客で高く、平均額は 3,000 円を超えている。一方、「名古屋まつり」や「イベント会場」では 3 割台と低く、平均額は 1,000 円程度と比較的低額となっている。

地域・宿泊別にみると、「名古屋市」居住者より「名古屋市外」からの入込客の方が購入割合は高く、特に「名古屋市外の宿泊客」では「購入する」割合は 9 割弱を占め、平均額も 5,229 円と高額になっている。

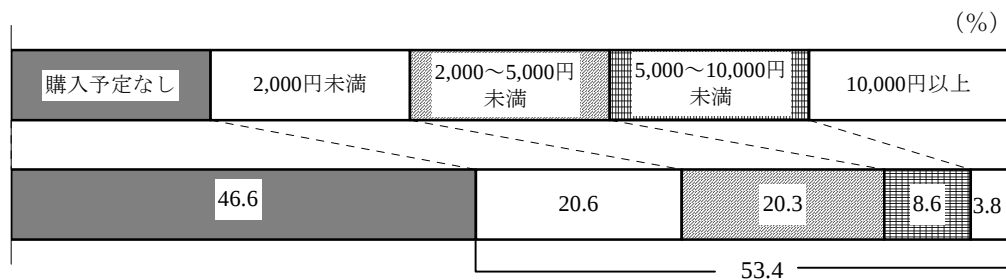


図 2-1-7 入込客の市内での土産代

表 2-1-11 入込客の市内での土産代 (地点・地域×宿泊別)

(単位 : %)

土産代		買わない	2,000円未満	2,000～5,000円未満	5,000～10,000円未満	10,000円以上	合 計	平均額 (円)
地点・地域×宿泊								
観 光 地 点	名古屋城	24.8	25.8	32.9	12.0	4.5	100.0	3,208
	熱田神宮	49.0	20.9	19.2	6.7	4.3	100.0	2,239
	ノリタケの森	43.0	20.4	19.5	13.1	4.0	100.0	2,666
	イタリア村	32.7	21.9	26.6	11.9	6.9	100.0	3,418
	名古屋まつり	69.1	15.1	11.0	3.9	1.0	100.0	1,018
	イベント会場	65.3	18.9	10.7	3.3	1.7	100.0	1,159
地 域 × 宿 泊	名古屋市	64.4	18.9	11.9	3.5	1.3	100.0	1,137
	宿泊客	42.1	10.5	36.8	10.5	0.0	100.0	2,184
	日帰り客	64.8	19.0	11.5	3.3	1.4	100.0	1,117
	名古屋市外	38.8	21.4	24.0	10.9	4.9	100.0	2,846
	宿泊客	12.3	19.0	36.1	21.9	10.7	100.0	5,229
	日帰り客	50.3	22.5	18.7	6.1	2.3	100.0	1,810
全 体		46.6	20.6	20.3	8.6	3.8	100.0	2,325

注：平均額の計算式：{(0 円) × (「買わない」の回答者数) + (1,000 円) × (「2,000 円未満」の回答者数) + (3,500 円) × (「2,000 ～5,000 円未満」の回答者数) + (7,500 円) × (「5,000～10,000 円未満」の回答者数) + (20,000 円) × (「10,000 円以上」の回答者数)} / (全回答者数)

e. 市内での食事代

市内での食事に係る支出をみると、全体では「2,000 円未満」(36.8%) や「2,000～5,000 円未満」(32.3%) が多く、「5,000～10,000 円未満」と「ジュース程度」は 1 割台となっている。なお、食事代の平均額は 3,955 円であり、昨年度 (2,623 円) より 1,332 円の増額となっている。

観光地点別にみると、「名古屋城」の入込客では「2,000～5,000 円未満」が、「名古屋まつり」と「イベント会場」の入込客では「2,000 円未満」の割合が最も多く、ほかの 3 地点では「2,000 円未満」と「2,000～5,000 円未満」がほぼ同じ割合となっている。

地域・宿泊別にみると、「名古屋市」、「名古屋市外」とも「日帰り客」では「2,000 円未満」が最も多い。一方、「名古屋市外の宿泊客」では 5,000 円以上が合わせると過半数を占め、平均額は 8,469 円と高額になっている。

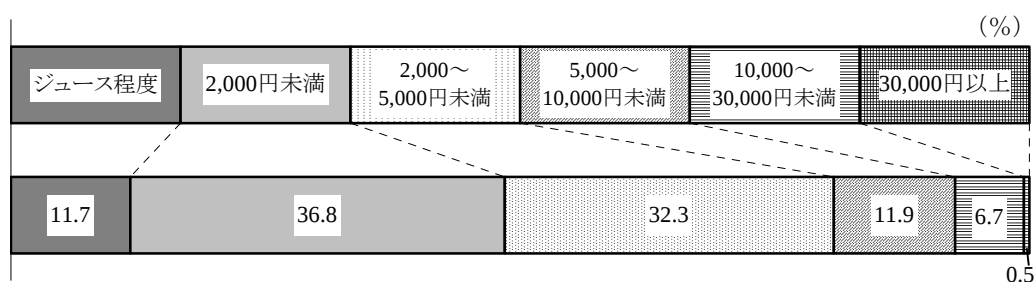


図 2-1-8 入込客の市内での食事代

表 2-1-12 入込客の市内での食事代 (地点・地域×宿泊別)

(単位: %)

市内食事代		ジュース程度	2,000円未満	2,000～5,000円未満	5,000～10,000円未満	10,000～30,000円未満	30,000円以上	合 計	平均額 (円)
観 光 地 点	名古屋城	8.7	25.3	36.7	19.3	9.3	0.7	100.0	5,120
	熱田神宮	18.9	27.9	24.0	16.4	11.9	0.8	100.0	5,046
	ノリタケの森	10.9	34.5	36.7	11.6	6.4	0.0	100.0	3,777
	イタリア村	4.6	35.1	37.8	11.7	9.7	1.0	100.0	4,896
	名古屋まつり	15.0	45.9	30.7	6.4	1.8	0.2	100.0	2,445
	イベント会場	13.8	52.5	26.5	5.6	1.0	0.5	100.0	2,291
地 域 × 宿 泊	名古屋市	20.1	42.9	28.2	6.3	1.8	0.6	100.0	2,484
	宿泊客	26.3	31.6	31.6	10.5	0.0	0.0	100.0	2,211
	日帰り客	20.0	43.2	28.2	6.2	1.8	0.6	100.0	2,489
	名古屋市外	8.0	34.1	34.1	14.3	8.9	0.5	100.0	4,594
	宿泊客	3.2	14.8	29.4	28.4	22.5	1.7	100.0	8,469
	日帰り客	10.2	42.6	36.2	8.1	2.9	0.0	100.0	2,878
全 体		11.7	36.8	32.3	11.9	6.7	0.5	100.0	3,955

注: 平均額の計算式: $\{(0 \text{ 円}) \times (\text{「ジュース程度」の回答者数}) + (1,000 \text{ 円}) \times (\text{「2,000 円未満」の回答者数}) + (3,500 \text{ 円}) \times (\text{「2,000～5,000 円未満」の回答者数}) + (7,500 \text{ 円}) \times (\text{「5,000～10,000 円未満」の回答者数}) + (20,000 \text{ 円}) \times (\text{「10,000～30,000 円未満」の回答者数}) + (40,000 \text{ 円}) \times (\text{「30,000 円以上」の回答者数})\} / (\text{全回答者数})$

f. 宿泊代

「名古屋市内に宿泊する」と回答した割合は 29.0%であり、1泊の宿泊代においては、「5,000～15,000 円未満」（14.1%）の割合が多い。

なお、1泊あたりの宿泊代の平均額は 12,177 円であり、昨年度（11,725 円）より 452 円増額している。

観光地点別にみると、「名古屋城」の入込客では「宿泊する」割合が 54.4%と多く、半数を超えている。一方、「イベント会場」では大半が「宿泊しない」となっている。

宿泊客の宿泊代は、各階層とも「5,000～15,000 円未満」が中心であり、前述のほかの予算に比べて平均額の差は小さくなっている。

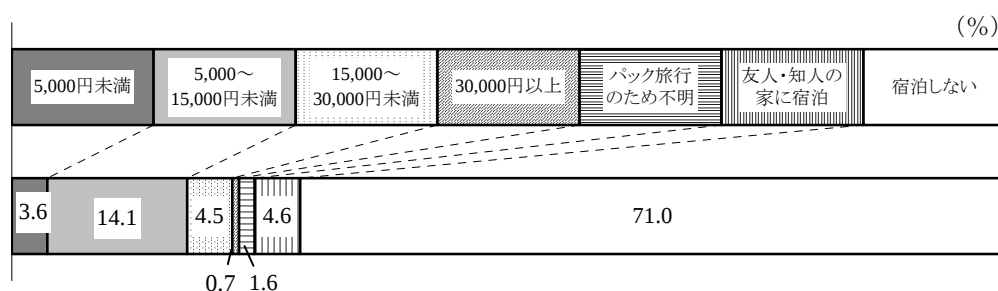


図 2-1-9 入込客の宿泊代

表 2-1-13 入込客の宿泊代（地点・地域×宿泊別）

（単位：％）

市内宿泊代		5,000円未満	5,000～15,000円未満	15,000～30,000円未満	30,000円以上	バック旅行のため不明	友人・知人の家に宿泊	宿泊しない	合 計	平均額（円）
観 光 地 点	名古屋城	9.4	29.4	7.0	1.3	2.5	4.9	45.6	100.0	11,178
	熱田神宮	4.9	15.6	6.9	0.3	2.6	5.8	63.9	100.0	12,109
	ノリタケの森	1.3	13.5	5.3	0.8	1.1	6.4	71.6	100.0	13,829
	イタリア村	1.1	12.2	5.1	0.7	2.6	4.5	73.8	100.0	14,044
	名古屋まつり	2.6	7.8	1.6	0.3	0.0	4.5	83.2	100.0	10,855
	イベント会場	0.9	1.3	0.4	0.2	0.0	2.0	95.2	100.0	11,923
	名古屋市	1.4	1.4	0.8	0.2	0.0	0.0	96.1	100.0	11,447
地 域 × 宿 泊	宿泊客	36.8	36.8	21.1	5.3	0.0	0.0	0.0	100.0	11,447
	日帰り客	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0	—
	名古屋市外	4.1	17.1	5.4	0.8	2.0	5.7	65.0	100.0	12,202
	宿泊客	11.7	48.8	15.5	2.2	5.6	16.2	0.0	100.0	12,202
	日帰り客	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0	—
全 体		3.6	14.1	4.5	0.7	1.6	4.6	71.0	100.0	12,177

注：平均額の計算式：{(2,500 円)×(「5,000 円未満」の回答者数)+(10,000 円)×(「5,000～15,000 円未満」の回答者数)+(22,500 円)×(「15,000～30,000 円未満」の回答者数)+(40,000 円)×(「30,000 円以上」の回答者数)}÷{(全回答者数)－(「バック旅行のため不明」の回答者数)－(「友人・知人の家に宿泊」の回答者数)－(「宿泊しない」の回答者数)}

④来名回数（市外居住者が名古屋を訪れた回数）

名古屋市外に居住する回答者（全体の 66.5%）の来名回数としては、「10 回以上」が 52.0%と最も多く、「名古屋まつり」と「イベント会場」の入込客や「東海」地域居住者では 8 割前後を占めている。

今回「はじめて」訪れたと回答をした割合は全体で 15.8%であり、その割合は「名古屋城」の入込客や「東海以外」からの来訪者では 3 割を超えている。

表 2-1-14 名古屋市外からの入込客の来名回数（地点・地域別）

（単位：％）

回 数		はじめて	2 回目	3 回目	4 ～ 9 回目	10 回以上	合 計
観光地点・地域							
観 光 地 点	名古屋城	38.7	19.6	10.0	11.6	20.1	100.0
	熱田神宮	16.8	9.9	13.7	15.8	43.8	100.0
	ノリタケの森	9.8	12.1	11.8	15.6	50.7	100.0
	イタリア村	11.8	9.4	10.3	15.2	53.4	100.0
	名古屋まつり	4.0	3.2	5.2	9.1	78.6	100.0
	イベント会場	1.0	2.6	2.0	9.0	85.4	100.0
地 域	東 海	2.5	3.1	4.2	9.5	80.8	100.0
	愛知県（名古屋市を除く）	1.6	2.9	3.7	5.9	85.9	100.0
	岐阜県・三重県・静岡県	4.0	3.4	5.0	15.3	72.4	100.0
	東海以外	33.4	20.2	15.3	17.3	13.8	100.0
全 体		15.8	10.4	9.0	12.8	52.0	100.0

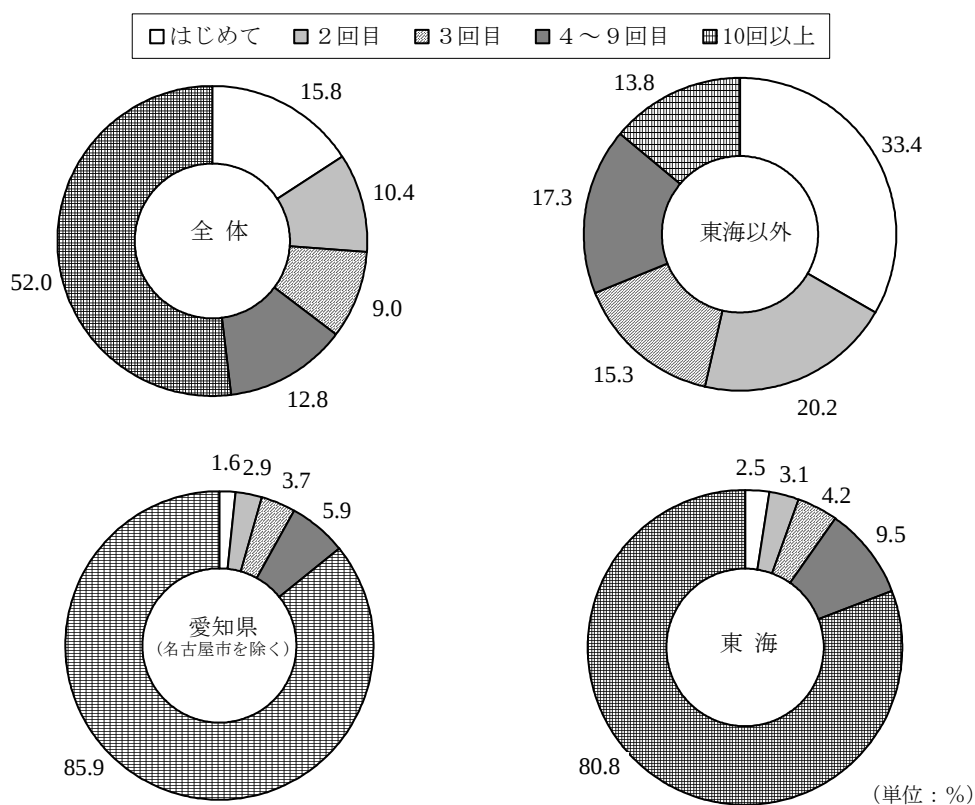


図 2-1-10 入込客の来名回数（地域別）

⑤交通機関

名古屋市外居住者の名古屋市内への主な交通手段は、全体では「自家用車」が42.6%と最も高く、次いで「ＪＲ」(35.0%)、「名鉄電車」(18.3%)となっている。

観光地点別にみると、「名古屋城」や「イタリア村」、「イベント会場」の入込客では「自家用車」を、「熱田神宮」「ノリタケの森」の入込客では「ＪＲ」を利用する割合が最も高く、「名古屋まつり」の入込客では「ＪＲ」や「名鉄電車」を利用する割合が高くなっている。

居住地別にみると、「東海」では「自家用車」が最も高く、半数を占めている。また、「愛知県(名古屋市を除く)」「岐阜県」と「静岡県」では「ＪＲ」、「三重県」では「近鉄電車」が比較的多い。一方、「東海」地域外では「ＪＲ」を利用する割合が45.0%と最も高くなっている。

旅行形態別にみると、「家族連れ」では「自家用車」を利用する割合が、「ひとり」などの場合は「ＪＲ」を利用する割合が最も高く、「友人・知人」では「ＪＲ」と「自家用車」がほぼ同じ割合となっている。

表 2-1-15 名古屋市外からの入込客の交通機関（地点・地域・旅行形態別）

(単位：%)

交通機関 地点・地域・旅行形態		J R	名 鉄 電 車	近 鉄 電 車	自 家 用 車	航 空 機	路 線 バ ス	観 光 バ ス	そ の 他	合 計
観 光 地 点	名古屋城	33.9	11.7	5.9	46.9	7.2	1.9	4.4	6.7	118.5
	熱田神宮	41.3	18.0	5.9	33.2	2.8	3.1	7.8	7.5	119.6
	ノリタケの森	46.4	15.9	7.2	28.7	3.2	6.1	13.0	3.2	123.8
	イタリア村	29.5	18.2	5.3	44.9	3.6	1.9	13.9	4.7	122.0
	名古屋まつり	35.6	34.0	9.1	24.9	0.4	6.7	0.4	9.1	120.2
	イベント会場	27.6	19.6	7.0	64.8	0.0	2.0	0.5	6.3	127.9
地 域	東 海	27.4	26.5	6.8	50.0	0.0	3.7	4.1	6.7	125.2
	愛知県（名古屋市を除く）	24.8	35.4	2.5	50.0	0.0	3.2	1.0	8.6	125.5
	岐阜県	42.5	23.3	1.8	50.2	0.0	6.4	6.4	3.2	133.8
	三重県	15.8	2.8	36.7	50.3	0.0	4.0	3.4	6.2	119.2
	静岡県	36.4	3.7	0.0	48.6	0.0	1.9	25.2	0.0	115.9
	東海以外	45.0	7.3	6.2	32.7	7.7	2.6	10.7	5.1	117.5
旅 行 形 態	ひとり	40.1	31.6	7.1	21.7	3.8	6.6	0.9	11.8	123.6
	友人・知人	38.3	20.2	9.1	37.4	3.5	3.8	4.6	7.0	124.0
	家 族	22.6	10.7	0.8	74.1	1.2	2.9	1.2	3.7	117.3
	夫婦	35.8	16.3	6.3	49.5	3.5	2.8	3.8	4.8	122.5
	その他	37.7	17.6	4.1	51.5	2.8	1.7	3.0	4.4	122.9
	団体旅行	12.0	3.7	3.7	8.3	3.7	0.9	73.1	2.8	108.3
全 体		35.0	18.3	6.5	42.6	3.3	3.2	7.0	6.1	121.9

(複数回答)

⑥名古屋市以外の訪問地

居住地が名古屋市内である入込客のうち、「名古屋市以外にも訪問する」という回答が 837 人 (33.8%) である。訪問先としては「明治村・犬山」(17.3%) や「知多・常滑・セントレア」(16.8%) が多く、以下、「長島温泉・湯の山・鈴鹿」(14.8%)、「下呂・高山」(14.7%)、「岐阜・関ヶ原」(13.1%)、「伊勢・志摩」(12.6%)、「豊田・岡崎・足助」(12.2%)、「多治見・恵那・中津川」(11.2%) となっている。

表 2-1-16 名古屋市内からの入込客の訪問地

(単位：%)

訪問地	名古屋市内のみ	明治村・犬山	知多・常滑・セントレア	長島温泉・湯の山・鈴鹿	下呂・高山	岐阜・関ヶ原	伊勢・志摩	豊田・岡崎・足助	多治見・恵那・中津川	豊橋・伊良湖	蒲郡・西浦・三谷	瀬戸・小原	豊川・鳳来寺	その他	訪問地合計
全 体	66.2	17.3	16.8	14.8	14.7	13.1	12.6	12.2	11.2	9.9	9.7	7.8	7.3	1.6	148.8

(複数回答)

⑦旅行日程

名古屋市以外からの入込客では 61.6% が「日帰り」であり、旅行日程が「2 日」は 25.5%、「3 日」は 9.1% である。

観光地点別にみると、「名古屋城」の入込客では「2 日」が半数近くと多く、「熱田神宮」でも「2 日以上」の割合は比較的高い。一方、「イベント会場」では大半が「日帰り」である。

居住地別にみると、「東海」地域居住者では大半が「日帰り」(91.3%) である。一方、「東海以外」からの入込客では、「2 日」が 5 割など 2 日以上の割合は 8 割近くとなっている。

表 2-1-17 名古屋市内からの入込客の旅行日程（地点・地域別）

(単位：%)

日 程		日帰り	2 日	3 日	4 日	5 日以上	合 計
観光地点	名古屋城	31.4	48.3	13.6	4.3	2.4	100.0
	熱田神宮	51.0	30.6	13.7	2.9	1.9	100.0
	ノリタケの森	65.1	20.6	10.2	0.9	3.2	100.0
	イタリア村	65.6	22.5	9.1	1.7	1.1	100.0
	名古屋まつり	78.9	14.3	4.6	0.8	1.3	100.0
	イベント会場	92.9	4.6	1.0	0.3	1.3	100.0
	東 海	91.3	6.4	1.5	0.2	0.6	100.0
地域	東海以外	22.9	50.3	18.9	4.3	3.5	100.0
	全 体	61.6	25.5	9.1	2.0	1.9	100.0

⑧市内での宿泊数

名古屋市以外からの入込客の中で「日帰り」を除いた回答者（全体の 23.7%）のうち、名古屋市内に「1泊」する割合は 58.9%、「2泊」する割合は 19.8%である。

観光地点別にみると、「2泊」以上する割合は「熱田神宮」や「ノリタケの森」、「イタリア村」では比較的高くなっている。

居住地別にみると、「2泊」以上する割合は「東海以外」の地域からの方が、「東海」地域より高くなっている。

表 2-1-18 名古屋市外からの入込客の名古屋市内における宿泊数（地点・地域別）

（単位：％）

市内宿泊数 観光地点・地域		宿泊しない	1泊	2泊	3泊	4泊以上	合 計
観 光 地 点	名古屋城	16.2	63.2	13.9	4.7	1.9	100.0
	熱田神宮	13.6	51.0	27.2	5.4	2.7	100.0
	ノリタケの森	12.7	53.4	23.7	2.5	7.6	100.0
	イタリア村	8.3	60.5	24.2	5.7	1.3	100.0
	名古屋まつり	8.5	63.8	19.1	2.1	6.4	100.0
	イベント会場	18.5	51.9	14.8	0.0	14.8	100.0
地 域	東 海	18.8	59.8	13.4	1.8	6.3	100.0
	東海以外	12.5	58.9	20.8	4.9	3.0	100.0
全 体		13.5	58.9	19.8	4.4	3.4	100.0

2-2 宿泊客の現状

(1) 調査の概要

①調査の目的

市内に宿泊する人の来名目的や遊覧状況等について把握するためアンケート調査を実施した。

②調査日時等

●秋期調査：平成 18 年 11 月 1 日 ～11 月 30 日

●春期調査：平成 19 年 3 月 1 日 ～ 3 月 31 日

③調査方法

この調査は、予め調査票を宿泊施設の客室等に設置し、宿泊者が記入した上でフロントに提出するという方法で行った。

④調査宿泊施設

施設の区分（登録ホテル、ホテル、旅館）や施設の規模、立地場所を勘案して、以下の 20 施設に協力していただきました。

・登録ホテル 11 施設

ウェスティンナゴヤキャッスル、名鉄グランドホテル、ホテルアソシア名古屋ターミナル、ホテルキャッスルプラザ、ロイヤルパークイン名古屋、名鉄ニューグランドホテル、名古屋観光ホテル、名古屋国際ホテル、名古屋東急ホテル、サイプレスガーデンホテル、名古屋マリオットアソシアホテル

・ホテル 7 施設

東京第一ホテル錦、名古屋ガーデンパレス、ザ・ビー名古屋、全日空ホテルズホテルグランコート名古屋、ナゴヤローレンホテル、名古屋笠寺ワシントンホテルプラザ、ホテルサンルートプラザ名古屋

・旅館 2 施設

つちやホテル、旅館 浅野屋

⑤調査件数

●秋 期：386 サンプル

●春 期：377 サンプル

●合 計：763 サンプル

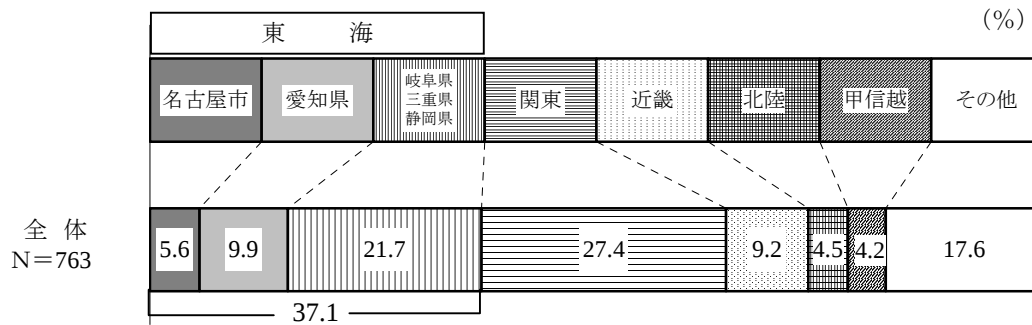
(2) 調査結果

①居住地構成、性・年齢構成

a. 居住地構成

宿泊客の居住地構成としては、全体では「名古屋市」が 5.6%、「愛知県（名古屋市を除く）」が 9.9%、「岐阜県、三重県、静岡県」が 21.7%であり、合わせて「東海」地域が 37.1%となっている。

「東海」地域外では、「関東」地域が 27.4%と多く、「近畿」地域は 9.2%、「北陸」地域は 4.5%、「甲信越」地域は 4.2%である。



注：愛知県は名古屋市を除く

図 2-2-1 宿泊客の居住地構成

b. 性・年齢構成

年齢は、全体では「20～29 歳」が 27.2%と最も多く、次いで、「30～39 歳」が 23.1%、「40～49 歳」(18.2%)、「50～59 歳」(17.3%) となっている。

性別は、男性が 51.2%、女性が 48.8%と、男性の方が女性よりやや多い。

性別に宿泊客の年齢をみると、男性では 20 歳代～50 歳代に分散しているが、女性では「20～29 歳」(36.6%) の割合が多い。

表 2-2-1 宿泊客の性・年齢構成

(単位：%)

	10～ 19 歳	20～ 29 歳	30～ 39 歳	40～ 49 歳	50～ 59 歳	60～ 69 歳	70 歳 以上	合計
全 体	4.0	27.2	23.1	18.2	17.3	7.2	3.0	100.0
男 性	3.4	19.1	23.4	20.5	22.2	8.0	3.4	100.0
女 性	4.8	36.6	22.9	16.4	11.9	5.7	1.8	100.0

②旅行の内容

a. 今回の主な目的

宿泊客の旅行目的としては、「観光施設の見学」(18.0%)や「ショッピング」(8.5%)、「観劇・コンサート」(8.3%)などの「観光・娯楽」が合わせて46.5%とほぼ半数を占めている。「商用・公用」は22.9%である。

昨年度と比べると、「観光・娯楽」の割合が4ポイント増加したが、一方、「商用・公用」の割合が9ポイント、「大会・会議に参加」が7ポイントそれぞれ減少している。

性別にみると、男性では「商用・公用」の割合が34.4%と比較的多い。女性では「観光・娯楽」(57.0%)の割合が過半数を占めている。

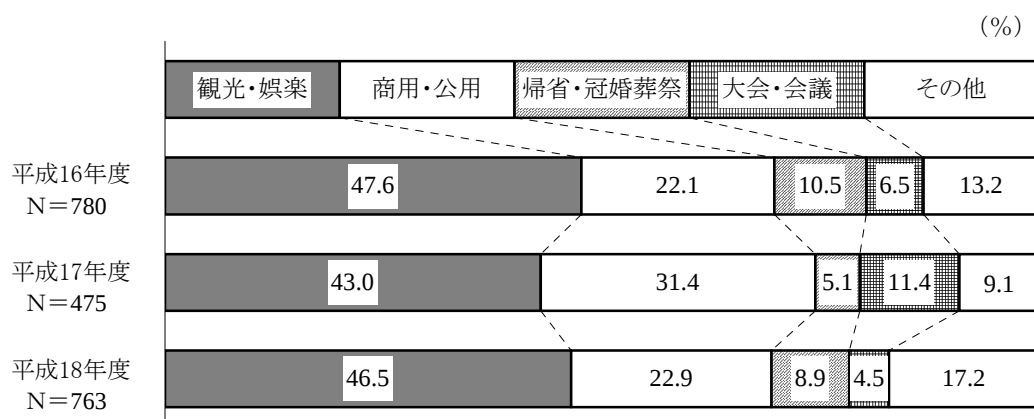


図 2-2-2 宿泊客の主な旅行目的と構成比の推移

表 2-2-2 宿泊客の旅行目的（性別）

(単位：%)

旅行目的 性別	観光・娯楽						商用・公用	帰省・冠婚葬祭	大会・会議に参加	その他	合計
	観光施設の見学	ショッピング	観劇・コンサート	イベント	飲食	その他の娯楽行為					
男性	16.3	6.6	4.6	4.3	4.6	2.9	34.4	6.3	5.2	14.9	100.0
女性	20.7	12.0	12.9	4.5	3.9	3.0	7.8	10.5	3.9	20.7	100.0
全体	18.0	8.5	8.3	4.4	4.4	2.9	22.9	8.9	4.5	17.2	100.0

b. 名古屋を選んだきっかけ

「観光・娯楽」を目的として訪れた宿泊客（351 人）の名古屋を選んだきっかけとしては、「雑誌・新聞をみて」（24.5%）が最も多く、次いで「ホームページの情報」（20.1%）、「以前に来て良かったから」（18.8%）、「友人・知人の推薦」（14.4%）、「テレビ・ラジオ番組の情報」（11.0%）、「旅行代理店の紹介や店頭チラシをみて」（7.5%）となっている。

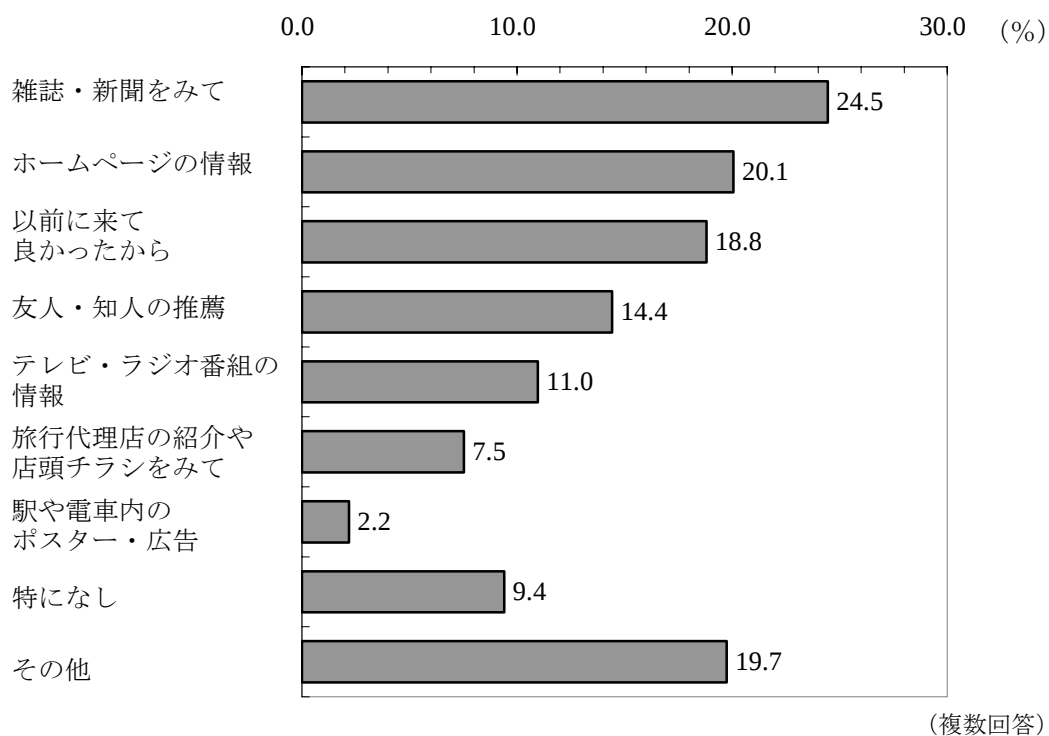


図 2-2-3 宿泊客の「観光・娯楽」で訪れたきっかけ

c. 訪問する主な観光施設

観光施設等を訪問するとした回答者は、763 人中 581 人（76.1%）であり、全体では「名古屋城」が 39.6%と最も多く、次いで「熱田神宮」（21.5%）、「名古屋港」（20.1%）、「東山動植物園」（17.3%）、「イタリア村」（16.6%）、「テレビ塔」（16.4%）、「名古屋港水族館」（15.6%）、「徳川美術館」（11.9%）となっている。

居住地別にみると、「東海」地域からの宿泊客では「名古屋城」（39.4%）をはじめ「名古屋港」（29.6%）、「東山動植物園」（26.6%）、「名古屋港水族館」（24.8%）、「熱田神宮」（24.1%）、「イタリア村」（24.1%）、「テレビ塔」（21.5%）などを訪れる割合が多い。一方、「東海」地域外からの宿泊客では「名古屋城」（40.2%）を訪れる割合がかなり高く、以下、「熱田神宮」（20.2%）、「名古屋港」（15.0%）、「テレビ塔」（13.8%）、「徳川美術館」（12.9%）、「イタリア村」（12.5%）、「東山動植物園」（12.1%）、「名古屋港水族館」（10.4%）と続いている。

宿泊客 1 人あたりの平均訪問施設数は 2.53 施設であり、昨年度（2.28 施設）と比べると、平均訪問施設数は 0.25 施設増えている。

表 2-2-3 宿泊客の訪問先

（単位：％）

訪問施設 地 域	名古屋城	熱田神宮	白鳥庭園	ブルーボネット	徳川園	名古屋市博物館	市政資料館	文化のみち二葉館	徳川美術館	名古屋市美術館	愛知県美術館	名古屋ポストン美術館	東山動植物園	ランの館	名古屋港水族館	名古屋港
東 海	39.4	24.1	5.1	3.6	9.9	6.9	1.8	1.8	10.6	8.8	8.4	6.9	26.6	5.8	24.8	29.6
東海外	40.2	20.2	1.9	0.4	8.8	1.5	0.2	0.4	12.9	3.3	2.5	3.5	12.1	3.3	10.4	15.0
全 体	39.6	21.5	3.0	1.7	9.2	3.4	0.8	0.9	11.9	5.2	4.6	4.7	17.3	4.2	15.6	20.1

訪問施設 地 域	名古屋科学館	でんきの科学館	名古屋能楽堂	名古屋市農業センター	有松・鳴海絞会館	産業技術記念館	ノリタケの森	東谷山フルーツパーク	農業文化園・戸田川緑地	シートレインランド	イタリア村	東山スカイタワー	テレビ塔	その他	なし	平均訪問施設数
東 海	9.5	8.4	1.1	0.7	2.6	2.2	8.4	5.8	1.5	4.4	24.1	12.4	21.5	19.0	19.3	3.36
東海外	1.9	0.6	1.0	0.2	1.0	1.7	6.7	0.4	0.2	1.3	12.5	4.0	13.8	27.5	25.4	2.09
全 体	4.6	3.4	1.0	0.4	1.6	1.8	7.2	2.4	0.7	2.4	16.6	6.9	16.4	24.1	23.9	2.53

（複数回答）

注：平均訪問施設数の計算式：{訪れた施設の回答数及び訪れる予定の施設の回答数（「なし」の回答は除く）の合計数} / （全回答者数）

d. 旅行形態

全体では「友人・知人」(32.0%)と「ひとり」(30.2%)が多く、「家族連れ」の割合は「家族(夫婦)」(14.6%)など合わせて31.0%である。

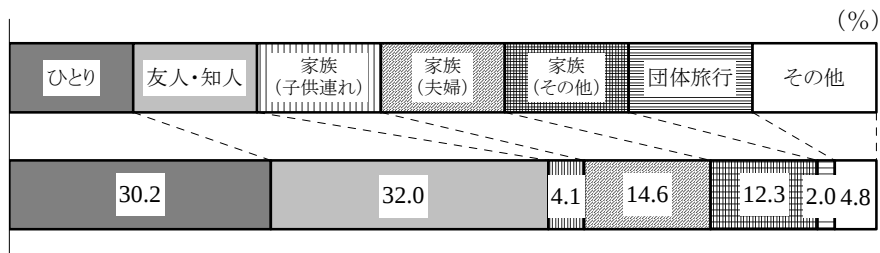


図 2-2-4 宿泊客の旅行形態

「パッケージ旅行」の割合は全体では 13.6%であり、居住地別にみると、「その他」の地域からの宿泊客では 40.8%が利用している。

表 2-2-4 宿泊客のパッケージ旅行利用有無（居住地別）

(単位：%)

旅行形態		パッケージ旅行	パッケージ旅行ではない	合 計
地 域				
東 海		6.6	93.4	100.0
	名古屋市	4.9	95.1	100.0
	愛知県(名古屋市を除く)	7.1	92.9	100.0
	岐阜県・三重県・静岡県	6.8	93.2	100.0
関 東		10.1	89.9	100.0
近 畿		6.3	93.7	100.0
北 陸		16.1	83.9	100.0
甲信越		0.0	100.0	100.0
その他		40.8	59.2	100.0
全 体		13.6	86.4	100.0

③旅行費用

α. 旅行予算

宿泊客の旅行予算は「10,000～30,000 円未満」が 46.3%と最も多く、次いで「30,000～50,000 円未満」(23.0%)、「50,000 円以上」(15.7%)、「5,000～10,000 円未満」(11.6%)となっている。

居住地別にみると、30,000 円以上(「30,000～50,000 円未満」と「50,000 円以上」)を合わせた割合は「その他」の地域からの宿泊客では 79.9%を占め、「北陸」地域(同 50.0%)、「関東」地域(同 41.7%)では 4～5 割となっており、遠方からの宿泊客では高額の予算となっている割合が多い。

なお、旅行予算の平均額は 31,153 円であり、昨年度(29,453 円)と比較して 1,700 円の増額となっている。

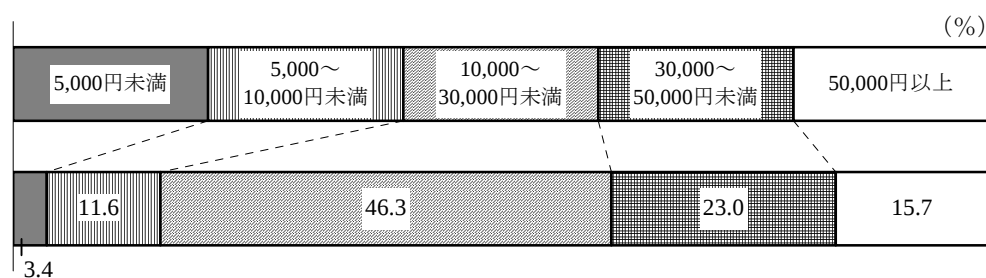


図 2-2-5 宿泊客の旅行予算

表 2-2-5 宿泊客の旅行予算（居住地別）

(単位：%)

旅行予算 地 域	5,000円 未満	5,000～ 10,000円 未満	10,000～ 30,000円 未満	30,000～ 50,000円 未満	50,000円 以上	合 計	平均額 (円)
東 海	6.6	19.5	54.1	14.8	5.1	100.0	22,150
名古屋市	17.1	22.0	41.5	14.6	4.9	100.0	19,878
愛知県(名古屋市を除く)	7.4	25.0	50.0	17.6	0.0	100.0	19,118
岐阜県・三重県・静岡県	3.4	16.2	59.5	13.5	7.4	100.0	24,172
関 東	3.3	8.3	46.7	26.7	15.0	100.0	31,958
近 畿	0.0	6.5	62.9	22.6	8.1	100.0	28,145
北 陸	0.0	9.4	40.6	25.0	25.0	100.0	37,578
甲信越	0.0	16.7	56.7	16.7	10.0	100.0	26,750
その他	0.0	2.5	17.6	37.0	42.9	100.0	50,651
全 体	3.4	11.6	46.3	23.0	15.7	100.0	31,153

注：平均額の計算式：{(2,500 円) × (「5,000 円未満」の回答者数) + (7,500 円) × (「5,000～10,000 円未満」の回答者数) + (20,000 円) × (「10,000～30,000 円未満」の回答者数) + (40,000 円) × (「30,000～50,000 円未満」の回答者数) + (75,000 円) × (「50,000 円以上」の回答者数)} / (全回答者数)

b. 名古屋市内予算

宿泊客に名古屋市内で使う金額を具体的に尋ねたところ、「10,000～20,000 円未満」が 30.2%と最も多く、以下「20,000～30,000 円未満」(25.3%)、「30,000～50,000 円未満」(21.4%)、「50,000 円以上」(10.1%)、「5,000～10,000 円未満」(9.6%)となっており、平均額は 24,223 円である。

居住地別に平均額をみると、愛知県内からの宿泊客に比べて、「岐阜県・三重県・静岡県」からの宿泊客や「東海」地域外からの宿泊客では 25,000 円前後となっていて、消費額は高額となっている。

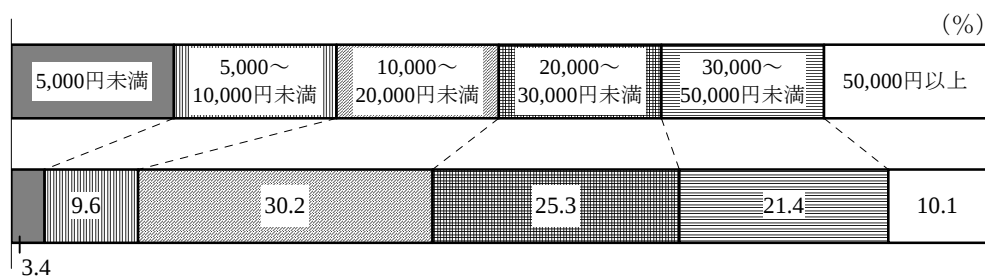


図 2-2-6 宿泊客の名古屋市内予算

表 2-2-6 宿泊客の名古屋市内予算（居住地別）

(単位：%)

旅行予算		5,000円未満	5,000～10,000円未満	10,000～20,000円未満	20,000～30,000円未満	30,000～50,000円未満	50,000円以上	合 計	平均額 (円)
地 域									
東 海	名古屋市	2.6	10.7	29.9	25.6	19.7	11.5	100.0	22,987
	愛知県 (名古屋市を除く)	2.6	21.1	36.8	21.1	13.2	5.3	100.0	17,273
	岐阜県・三重県・静岡県	3.2	11.3	35.5	24.2	16.1	9.7	100.0	21,589
	岐阜県・三重県・静岡県	2.2	7.5	25.4	27.6	23.1	14.2	100.0	25,254
東海外		3.9	8.9	30.4	25.2	22.3	9.2	100.0	24,954
東海外	関 東	5.1	10.8	31.6	23.6	22.3	6.4	100.0	—
	近 畿	1.9	9.4	39.8	24.5	17.0	7.5	100.0	—
	北 陸	3.7	3.7	33.3	18.5	33.3	7.4	100.0	—
	甲信越	3.8	3.8	42.3	34.6	11.5	3.8	100.0	—
	その他	3.8	8.5	17.9	28.3	25.5	16.0	100.0	—
全 体		3.4	9.6	30.2	25.3	21.4	10.1	100.0	24,223

c. 市内交通費

宿泊客の市内交通費は、全体では「1,000～3,000 円未満」が 42.4%と最も多く、次いで「1,000 円未満」(19.3%)、「3,000～5,000 円未満」(14.9%)、「5,000 円以上」(11.5%)、「交通費はかからない」(10.4%) となっている。

居住地別にみると、「名古屋市」では「1,000 円未満」が最も多く、そのほかの地域では「1,000～3,000 円未満」が最も多い。「甲信越」と「その他」では「5,000 円以上」も 2 割以上みられ、平均額は相対的に高い。

なお、市内交通費の平均額は 2,440 円であり、昨年度 (2,200 円) と比較して 240 円の増額となっている。

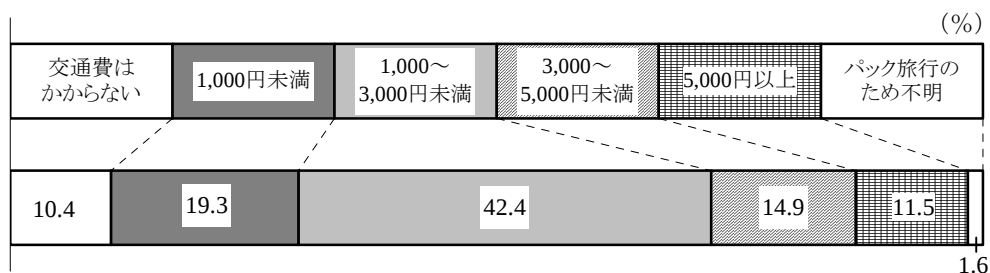


図 2-2-7 宿泊客の市内交通費

表 2-2-7 宿泊客の市内交通費（居住地別）

(単位：%)

市内交通費		交通費はかからない	1,000円未満	1,000～3,000円未満	3,000～5,000円未満	5,000円以上	バック旅行のため不明	合 計	平均額 (円)
地 域	東 海	9.3	25.2	45.0	14.0	5.4	1.2	100.0	2,014
	名古屋市	17.1	39.0	31.7	9.8	2.4	0.0	100.0	1,402
	愛知県 (名古屋市を除く)	13.0	24.6	50.7	7.2	2.9	1.4	100.0	1,669
	岐阜県・三重県・静岡県	5.4	21.6	45.9	18.2	7.4	1.4	100.0	2,346
	関 東	12.1	20.0	45.3	12.6	9.5	0.5	100.0	2,233
	近 畿	10.9	26.6	48.4	9.4	4.7	0.0	100.0	1,828
	北 陸	9.7	19.4	45.2	19.4	6.5	0.0	100.0	2,258
	甲信越	7.1	10.7	39.3	17.9	25.0	0.0	100.0	3,429
	その他	11.9	4.2	31.4	19.5	28.0	5.1	100.0	3,714
	全 体	10.4	19.3	42.4	14.9	11.5	1.6	100.0	2,440

注：平均額の計算式：{(0 円) × (「交通費はかからない」の回答者数) + (500 円) × (「1,000 円未満」の回答者数) + (2,000 円) × (「1,000～3,000 円未満」の回答者数) + (4,000 円) × (「3,000～5,000 円未満」の回答者数) + (7,500 円) × (「5,000 円以上」の回答者数)} / {(全回答者数) - (「バック旅行のため不明」の回答者数)}

d. 市内での土産代

市内で土産を「購入する」割合は 72.5%であり、購入額は「2,000～5,000 円未満」が 32.3%と最も多く、以下、「2,000 円未満」(18.3%)、「5,000～10,000 円未満」(13.2%)、「10,000 円以上」(8.3%)となっている。

居住地別にみると、「購入しない」と回答した割合は、地元の「名古屋市」(70.7%)や「愛知県(名古屋市を除く)」(43.5%)で多く、遠方からの宿泊客の方が土産を購入している割合は高い。

なお、土産代の平均額は 3,971 円である。昨年度と比較すると購入する割合(昨年度 72.0%)はほぼ同じ、平均額(同 3,718 円)は 253 円増額している。

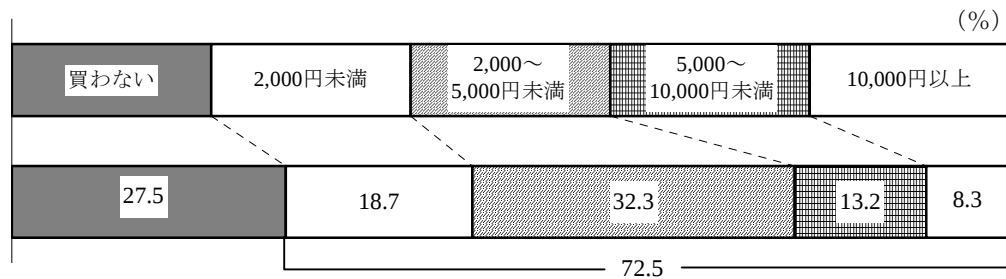


図 2-2-8 宿泊客の市内での土産代

表 2-2-8 宿泊客の市内での土産代(居住地別)

(単位: %)

土産代		買わない	2,000円未満	2,000～5,000円未満	5,000～10,000円未満	10,000円以上	合 計	平均額 (円)
地 域								
東 海		42.0	15.3	29.0	8.8	5.0	100.0	2,819
	名古屋市	70.7	7.3	14.6	4.9	2.4	100.0	1,439
	愛知県（名古屋市を除く）	43.5	20.3	24.6	8.7	2.9	100.0	2,297
	岐阜県・三重県・静岡県	33.6	15.1	34.9	9.9	6.6	100.0	3,428
関 東		24.9	23.3	35.2	11.4	5.2	100.0	3,358
近 畿		27.7	18.5	35.4	10.8	7.7	100.0	3,769
北 陸		12.1	24.2	36.4	21.2	6.1	100.0	4,318
甲信越		16.7	30.0	36.7	10.0	6.7	100.0	3,667
その他		8.3	12.4	33.1	24.8	21.5	100.0	7,438
全 体		27.5	18.7	32.3	13.2	8.3	100.0	3,971

注: 平均額の計算式: $\{(0 \text{ 円}) \times (\text{「買わない」の回答者数}) + (1,000 \text{ 円}) \times (\text{「2,000 円未満」の回答者数}) + (3,500 \text{ 円}) \times (\text{「2,000 ～5,000 円未満」の回答者数}) + (7,500 \text{ 円}) \times (\text{「5,000～10,000 円未満」の回答者数}) + (20,000 \text{ 円}) \times (\text{「10,000 円以上」の回答者数})\} / (\text{全回答者数})$

e. 市内での食事代

市内での食事に係る支出は、全体では「2,000～5,000 円未満」(31.7%)と「5,000～10,000 円未満」(30.4%)が多く、以下、「10,000～30,000 円未満」(18.0%)、「2,000 円未満」(14.9%)となっている。

居住地別にみると、「北陸」と「その他」の地域からの宿泊客は 10,000 円以上がともに 3 割程度と比較的多く、平均額は相対的に高くなっている。

なお、食事代の平均額は 7,860 円であり、昨年度 (7,111 円) より 749 円増額している。

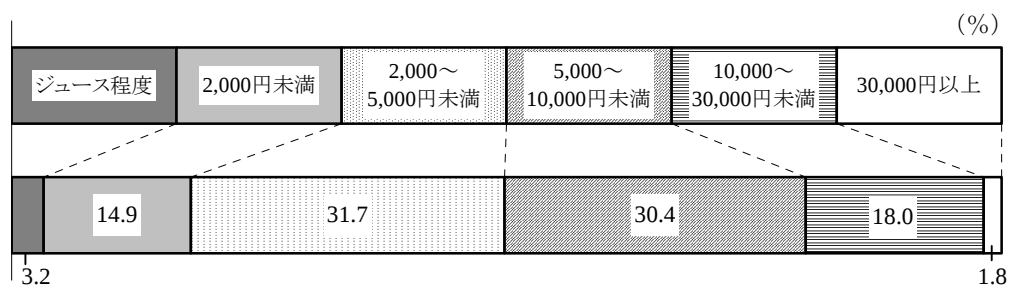


図 2-2-9 宿泊客の市内での食事代

表 2-2-9 宿泊客の市内での食事代（居住地別）

(単位：%)

地 域	市内食事代						合 計	平均額 (円)
	ジュース 程度	2,000円 未満	2,000～ 5,000円 未満	5,000～ 10,000円 未満	10,000～ 30,000円 未満	30,000円 以上		
東 海	4.9	17.5	29.3	32.3	15.6	0.4	100.0	6,894
名古屋市	9.8	19.5	34.1	22.0	12.2	2.4	100.0	6,451
愛知県（名古屋市を除く）	7.2	26.1	24.6	31.9	10.1	0.0	100.0	5,543
岐阜県・三重県・静岡県	2.6	13.1	30.1	35.3	19.0	0.0	100.0	7,621
関 東	3.2	15.3	32.3	29.1	18.0	2.1	100.0	7,910
近 畿	3.2	12.7	38.1	38.1	7.9	0.0	100.0	5,905
北 陸	0.0	9.7	35.5	25.8	25.8	3.2	100.0	9,726
甲信越	0.0	13.3	43.3	20.0	20.0	3.3	100.0	8,483
その他	1.7	12.5	28.3	26.7	25.8	5.0	100.0	10,283
全 体	3.2	14.9	31.7	30.4	18.0	1.8	100.0	7,860

注：平均額の計算式：{(0 円) × (「ジュース程度」の回答者数) + (1,000 円) × (「2,000 円未満」の回答者数) + (3,500 円) × (「2,000～5,000 円未満」の回答者数) + (7,500 円) × (「5,000～10,000 円未満」の回答者数) + (20,000 円) × (「10,000～30,000 円未満」の回答者数) + (40,000 円) × (「30,000 円以上」の回答者数)} / (全回答者数)

f. 宿泊代

1泊あたりの宿泊代としては、「5,000～15,000 円未満」が 67.5%と最も多く、次いで「15,000～30,000 円未満」(18.0%)となっている。

どの地域においても「5,000～15,000 円未満」が最も多く、それぞれ 6 割以上を占めている。

なお、1泊あたりの宿泊代の平均額は 13,046 円であり、昨年度 (12,932 円) よりも 114 円増額している。

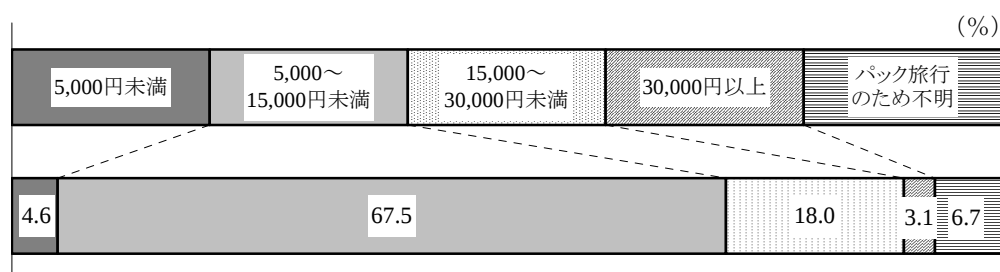


図 2-2-10 宿泊客の宿泊代

表 2-2-10 宿泊客の宿泊代 (居住地別)

(単位: %)

地 域	市内宿泊代	5,000円未満	5,000～15,000円未満	15,000～30,000円未満	30,000円以上	パック旅行のため不明	合 計	平均額 (円)
東 海		5.7	65.5	23.1	3.9	1.7	100.0	13,711
	名古屋市	6.1	69.7	12.1	9.1	3.0	100.0	13,906
	愛知県(名古屋市を除く)	6.8	66.1	27.1	0.0	0.0	100.0	12,881
	岐阜県・三重県・静岡県	5.1	64.2	24.1	4.4	2.2	100.0	14,030
関 東		5.3	73.3	14.4	3.2	3.7	100.0	12,458
近 畿		9.7	66.1	19.4	1.6	3.2	100.0	12,250
北 陸		0.0	69.0	24.1	0.0	6.9	100.0	13,241
甲信越		3.3	76.7	16.7	3.3	0.0	100.0	12,833
その他		0.9	60.9	11.3	3.5	23.5	100.0	13,125
全 体		4.6	67.5	18.0	3.1	6.7	100.0	13,046

注: 平均額の計算式: $\{(2,500 \text{ 円}) \times (\text{「5,000 円未満」の回答者数}) + (10,000 \text{ 円}) \times (\text{「5,000～15,000 円未満」の回答者数}) + (22,500 \text{ 円}) \times (\text{「15,000～30,000 円未満」の回答者数}) + (40,000 \text{ 円}) \times (\text{「30,000 円以上」の回答者数})\} / \{(全回答者数) - (\text{「パック旅行のため不明」の回答者数})\}$

④来名回数（市外居住者が名古屋を訪れた回数）

居住地が名古屋市の宿泊客 722 人の来名回数としては、「10 回以上」という割合が 38.2%と最も多く、次いで「4～9 回目」（19.9%）となっていて、「はじめて」の割合は 15.8%である。

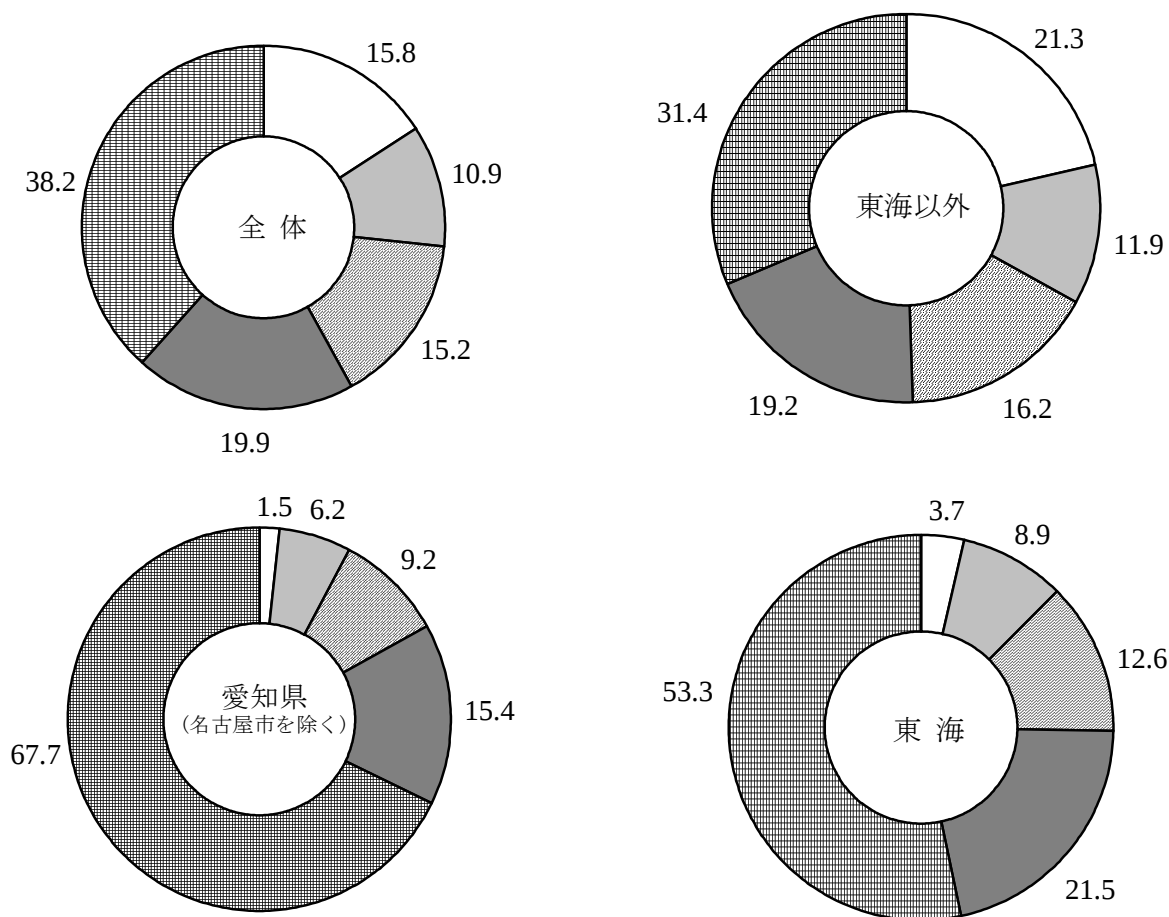
居住地別にみると、「東海」地域では「10 回以上」（53.3%）が過半数を占め、「はじめて」の割合は 4%以下であるが、「東海」地域外からの宿泊客では 21.3%が「はじめて」の来名である。

表 2-2-11 名古屋市内からの宿泊客の来名回数

（単位：％）

地 域	回 数	はじめて	2 回目	3 回目	4～9 回目	10回以上	合 計
東 海		3.7	8.9	12.6	21.5	53.3	100.0
愛知県（名古屋市を除く）		1.5	6.2	9.2	15.4	67.7	100.0
岐阜県・三重県・静岡県		4.7	10.1	14.1	24.2	47.0	100.0
東海外		21.3	11.9	16.2	19.2	31.4	100.0
全 体		15.8	10.9	15.2	19.9	38.2	100.0

□ はじめて ■ 2 回目 ■ 3 回目 ■ 4～9 回目 ■ 10回以上



（単位：％）

図 2-2-11 名古屋市内からの宿泊客の来名回数

⑤交通機関

居住地が名古屋市外の宿泊客の名古屋市までの主な交通手段は、「ＪＲ」が最も多く 60.8%を占めている。次いで「自家用車」(20.6%)、「名鉄電車」(13.5%)、「航空機」(10.8%)となっている。

居住地別にみると、「愛知県」からの宿泊客では「名鉄電車」(44.4%)、「三重県」からの宿泊客では「近鉄電車」(58.7%)が最も多くなっている。

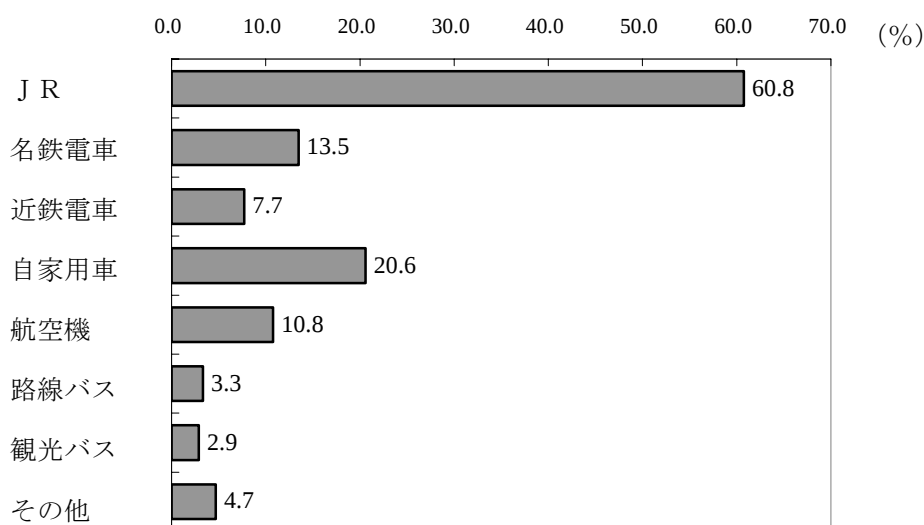
旅行形態別にみると、「幼児・小学生連れ」(39.3%)をはじめ「家族」では「自家用車」の利用が比較的多くなっている。

表 2-2-12 名古屋市外からの宿泊客の交通機関（居住地別・旅行形態別）

（単位：％）

地域・旅行形態		交通機関	J R	名鉄電車	近鉄電車	自家用車	航空機	路線バス	観光バス	その他	合計
地域	東 海		46.7	20.3	13.7	28.8	0.9	1.9	3.8	1.4	117.5
	愛知県（名古屋市を除く）		33.3	44.4	0.0	22.2	3.2	4.8	3.2	1.6	112.7
	岐阜県		66.7	11.9	0.0	33.3	0.0	0.0	4.8	2.4	119.0
	三重県		15.2	8.7	58.7	26.1	0.0	0.0	0.0	0.0	108.7
	静岡県		70.5	9.8	3.3	34.4	0.0	1.6	6.6	1.6	127.9
	東海外		67.7	10.0	5.0	16.8	15.5	4.1	2.5	6.1	127.7
旅行形態	ひとり		69.7	15.7	7.6	11.6	9.1	2.0	0.5	5.1	121.2
	友人・知人		58.7	13.9	11.5	19.2	5.8	3.8	3.8	3.8	120.7
	家族	幼児・小学生連れ	39.3	7.1	3.6	39.3	10.7	3.6	7.1	3.6	114.3
		夫婦	53.7	17.9	6.3	29.5	18.9	6.3	2.1	4.2	138.9
		その他	62.0	7.6	3.8	27.8	20.3	2.5	1.3	6.3	131.6
	団体旅行		46.2	0.0	7.7	23.1	0.0	0.0	30.8	0.0	107.7
	その他		61.8	11.8	2.9	23.5	11.8	2.9	0.0	8.8	123.5
全 体			60.8	13.5	7.7	20.6	10.8	3.3	2.9	4.7	124.2

（複数回答）



（複数回答）

図 2-2-12 名古屋市外からの宿泊客の交通機関

⑥名古屋以外の訪問地

居住地が名古屋市外の宿泊客（722 人）のうち、「名古屋市以外にも訪問する」という回答が 321 人（44.5%）あった。その方たちの訪問地としては「知多・常滑・セントレア」（39.6%）が最も多く、以下「明治村・犬山」（36.8%）、「伊勢・志摩」（34.3%）、「下呂・高山」（29.3%）、「長島温泉・湯の山・鈴鹿」（24.6%）、「豊田・岡崎・足助」（22.7%）、「岐阜・関ヶ原」（19.9%）、「豊橋・伊良湖」（18.1%）となっている。

表 2-2-13 名古屋市外からの宿泊客の名古屋市以外の訪問地

（単位：％）

訪問地	知多・常滑・セントレア	明治村・犬山	伊勢・志摩	下呂・高山	長島温泉・湯の山・鈴鹿	豊田・岡崎・足助	岐阜・関ヶ原	豊橋・伊良湖	多治見・恵那・中津川	蒲郡・西浦・三谷	瀬戸・小原	豊川・鳳来寺	その他
	39.6	36.8	34.3	29.3	24.6	22.7	19.9	18.1	14.0	12.8	10.6	9.0	8.4

（複数回答）

⑦旅行日程

居住地が名古屋市外の宿泊客のうち、旅行日程が、「2 日」である割合は 70.2%と最も多く、次いで「3 日」が 21.8%、「4 日」が 4.6%、「5 日以上」が 3.5%となっている。

居住地別にみると、「東海」地域からの宿泊客では「2 日」である割合は 8 割を占めているが、「東海」地域外からの宿泊客では「3 日」以上の割合も 34.3%と比較的多い。

表 2-2-14 名古屋市外からの宿泊客の旅行日程

（単位：％）

日 程	2 日	3 日	4 日	5 日以上	合 計
地 域					
東 海	80.4	16.4	3.2	0.0	100.0
東海外	65.7	24.3	5.0	5.0	100.0
全 体	70.2	21.8	4.6	3.5	100.0

⑧市内での宿泊日数

名古屋市内での宿泊日数は、「1泊（2日）」が73.1%と多く、「2泊（3日）」が20.2%、「3泊（4日）」が5.2%、「4泊以上」が1.5%となっている。

居住地別にみると、名古屋市内で「2泊」以上する割合は、「東海」地域からの宿泊客（18.8%）より「東海外」地域外からの宿泊客（31.1%）の方が多くなっている。

表 2-2-15 名古屋市外からの宿泊客の市内での宿泊日数

（単位：％）

地 域	市内宿泊数	1 泊	2 泊	3 泊	4 泊以上	合 計
東 海		81.2	12.7	6.1	0.0	100.0
東海外		68.9	24.0	4.9	2.2	100.0
全 体		73.1	20.2	5.2	1.5	100.0

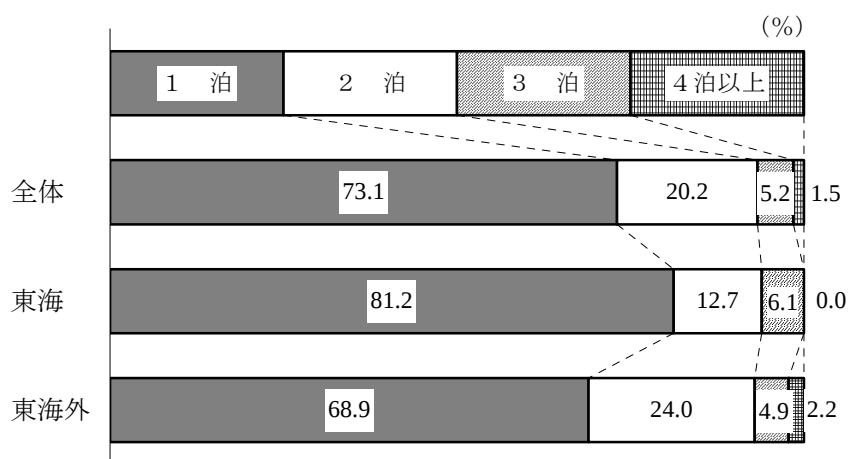


図 2-2-13 名古屋市外からの宿泊客の市内での宿泊日数

2-3 宿泊施設調査

(1) 調査の概要

①調査の目的

市内宿泊施設の概要ならびに宿泊者数を把握することにより、今後の本市観光推進のための基礎資料とすることを目的に、平成 18 年度における市内宿泊施設の現況を調査した。

②調査対象・方法

平成 17 年度調査により把握した市内宿泊施設 186 施設から廃止した 2 施設を除き、平成 18 年度新規開業した 1 施設を加えた 185 施設を今回の調査対象とした。

なお、旅館業法にもとづく許可施設のうち、簡易宿所、下宿営業の施設、風俗関連営業の施設や宿泊客を受け入れていない料理旅館などを除いたものを調査対象とした。

調査にあたっては、対象施設に対して調査票を郵送し、回収した上で電話による補足調査を行った。

③調査項目（巻末調査票参照）

- 施設のタイプ（ホテル、旅館、簡易宿所、下宿）
- タイプ別（和・洋室）の室数及び定員数
- 平成 18 年度の宿泊客数（実人数、延べ人数、外国人宿泊客を含む）
- 国別、宿泊客数
- 修学旅行団体の受入内容

④調査時期及び回答状況

- 調査時期：平成 19 年 5 月～6 月
- 回答状況：回収数 185 施設
有効回答数 185 施設
(全問回答 34 施設、準全問回答 75 施設、部分回答 76 施設)
廃休業数 2 施設
新規開業数 1 施設

(2) 宿泊施設の現状

①回答状況及び集計方法

今回の調査対象とした185(平成18年度新規開業した1施設を含む)施設を有効回答数とした。

有効回答数のうち、全問回答が得られたのは34施設(対有効回答数比18.4%)、準全問回答(月別宿泊者数の回答有り)が得られたのは75施設(対有効回答数比40.5%)、部分回答が得られたのは76施設(対有効回答数比41.1%)であった。

施設のタイプについては、以下の分類区分を基本とした。

- ・登録ホテル：国際観光ホテル整備法に基づく登録ホテル
- ・ホテル：洋室の収容人数もしくは室数のいずれかが全体の過半数を占める施設で、上記登録ホテルを除いた施設
- ・旅館：和室の収容人数並びに室数が全体の過半数を占める施設

また、ホテルについて、室数(規模)をもとに以下の区分を行った。

- ・ホテル：100室以上、50室以上100室未満、50室未満の3区分

表 2-3-1 回答状況(タイプ、規模別)

回答状況 施設規模		有効回答数				廃休業等 (施設)	新規開業 (施設)	対象施設数 (施設)
		計 (施設)	全問回答 (施設)	準全問回答 (施設)	部分回答 (施設)			
登録ホテル		20	10	10	0	0	(0)	20
ホテル (登録 ホテル を除く)	100室以上	56	4	35	17	0	(0)	56
	50室以上100室未満	30	6	14	10	0	(0)	30
	50室未満	19	6	2	11	0	(0)	19
	計	105	16	51	38	0	(0)	105
旅館		60	8	14	38	0	(1)	61
全 体		185	34	75	76	0	(1)	185
下段：(%)		100.0	18.4	40.5	41.1	0.0	(0.5)	100.0

注：新規開業は内数値のため、() となっている。

②施設の室数及び収容人数

今回の調査結果から得られた施設分類別の宿泊施設数、室数、収容人数は下表の通りである。

施設数では、登録ホテルが 20 施設、登録ホテルを除くホテルは 105 施設、旅館は 60 施設となっている。また、室数の合計は 20,224 室、収容人数の合計は 27,977 人で、昨年度調査時点より合計施設数では 1 施設、部屋数では 165 室、収容人数では 142 人の減少となった。

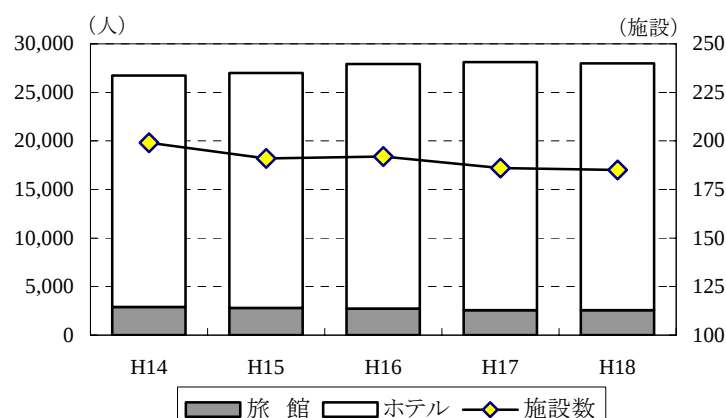
表 2-3-2 市内宿泊施設の規模別にみた室数及び収容人数（タイプ、規模別）

施設規模		回答数 (施設)	和 室		洋 室		合 計	
			室数 (室)	収容人数 (人)	室数 (室)	収容人数 (人)	室数 (室)	収容人数 (人)
登録ホテル		20	27	88	5,947	8,875	5,974	8,963
ホテル (登録ホテル を除く)	100 室以上	56	18	71	10,459	12,604	10,477	12,675
	50 室以上 100 室未満	30	32	115	2,250	2,845	2,282	2,960
	50 室未満	19	48	147	498	664	546	811
計		105	98	333	13,207	16,113	13,305	16,446
旅 館		60	816	2,380	129	188	945	2,568
全 体		185	941	2,801	19,283	25,176	20,224	27,977

表 2-3-3 市内宿泊施設の収容能力の推移

施設区分	平成 14 年度		平成 15 年度		平成 16 年度		平成 17 年度		平成 18 年度	
	室 数	収容人数	室 数	収容人数	室 数	収容人数	室 数	収容人数	室 数	収容人数
登録ホテル	5,262	7,464	6,034	9,085	6,032	9,082	6,028	9,044	5,974	8,963
ホ テ ル	12,475	16,369	12,103	15,113	13,021	16,085	13,410	16,515	13,305	16,446
旅 館	1,112	2,917	1,050	2,806	1,021	2,750	951	2,560	945	2,568
全 体	18,849	26,750	19,187	27,004	20,074	27,917	20,389	28,119	20,224	27,977
施 設 数	199		191		192		186		185	

図 2-3-1 市内ホテル・旅館収容人数及び施設数推移



(3) 宿泊客数

①年間宿泊者数

ア：宿泊者数

平成 18 年度の全施設の年間総延べ宿泊者数は約 629 万人泊であった。

タイプ別にみると、登録ホテルが約 204 万人泊、ホテル（登録ホテルを除く）が約 394 万人泊、旅館が約 30 万人泊である。

また、全施設の年間総実人数は約 475 万人となっており、一人あたりの宿泊日数は約 1.3 日と推計される。

外国人宿泊者については、年間総延べ宿泊者数は約 68 万人泊、実人数は約 29 万人である。実人数を参照すると宿泊者の 6.0%が外国人で構成されており、一人あたりの宿泊日数は約 2.4 日と推計される。

また、外国人宿泊者の宿泊日数を施設別にみると、ホテル（登録ホテルを除く）が宿泊者一人あたりの宿泊数 5.5 泊と最も多く、次いで、旅館が 4.7 泊、登録ホテルが 1.8 泊となっている。

表 2-3-4 年間宿泊者数（推計値）

		全施設の年間 総延べ宿泊者数	うち全施設の 年間外国人 総延べ宿泊者数	全施設の 年間総実人数	うち全施設の 年間外国人 総実人数
		(人泊)	(人泊)	(人)	(人)
登録ホテル		2,040,452	444,819	1,448,721	244,834
ホテル (登録ホテル を除く)	100 室以上	3,145,231	210,730	2,519,330	32,751
	50 室以上 100 室未満	667,868	8,014	550,323	5,503
	50 室未満	131,719	4,083	100,238	2,005
	計	3,944,818	222,827	3,169,891	40,259
旅館		303,677	7,592	134,225	1,611
全 体		6,288,947	675,238	4,752,837	286,704

イ：宿泊者数の推移

宿泊者数の過去5年間の推移をみると、年間総実人数はこの5年間で最多の値に、年間総延べ宿泊者数は平成17年度をピークとしているもののそれ以前の年度より増加している。

年間定員稼働率についても、平成17年度をピークとしているもののそれ以前の年度より上昇している。

外国人宿泊者数についても、総実人数は平成16年度に次ぐ値に、総延べ宿泊者数はこの5年間で最多の値となっている。

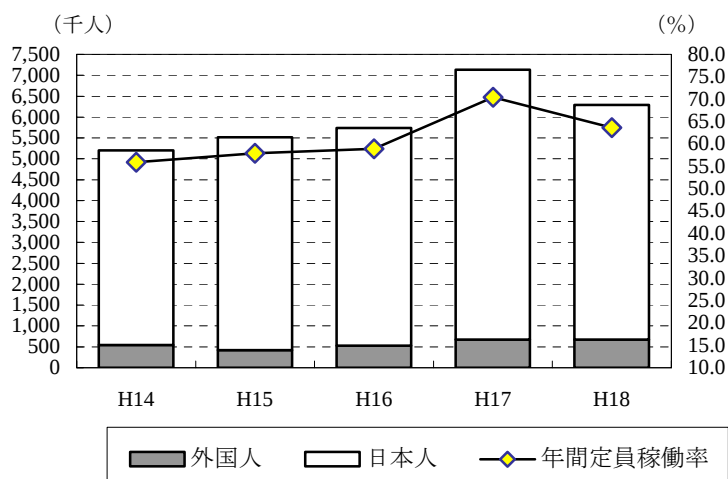
表 2-3-5 年間宿泊者数及び年間定員稼働率の推移（推計値）

年 度		平成 14 年度	平成 15 年度	平成 16 年度	平成 17 年度	平成 18 年度
区 分						
年間総実人数（人）		3,878,912	4,190,469	4,651,625	4,472,967	4,752,837
	うち外国人	271,866	244,861	333,857	272,539	286,704
年間総延べ宿泊者数（人泊）		5,200,484	5,514,738	5,738,330	7,135,833	6,288,947
	うち外国人	546,826	420,207	528,769	671,905	675,238
年間定員稼働率（％）		55.9	57.9	58.9	70.4	63.6

注：年間定員稼働率とは、定員に占める宿泊者数の割合を示す。客室稼働率とは異なる。

年間定員稼働率＝年間延べ宿泊者数÷年間収容可能人数（表 2-3-6 参照）

図 2-3-2 市内延べ宿泊者数の推移



推計方法

宿泊者数の推計にあたっては、各施設から得られた回答結果を最大限に活かし、推計に必要な回答が得られている施設（回答あり施設）の内容をもとに、稼働率や比率などの算定基準となる数値を推計し、全施設の推計値を算出した。

また、年間の収容可能人数（最大収容容量）は、各施設の一日あたりの収容可能人数に、その施設の平成 18 年度の営業日数（通年営業施設は 365 日）を乗じて算出した。

なお、計や全体は、施設分類別推計値や規模別推計値の積み上げ値とした。

a. 全施設の年間総延べ宿泊者数（推計値）

ア：回答あり施設の年間延べ宿泊者数（実績値）及び年間定員稼働率

年間定員稼働率は、回答あり施設を対象として 63.6% の値を得た。区分別にみると、ホテル及び登録ホテルでは 6～7 割であるが、旅館では 32.4% とホテルより低い値となった。

なお、ここでの稼働率は、年間収容可能人数に対する宿泊者数であり、客室稼働率とは異なる。

表 2-3-6 回答あり施設の年間延べ宿泊者数の実績値及び年間定員稼働率

		回答数 (施設)	① 年間延べ 宿泊者数 (人泊)	② 回答あり施設 の 1 日収容可 能人数 (人)	③ 回答あり施設 の年間収容 可能人数 (人)	④ 年間定員 稼働率 (%)
登録ホテル		20	2,040,452	8,963	3,266,014	62.5
ホテル (登録ホテル を除く)	100 室以上	40	2,384,392	9,654	3,457,308	69.0
	50 室以上 100 室未満	20	459,216	2,035	742,775	61.8
	50 室未満	8	57,665	339	123,735	46.6
	計	68	2,901,273	12,028	4,323,818	67.1
旅館		23	118,482	1,002	365,730	32.4
全 体		111	5,060,207	21,993	7,955,562	63.6

注：③＝②×365 日（年度内の開館、閉館施設や休業分は営業日数に準じて算出）

④＝①÷③

イ：回答なし施設の年間延べ宿泊者数

回答なし施設の年間延べ宿泊者数については、回答なし施設の年間収容可能人数に、回答あり施設で求めた施設分類別・規模別の稼働率を乗じて推計値（1,228,740 人泊）を算出した。

表 2-3-7 回答なし施設の年間延べ宿泊者数の推計値

		回答数 (施設)	① 回答なし施設 の1日収容 可能人数 (人)	② 回答なし施設 の年間収容 可能人数 (人)	③ 回答あり施設 で求めた 稼働率 (%)	④ 回答なし施設 の年間延べ 宿泊者数 の推計値 (人泊)
登録ホテル		0	—	—	62.5	—
ホテル (登録ホテル を除く)	100 室以上	16	3,021	1,102,665	69.0	760,839
	50 室以上 100 室未満	10	925	337,625	61.8	208,652
	50 室未満	11	472	158,915	46.6	74,054
	計	37	4,418	1,599,205		1,043,545
旅 館		37	1,566	571,590	32.4	185,195
全 体		74	5,984	2,170,795		1,228,740

注：②＝①×365 日（年度内の開館、閉館施設や休業分は営業日数に準じて算出）

④＝②×③

年間延べ宿泊者数の推計値の計及び全体は内訳を積み上げた数値

ウ：全施設の年間総延べ宿泊者数

全施設の年間総延べ宿泊者数は、前出のアの項で算出した回答あり施設の年間延べ宿泊者数の実績値に、イの項で算出した回答なし施設の年間延べ宿泊者数の推計値を加算して求めた（6,288,947 人泊）。

表 2-3-8 全施設の年間総延べ宿泊者数の推計値

		①回答あり施設		②回答なし施設		③全施設	
		回答数 (施設)	年間延べ 宿泊者数 (人泊)	回答数 (施設)	年間延べ 宿泊者数 (人泊)	回答数 (施設)	年間総延べ 宿泊者数 (人泊)
登録ホテル		20	2,040,452	0	—	20	2,040,452
ホテル (登録ホテル を除く)	100 室以上	40	2,384,392	16	760,839	56	3,145,231
	50 室以上 100 室未満	20	459,216	10	208,652	30	667,868
	50 室未満	8	57,665	11	74,054	19	131,719
	計	68	2,901,273	37	1,043,545	105	3,944,818
旅 館		23	118,482	37	185,195	60	303,677
全 体		111	5,060,207	74	1,228,740	185	6,288,947

注：③＝①＋②

b. 全施設の年間総実人数（推計値）

全施設の年間総実人数の推計値は、年間の延べ宿泊者数及び実人数ともに回答が得られた施設をもとに、延べ宿泊者数に対する実人数の割合を求め、実人数比率とし、その数値を前出 a のウ（表 2-3-8）で求めた全施設の年間総延べ宿泊者数の推計値に乗じて算出した。

表 2-3-9 全施設の年間総実人数の推計値

		回答数	①	②	③	④	⑤
		(施設)	回答あり 施設の年間 実人数 (人)	回答あり 施設の年間 延べ宿泊者数 (人泊)	回答あり 施設の 実人数比率 (%)	全施設の 年間総延べ 宿泊者数 推計値 (人泊)	全施設の年間 総実人数 推計値 (人)
登録ホテル		10	730,251	1,028,597	71.0	2,040,452	1,448,721
ホテル (登録ホテル を除く)	100 室以上	4	147,514	184,233	80.1	3,145,231	2,519,330
	50 室以上 100 室未満	6	96,178	116,656	82.4	667,868	550,323
	50 室未満	6	36,228	47,598	76.1	131,719	100,238
	計	16	279,920	348,487		3,944,818	3,169,891
旅 館		8	22,192	50,254	44.2	303,677	134,225
全 体		34	1,032,363	1,427,338		6,288,947	4,752,837

注：③＝①÷②

⑤＝④×③

全施設の年間総実人数の推計値の計及び全体は内訳を積み上げた数値

c. 全施設の年間外国人の宿泊者数（推計値）

外国人の宿泊者数については、外国人及び外国人を含めた宿泊者数ともに回答が得られた施設をもとに割合を求め、全施設の宿泊者数の推計値に乗じて算出した。

ア：全施設の年間外国人総延べ宿泊者数（推計値）

全施設の年間外国人総延べ宿泊者数の推計値については、年間の延べ宿泊者数及び外国人延べ宿泊者数ともに回答が得られた施設をもとに、延べ宿泊者数に対する外国人延べ宿泊者数の割合を求め、外国人延べ宿泊者数比率とし、その数値を前出 a のウ（表 2-3-8）で求めた全施設の年間総延べ宿泊者数の推計値に乗じて算出した。

表 2-3-10 全施設の年間外国人総延べ宿泊者数の推計値

		回答数	① 回答あり 施設の年間 外国人延べ 宿泊者数 (施設) (人泊)	② 回答あり 施設の 年間延べ 宿泊者数 (人泊)	③ 回答あり 施設の 外国人延べ 宿泊者数 比率 (%)	④ 全施設の 年間総延べ 宿泊者数 推計値 (人泊)	⑤ 全施設の 年間外国人 総延べ宿泊 者数推計値 (人泊)
登録ホテル		19	418,083	1,918,252	21.8	2,040,452	444,819
ホテル (登録ホテル を除く)	100 室以上	24	90,782	1,355,742	6.7	3,145,231	210,730
	50 室以上 100 室未満	9	2,305	192,340	1.2	667,868	8,014
	50 室未満	6	1,328	42,161	3.1	131,719	4,083
	計	39	94,415	1,590,243		3,944,818	222,827
旅 館		17	2,561	101,083	2.5	303,677	7,592
全 体		75	515,059	3,609,578		6,288,947	675,238

注：③＝①÷②

⑤＝④×③

全施設の年間外国人総延べ宿泊者数の推計値の計及び全体は内訳を積み上げた数値

イ：全施設の年間外国人総実人数（推計値）

全施設の年間外国人総実人数の推計値については、年間の実人数及び外国人実人数ともに回答が得られた施設をもとに、実人数に対する外国人実人数の割合を求め、外国人実人数比率とし、その数値を前出 b で求めた全施設の年間総実人数の推計値（表 2-3-9）に乗じて算出した。

表 2-3-11 全施設の年間外国人総実人数の推計値

		回答数	① 回答あり 施設の年間 外国人 実人数 (施設) (人)	② 回答あり 施設の年間 実人数 (人)	③ 回答あり 施設の 外国人 実人数比率 (%)	④ 全施設の 年間 総実人数 推計値 (人)	⑤ 全施設の 年間外国人 総実人数 推計値 (人)
登録ホテル		9	112,431	667,136	16.9	1,448,721	244,834
ホテル (登録ホテル を除く)	100 室以上	3	1,474	112,958	1.3	2,519,330	32,751
	50 室以上 100 室未満	6	996	96,178	1.0	550,323	5,503
	50 室未満	5	621	30,334	2.0	100,238	2,005
	計	14	3,091	239,470		3,169,891	40,259
旅 館		6	250	21,149	1.2	134,225	1,611
全 体		29	115,772	927,755		4,752,837	286,704

注：③＝①÷②

⑤＝④×③

全施設の年間外国人総実人数の推計値の計及び全体は内訳を積み上げた数値

②国別外国人宿泊数

国別に外国人宿泊者数の回答が得られた施設は 76 施設で、そのうち外国人の宿泊があった施設は 66 施設であり、その割合は 86.8%であった。なお、外国人の宿泊が無かったのは、旅館が 8 施設、ホテル（登録ホテルを除く）が 2 施設であった。

国別の外国人宿泊者数をみると、米国が全体の 36.8%（99,177 人）と最も多く、次いで台湾が 23.7%（63,830 人）となっている。以下、中国 15.0%（40,347 人）、韓国 12.8%（34,648 人）、タイ 5.4%（14,469 人）と続いている。

施設分類別にみると、登録ホテルでは米国が、ホテル（登録ホテルを除く）では台湾が最も多くなっている。

なお、ここで示している外国人宿泊者数は、各宿泊施設の上位 3 カ国を表記しており、その回答が得られた施設の総和である。

表 2-3-12 国別、外国人宿泊者数

		回答数 (施設)	米国	台湾	中国	香港	韓国	タイ	ドイツ	カナダ	イギリス	オーストラリア	フランス	その他	合計
登録ホテル		19	97,551	23,441	27,381	-	30,435	10,519	5,400	5,088	4,298	1,515	-	100	205,728
ホテル (登録ホテルを除く)	100室以上	25	1,424	40,214	12,066	98	3,199	3,950	-	-	-	-	300	70	61,321
	50室以上100室未満	9	83	94	433	-	598	-	-	-	-	-	-	6	1,214
	50室未満	6	73	6	304	-	163	-	-	-	-	-	-	38	584
	計	40	1,580	40,314	12,803	98	3,960	3,950	-	-	-	-	300	114	63,119
旅館		7	46	75	163	-	253	-	101	-	-	75	82	17	812
全 体 (上段：人数、下段：割合)		66	99,177	63,830	40,347	98	34,648	14,469	5,501	5,088	4,298	1,590	382	231	269,659
			36.8	23.7	15.0	0.0	12.8	5.4	2.0	1.9	1.6	0.6	0.1	0.1	100.0

③修学旅行団体の受入状況

ア：修学旅行学校数及び宿泊者数

今回の調査において、平成 18 年度に修学旅行を受け入れた宿泊施設は 10 施設（対有効回答 185 施設比 5.4%）で、昨年度より 2 施設減少している。学校数は 73 校、宿泊者数は 5,969 人であり、「愛・地球博」が開催された昨年度（135 校、11,856 人）に比べ、学校数は 62 校減少し、宿泊者数は 5,887 人減少している。

表 2-3-13 修学旅行団体の受入実績

		修学旅行 受入施設数 (施設)	① 学校数 (校)	② 宿泊者数 (人)	③ 1 校あたり修学 旅行宿泊者数 (人)
登録ホテル		5	22	1,352	61
ホテル (登録ホテルを除く)	100 室以上	1	14	2,935	210
	50 室以上 100 室未満	0	0	0	0
	50 室未満	0	0	0	0
	計	1	14	2,935	210
旅 館		4	37	1,682	45
全 体		10	73	5,969	82

注：③＝②÷①

表 2-3-14 修学旅行団体の受入実績（年度推移）

年度 区分	14 年度		15 年度		16 年度		17 年度		18 年度	
	学校数	宿泊者数	学校数	宿泊者数	学校数	宿泊者数	学校数	宿泊者数	学校数	宿泊者数
小学校	31	1,802	27	1,294	21	1,096	41	2,072	26	1,464
中学校	6	689	5	353	7	595	36	3,733	6	371
高 校	6	630	11	639	4	303	31	2,886	16	1,028
その他	11	1,227	15	1,936	16	2,874	27	3,165	25	3,106
全 体	54	4,348	58	4,222	48	4,868	135	11,856	73	5,969

イ：地域別の受入学校数

下表は、修学旅行団体の受入学校数を地域別・学校分類別に整理したものである。

合計では 73 校中 25 校（34.2％）が近畿地域からの修学旅行団体であり、次いで東海・北陸地域（21 校、28.8％）、関東・甲信越地域（19 校、26.0％）の順となった。昨年度と比較すると、関東・甲信越地域が 16 校、東海・北陸地域が 15 校、北海道・東北地域が 13 校、九州・沖縄地域が 11 校、中国・四国地域が 4 校、近畿地域が 3 校それぞれ減少している。

学校分類別では、小学校（26 校、35.6％）とその他（25 校、34.2％）が多く、次いで高校（16 校、21.9％）となっている。

表 2-3-15 施設別、地域別修学旅行団体受入状況

施設区分	回答状況	地域 (施設)	計 (校)	小学校 (校)	中学校 (校)	高校 (校)	その他 (校)
登録ホテル		北海道・東北	0				
		関東・甲信越	8	1	1	2	4
		東海・北陸	8		3	4	1
		近畿	4	3			1
		中国・四国	1				1
		九州・沖縄	1			1	
ホテル(登録ホテルを含まず)		北海道・東北	3		1	1	1
		関東・甲信越	5			1	4
		東海・北陸	0				
		近畿	4				4
		中国・四国	0				
		九州・沖縄	2			2	
旅館		北海道・東北	0				
		関東・甲信越	6			2	4
		東海・北陸	13	6		3	4
		近畿	17	16	1		
		中国・四国	1				1
		九州・沖縄	0				
全体		北海道・東北	3	0	1	1	1
		関東・甲信越	19	1	1	5	12
		東海・北陸	21	6	3	7	5
		近畿	25	19	1	0	5
		中国・四国	2	0	0	0	2
		九州・沖縄	3	0	0	3	0
		計	73	26	6	16	25

表 2-3-16 地域別修学旅行団体受入状況

	小学校		中学校		高等学校		その他		計	
	校数	人員	校数	人員	校数	人員	校数	人員	校数	人員
北海道					1	63	1	27	2	90
青森県										
秋田県										
岩手県										
山形県										
宮城県										
福島県			1	47					1	47
東京都	1	10	1	100	3	93	5	1,281	10	1,484
神奈川県					1	83	3	64	4	147
千葉県							3	291	3	291
埼玉県					1	106			1	106
群馬県										
栃木県										
茨城県										
新潟県										
長野県							1	15	1	15
山梨県										
愛知県										
岐阜県	1	33	3	175	3	80	2	19	9	307
三重県					1	19			1	19
静岡県	4	115					1	8	5	123
福井県	1	111			1	85	1	15	3	211
石川県							1	42	1	42
富山県					2	76			2	76
滋賀県										
京都府	17	1,049	1	49					18	1,098
大阪府							2	599	2	599
奈良県	1	112							1	112
和歌山県										
兵庫県	1	34					3	690	4	724
鳥取県										
島根県										
岡山県							1	8	1	8
広島県										
山口県							1	47	1	47
香川県										
徳島県										
愛媛県										
高知県										
福岡県					1	91			1	91
大分県										
宮崎県					1	122			1	122
熊本県					1	210			1	210
佐賀県										
長崎県										
鹿児島県										
沖縄県										
合 計	26	1,464	6	371	16	1,028	25	3,106	73	5,969

2-4 全国から見た名古屋の観光に関する評価

(名古屋の観光に対するインターネットアンケート結果)

(1) 調査の概要

① 調査目的

名古屋への訪問実績や訪問意向、観光に対する評価など名古屋の観光実態を把握するため、インターネットを用いてアンケートを実施した。

② 調査対象

東海・大阪圏・東京・北陸・甲信越・東北・北海道・中国・四国・九州・沖縄に住む 18～69歳の男女 1,000 名とした。

③ 調査日時等

平成 18 年 11 月 25 日（土）～26 日（日）

④ サンプルング方法

国勢調査における都道府県人口割合と性・年齢別人口割合をもとに、各カテゴリーのサンプル数を求めた。(下表参照)。

インターネット調査の対象者

地域	男性							女性							計	%
	男性計	20代未満	20代	30代	40代	50代	60代以上	女性計	20代未満	20代	30代	40代	50代	60代以上		
①東海	40	1	9	7	5	10	8	54	2	12	11	9	11	9	94	9%
②大阪圏	115	5	19	20	26	27	18	105	3	23	18	22	20	19	220	22%
③東京圏	143	6	33	21	26	29	28	130	7	27	22	22	30	22	273	27%
④北陸・甲信越	55	6	13	12	9	8	7	55	3	8	13	13	9	9	110	11%
⑤東北・北海道	63	3	12	14	11	14	9	45	0	10	6	7	12	10	108	11%
⑥中国・四国	33	3	4	8	4	7	7	60	2	11	9	14	18	6	93	9%
⑦九州・沖縄	51	1	5	13	14	10	8	51	2	10	16	8	5	10	102	10%
計	500	25	95	95	95	105	85	500	19	101	95	95	105	85	1000	100%

(2) 名古屋の観光の認知度・訪問状況

① 名古屋への訪問実績

1) 訪問の経験

今までに名古屋へ訪れたことがあるかを尋ねたところ、66.2%の方（662名）が「訪れたことがある」と回答している。

性別では男性の方が訪れた割合が高く、年齢別では見ると20歳未満の方が極端に低い。

地域別は東海圏では9割以上、次いで大阪圏（80.0%）、北陸・甲信越圏（74.5%）と続いている。

図 2-4-1-1 名古屋への訪問の有無（性別・年齢別）

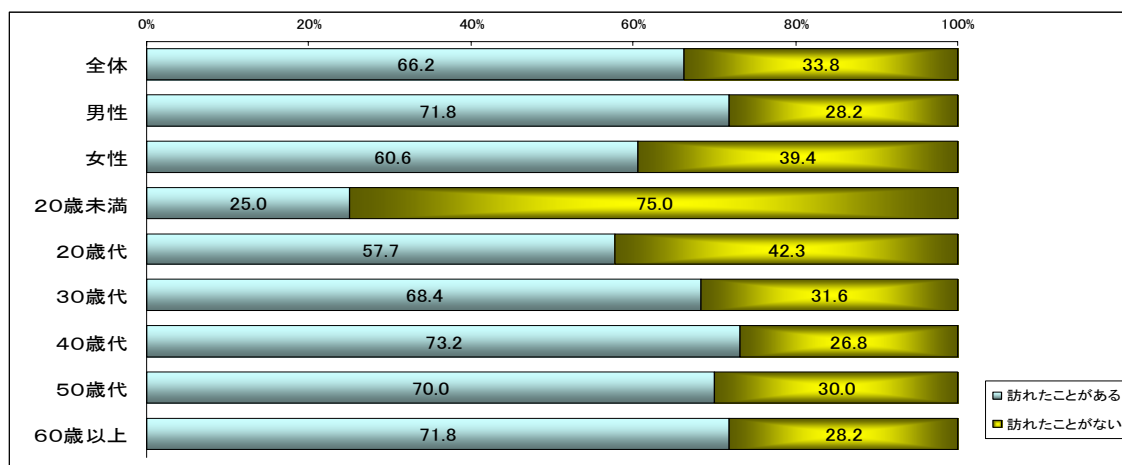
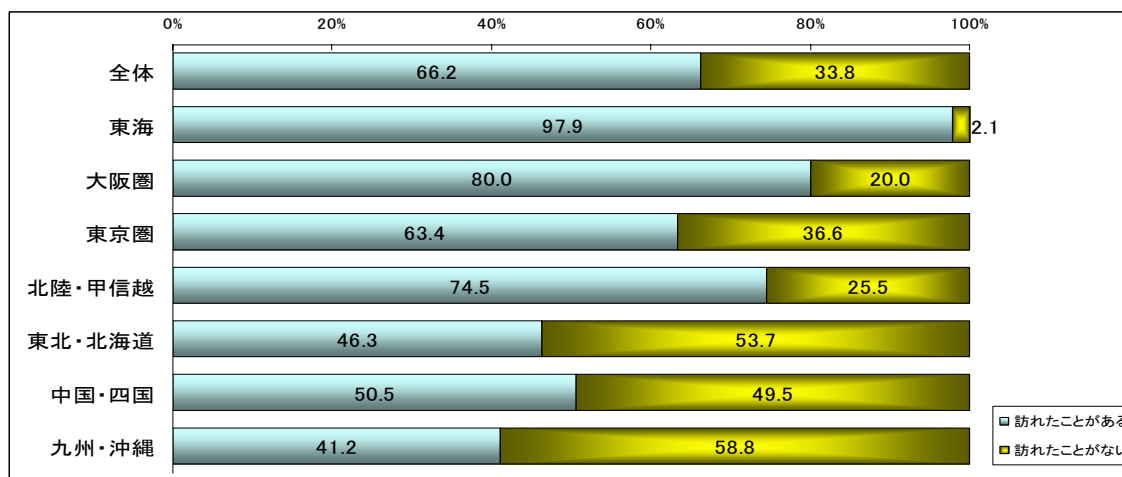


図 2-4-1-2 名古屋への訪問の有無（地域別）



2) 訪問の目的

目的は全体では「施設の見学」が43.1%（285名）と最も多く、次いで「友人・親戚への訪問」（36.4%・241名）、「仕事」「ショッピング」と続いている。

性別では、男性は「仕事」女性は「施設の見学」の割合が高い。

地域別でみると、東海圏は「ショッピング」が約63.0%を占める。北陸・甲信越圏、大阪圏では「観光」の割合が、東北・北海道圏では「仕事」の割合が高くなっている。

図 2-4-2-1 名古屋への訪問目的（性別・年齢別）

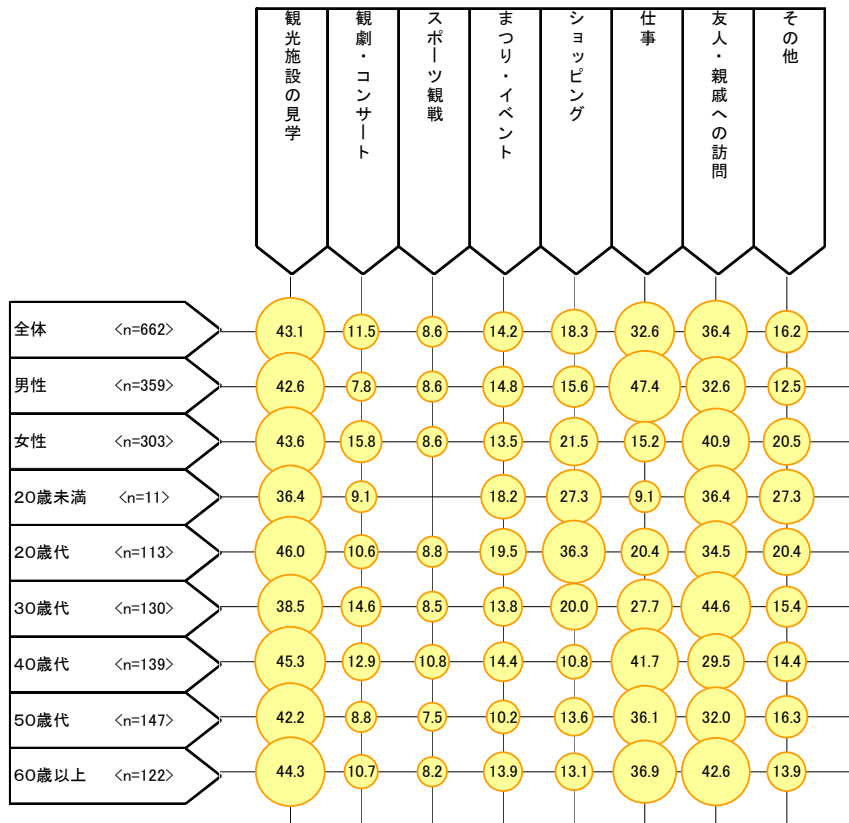
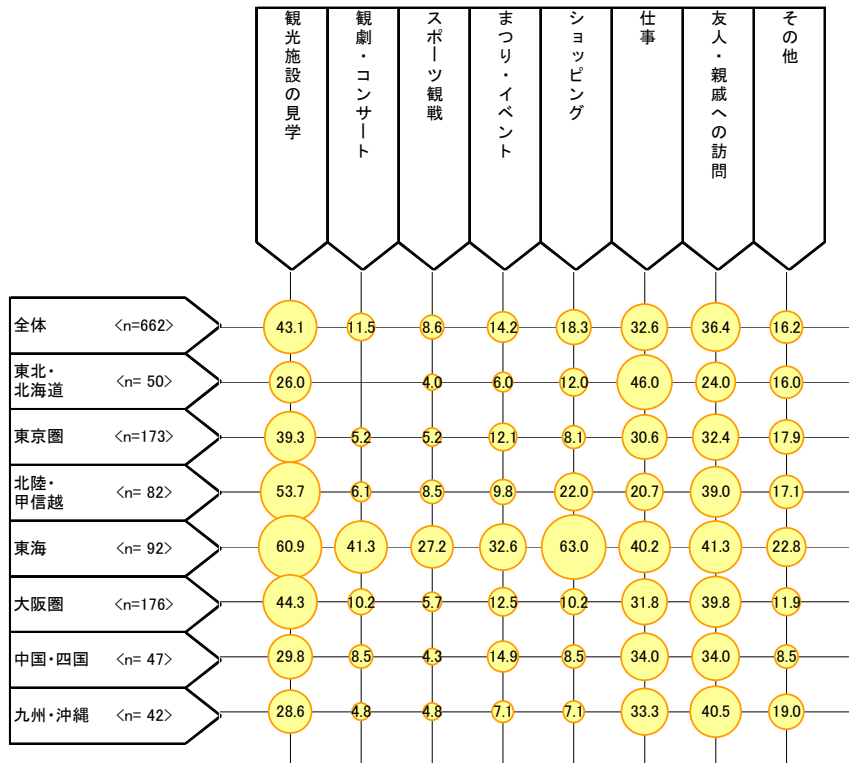


図 2-4-2-2 名古屋への訪問の有無（地域別）



3) 訪問のきっかけ

「名古屋へ訪れたことがある」と答えた 662 名の方にきっかけを尋ねたところ「以前から訪れたいと思っていたから」が 30.2%で最も多く、名古屋への関心が多く寄せられている。（「その他」を除く）次いで「知人に薦められたから・知人に案内されたから」が 22.5%、「興味のある催事が開催されていたから」18.4%となっている。

性別、年齢別においても、この割合はほぼ変わらない。地域別では北陸・甲信越圏で「以前から訪れたいと思っていたから」を訪問のきっかけにしている方が多い。

図 2-4-3-1 名古屋への訪問のきっかけ（性別・年齢別）

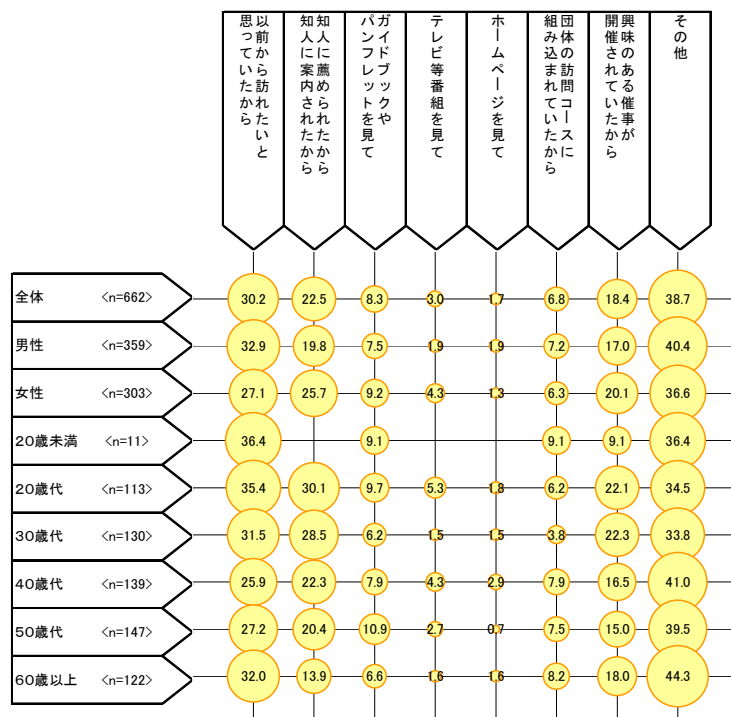
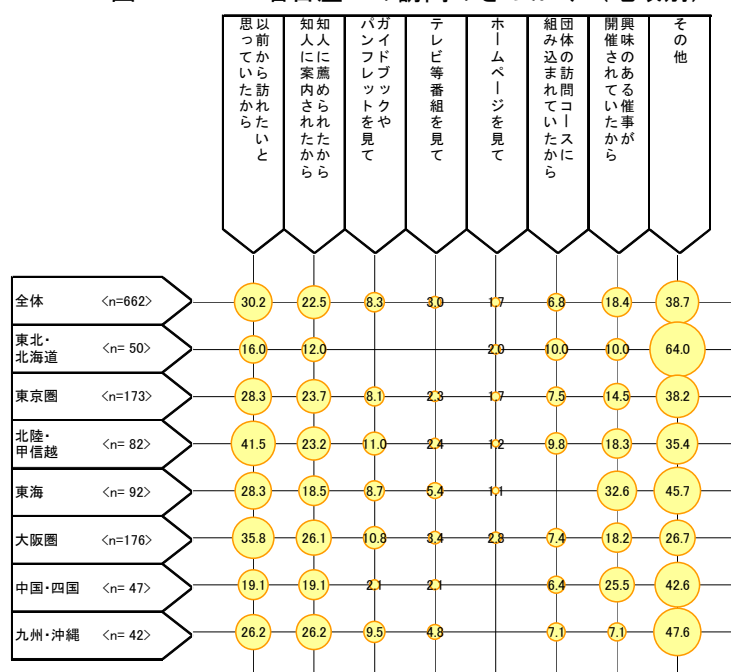


図 2-4-3-2 名古屋への訪問のきっかけ（地域別）



4) 訪問手段

名古屋への訪問の有無にかかわらず、訪問する場合の交通手段をお答え頂いた。

全体、性別、年齢別全てにおいて「新幹線」を利用して訪問する割合が 6～7 割となっている。

地域別でみると、東海圏は「自家用車」「鉄道」での訪問の割合が半数を占めている。大阪圏は「新幹線」(66.8%) に次いで「自家用車」(40.0%) となっているが、東京圏では「新幹線」(90.1%) が圧倒的に多い。また「航空機」の利用は東北・北海道圏(61.1%)、九州・沖縄圏(59.8%) で多く見られる。

図 2-4-4-1 名古屋への交通手段（性別・年齢別）

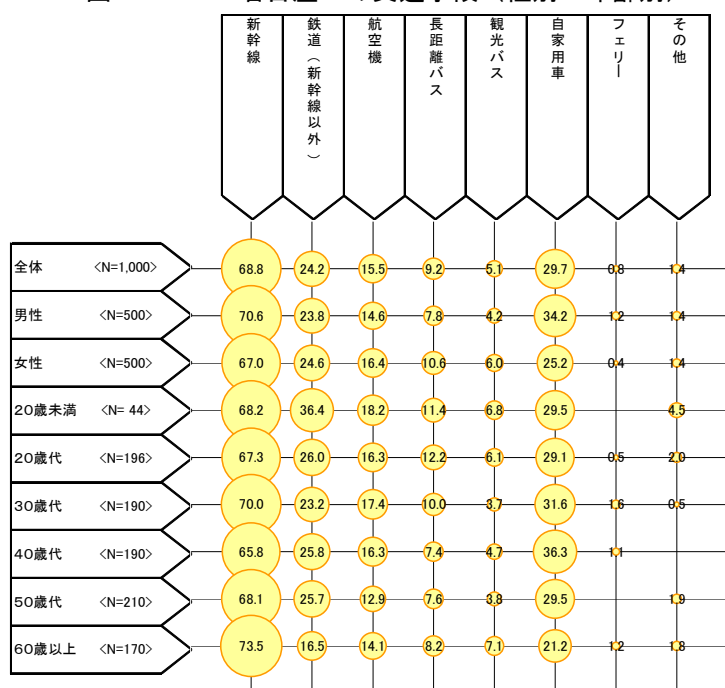
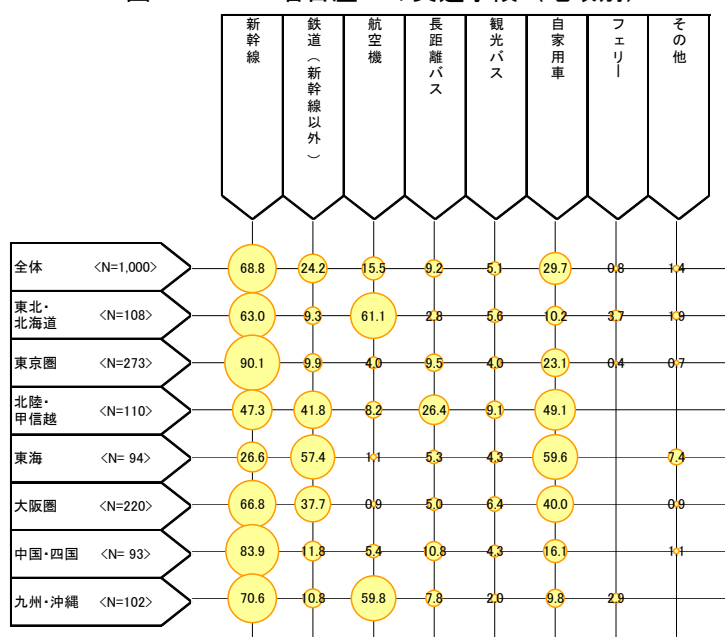


図 2-4-4-2 名古屋への交通手段（地域別）



② 名古屋の主要観光地の認知度と訪問状況

1) 名古屋の主要観光地の認知度

名古屋の観光地の中で知っているところやものについては、「名古屋城」と答える方が最も多く、ついで愛・地球博で全国的に認知度が広まり、マスコミでも多くとりあげられた影響もあり「なごやめし」が約7割以上と多くなっている。

性別や年齢別でみてもあまり変わりはないが、地域別では東海圏では全体的に名古屋の主要観光地を認知している。

図 2-4-5-1 名古屋の主要観光地の認知度（性別・年齢別）

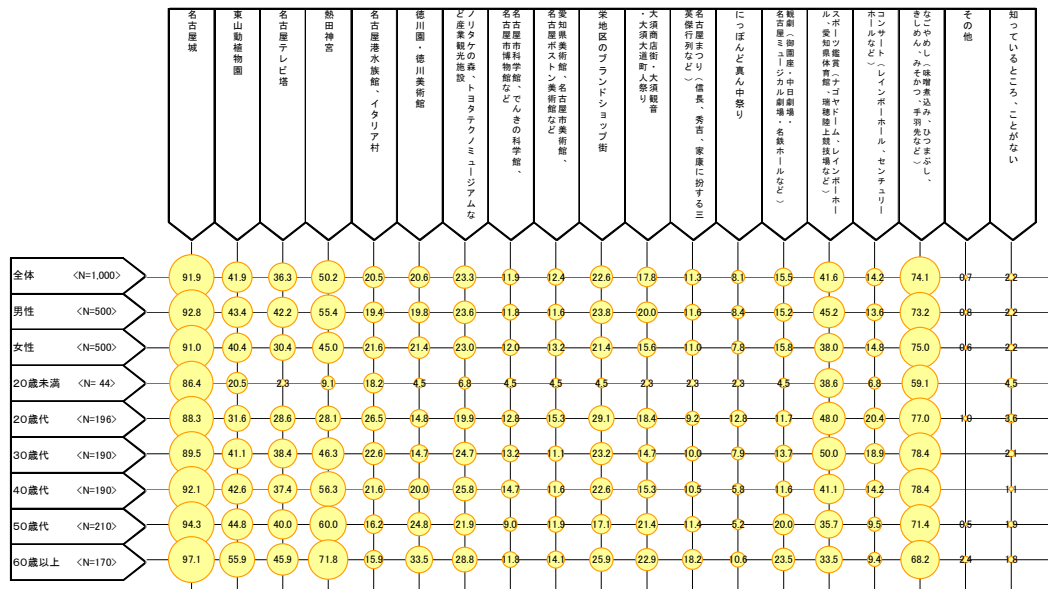
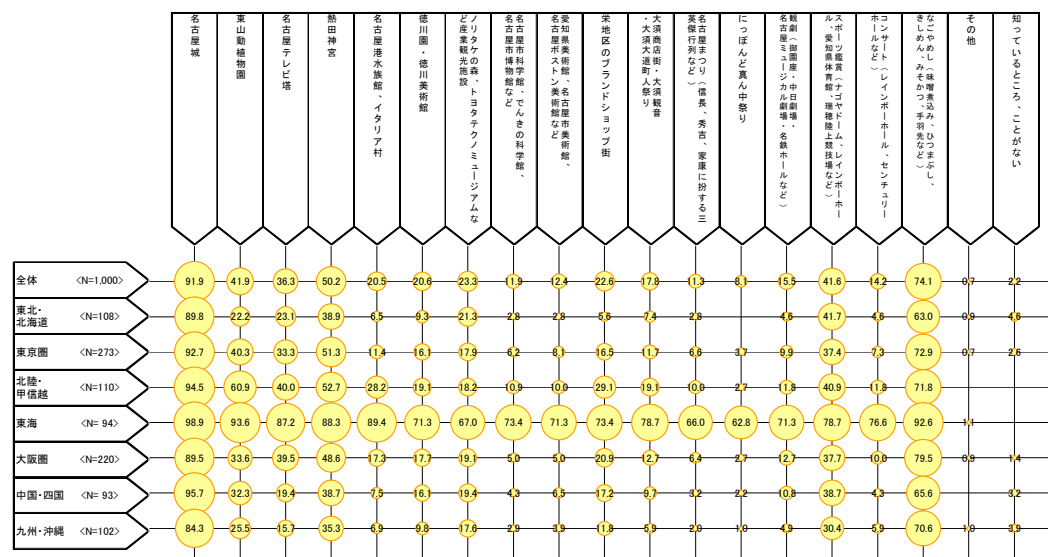


図 2-4-5-2 名古屋の主要観光地の認知度（地域別）



2) 名古屋の主要観光地の訪問・体験状況

名古屋の主要観光地の訪問状況として、全体的には「訪れたり体験したことがある観光施設がない」と答えた方は11.3%であり、ほとんどの方は名古屋の観光地や名古屋ならではの経験をしている。

訪れたところは、「名古屋城」「東山動植物園」「熱田神宮」「名古屋テレビ塔」と歴史的建物や、名古屋として象徴されるものが多い。また、体験したものとしては「なごやめし」をあげる方が約6割をしめており、多くの方が名古屋の食文化を体験していることがわかる。

図 2-4-6-1 名古屋の主要観光地の訪問・体験状況（性別・年齢別）

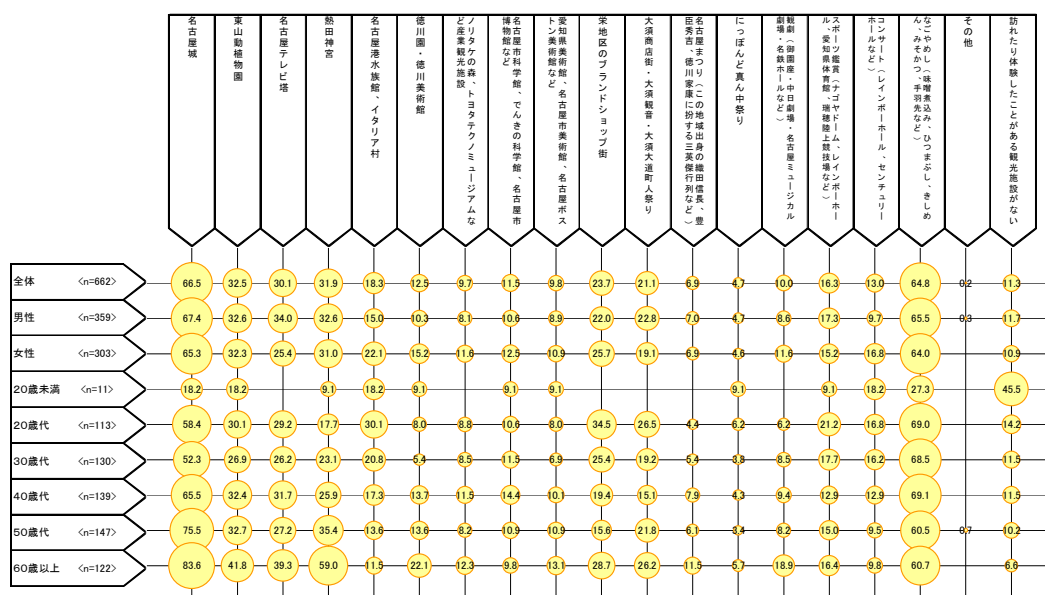
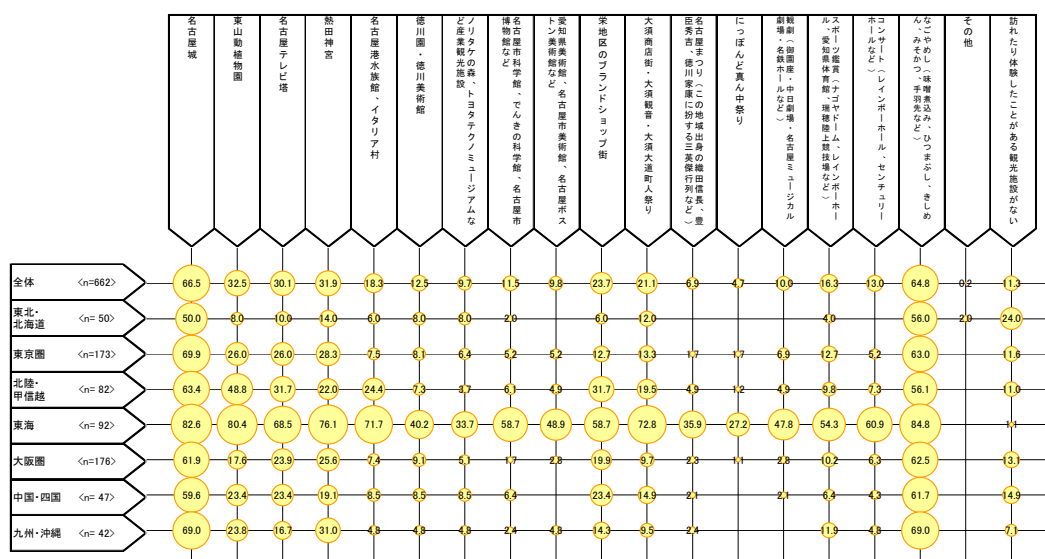


図 2-4-6-2 名古屋の主要観光地の訪問・体験状況（地域別）



(3) 名古屋に対する評価

① 名古屋に対する評価

1) 観光施設の魅力

名古屋へ観光で訪れた方の名古屋の観光施設の評価は全体で「やや満足」が 40.5%、「満足」が 12.9%で半数の方は満足と感じている。

性別では、女性の方が満足度は高く、年齢別で見ると 20 歳未満の方は「満足」との答えがみられず、約 6 割が「どちらともいえない」と評価されている。

地域別でみると、「満足」と答えた割合が最も高いのは東北・北海道圏で、逆に最も低いのは東京圏である。

図 2-4-7-1 観光施設の魅力の評価（性別・年齢別）

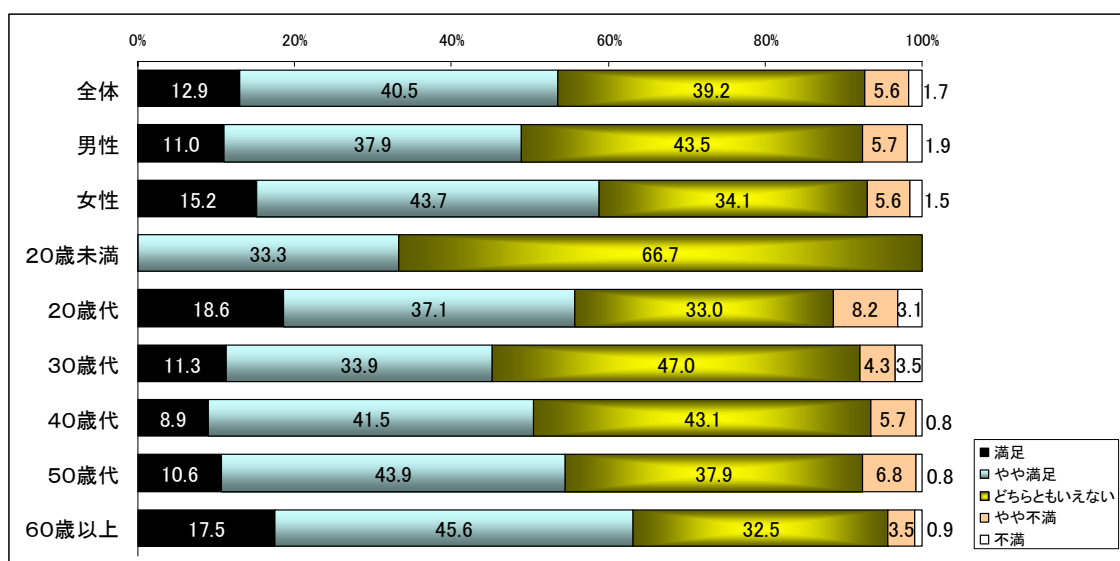
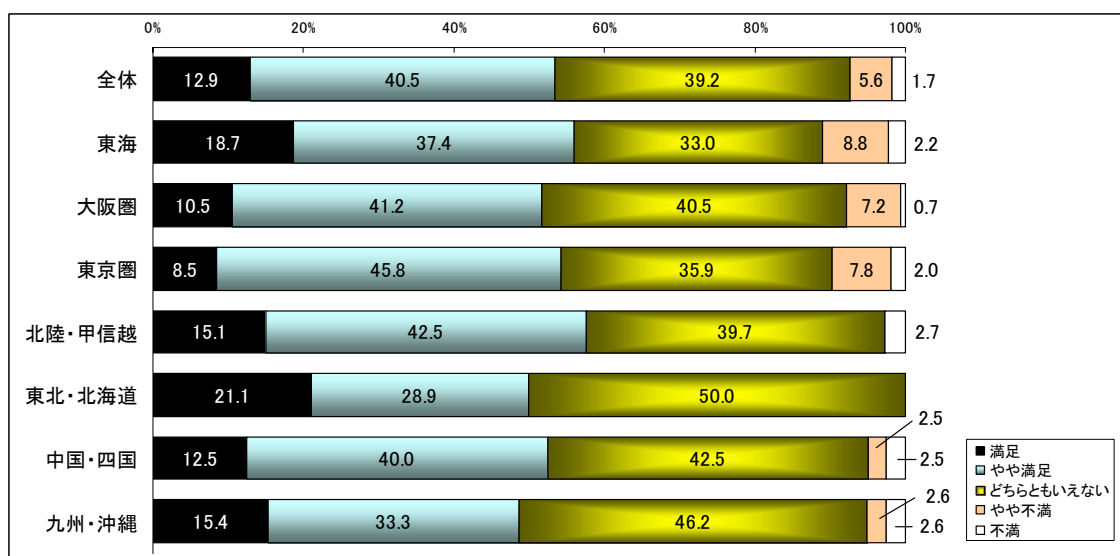


図 2-4-7-2 観光施設の魅力の評価（地域別）



2) 観光施設周辺の雰囲気

観光施設周辺の雰囲気は「どちらともいえない」が44.3%、「やや満足」が38.3%、「満足」が9.4%の順になっている。

性別では、男性・女性さほど変化はなく約半数の方は満足と感じている。

年齢別でみると、ここでも20歳未満の方は「満足」との答えがみられず、8割以上が「どちらともいえない」と感じている。

地域別でみると、東北・北海道圏や九州・沖縄圏の方の満足度は高いが、大阪圏では満足度が低くなっている。

図 2-4-8-1 観光施設周辺の雰囲気の評価（性別・年齢別）

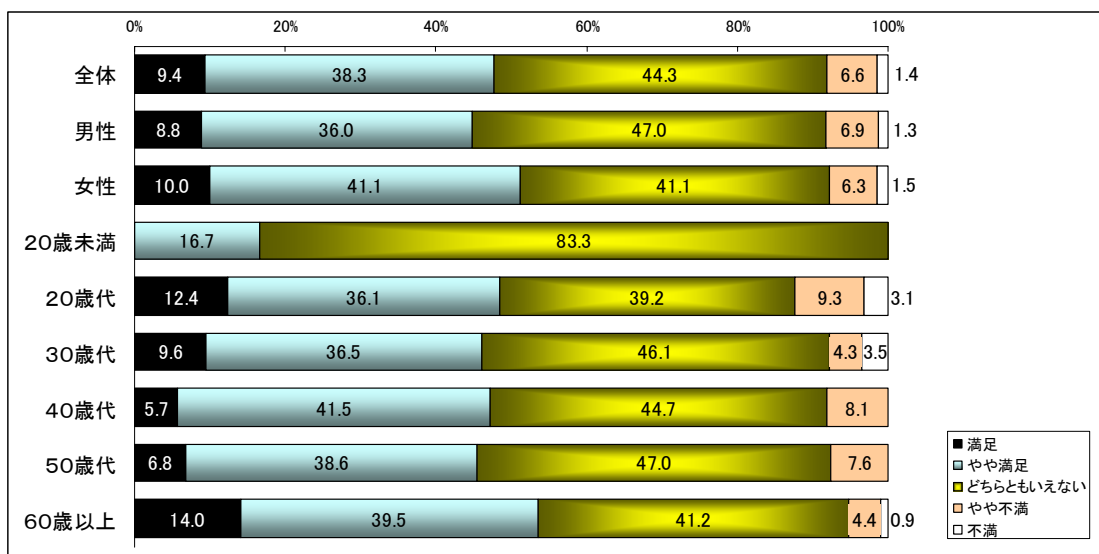
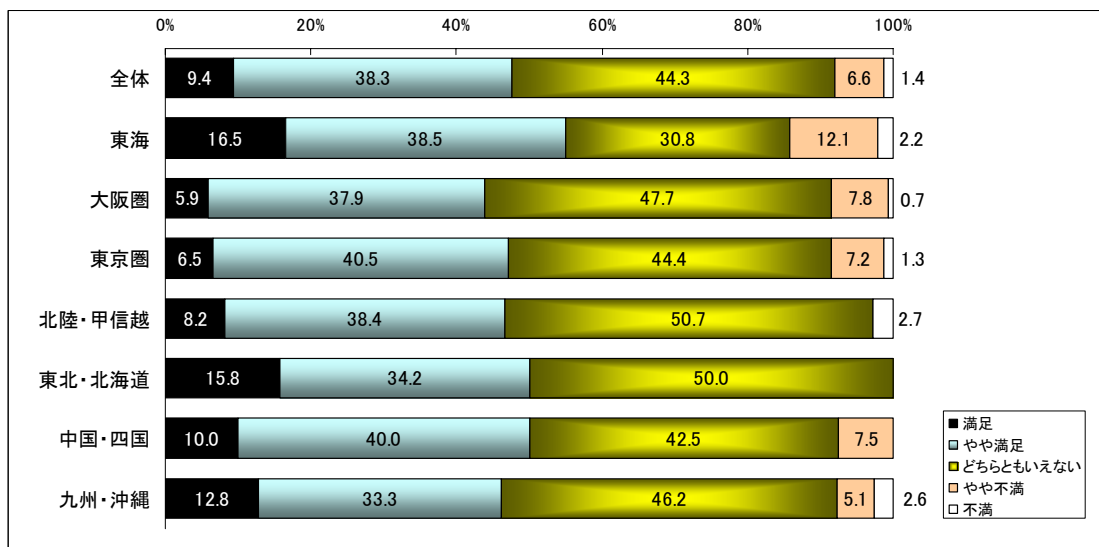


図 2-4-8-2 観光施設周辺の雰囲気の評価（地域別）



3) 係員、店員の親切さ、親しみやすさ

係員、店員の親切さ、親しみやすさは「どちらともいえない」が56.4%で半数以上を占めているが「やや不満」「不満」は7.7%と低い。

性別では、女性の方が満足度は高い。

年齢別では、20歳代以上で満足が3割以上だが20歳未満の方は満足度が低い。

地域別でみると、九州・沖縄圏の方の満足度は高いが、東北・北海道圏は満足度が低い。

図 2-4-9-1 係員、店員の親切さ、親しみやすさ（性別・年齢別）

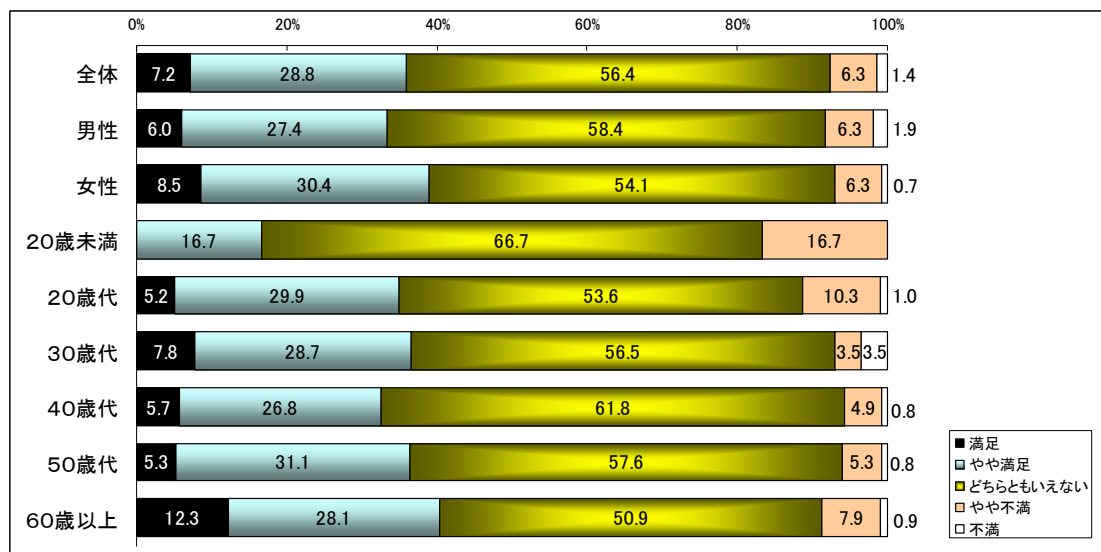
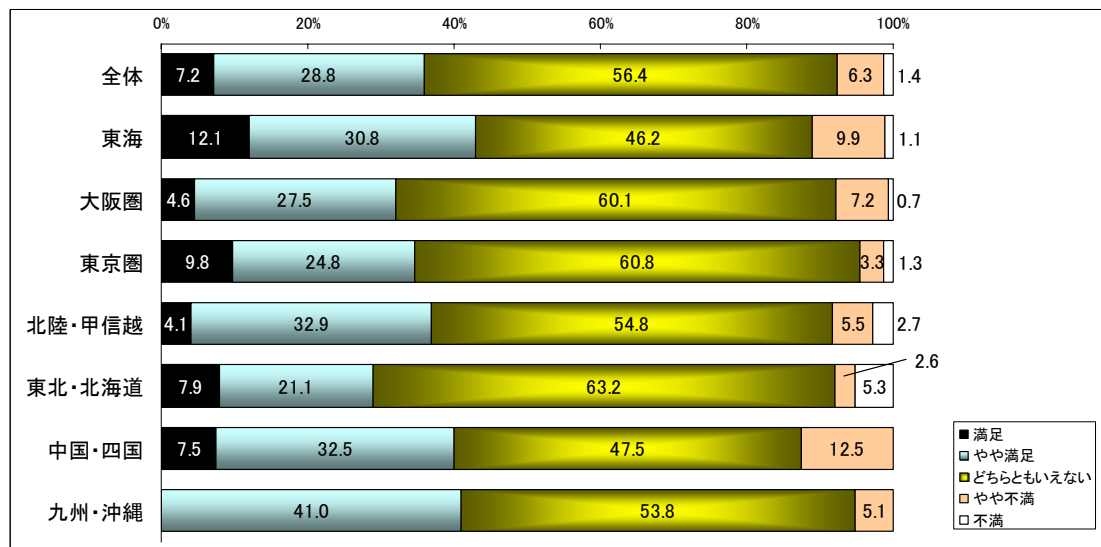


図 2-4-9-2 係員、店員の親切さ、親しみやすさ（地域別）



4) おみやげ品の評価

おみやげ品については「どちらともいえない」が47.7%、「やや満足」が31.3%、「やや不満」が10.2%で、満足度は約4割にとどまっている。

性別では女性の方が満足度は高く、年齢別では20歳代と60歳以上では満足度が高く、50歳代、40歳代で満足度は低くなっている。

地域別でみると、「満足」と答えた割合が高いのが東北・北海道圏や東京圏の方であり、北陸・甲信越圏では「満足」は2.7%と最も満足度は低くなっている。

図 2-4-10-1 おみやげ品の評価（性別・年齢別）

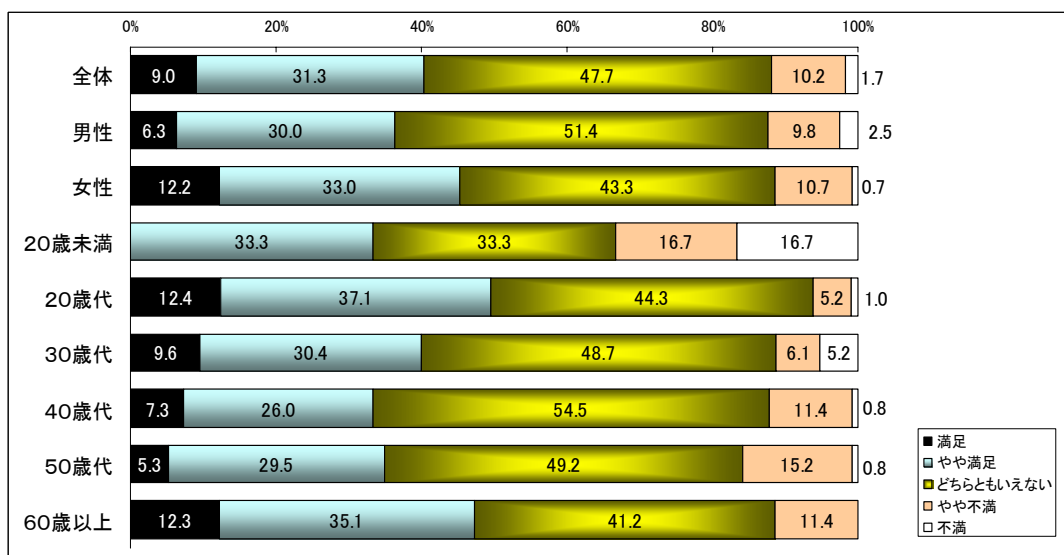
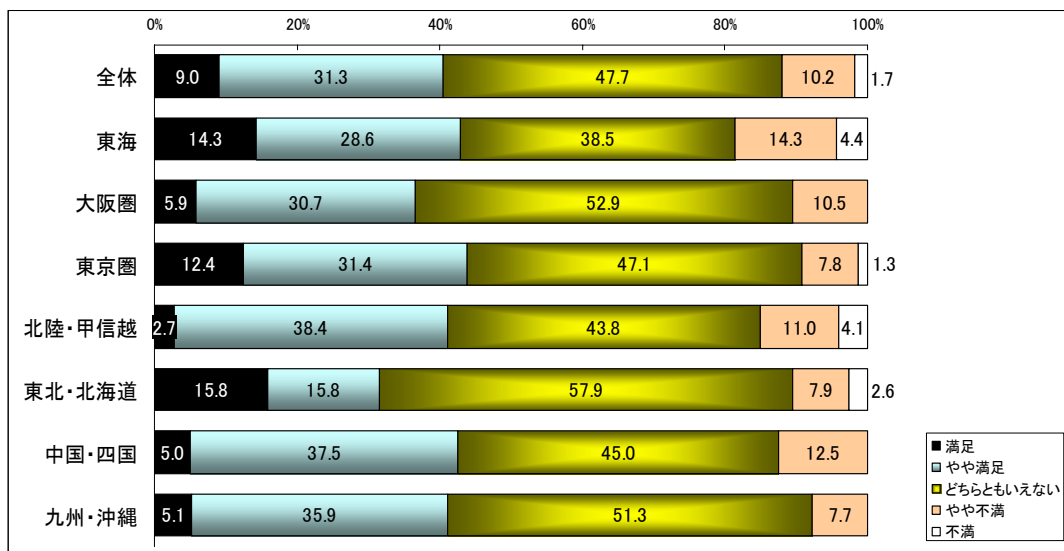


図 2-4-10-2 おみやげ品の評価（地域別）



5) なごやめしなどの食事の評価

なごやめしなどの食事の評価は、「やや満足」が40.4%、「満足」が29.5%で約7割が満足と感じている。

性別では、男性・女性共に約7割の方は満足と感じている。

年齢別では、「満足」と回答した割合が20歳代で47.4%と非常に高く、逆に50歳代は18.9%と低くなっている。

地域別でみると、東海圏や東京圏、中国・四国圏の方の満足度は高く、九州・沖縄圏では満足度は低い。

図 2-4-11-1 なごやめしなどの食事の評価（性別・年齢別）

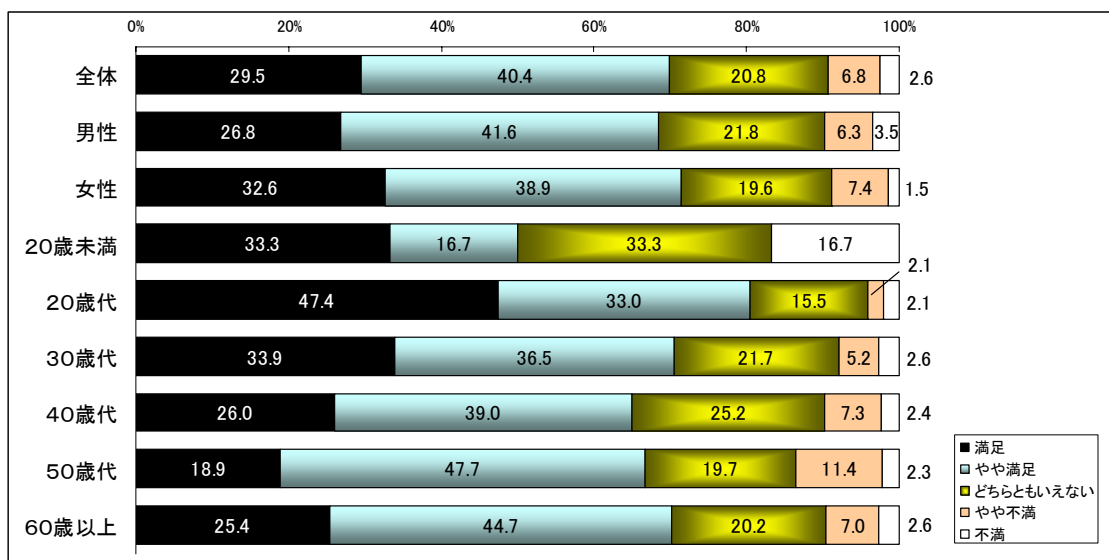
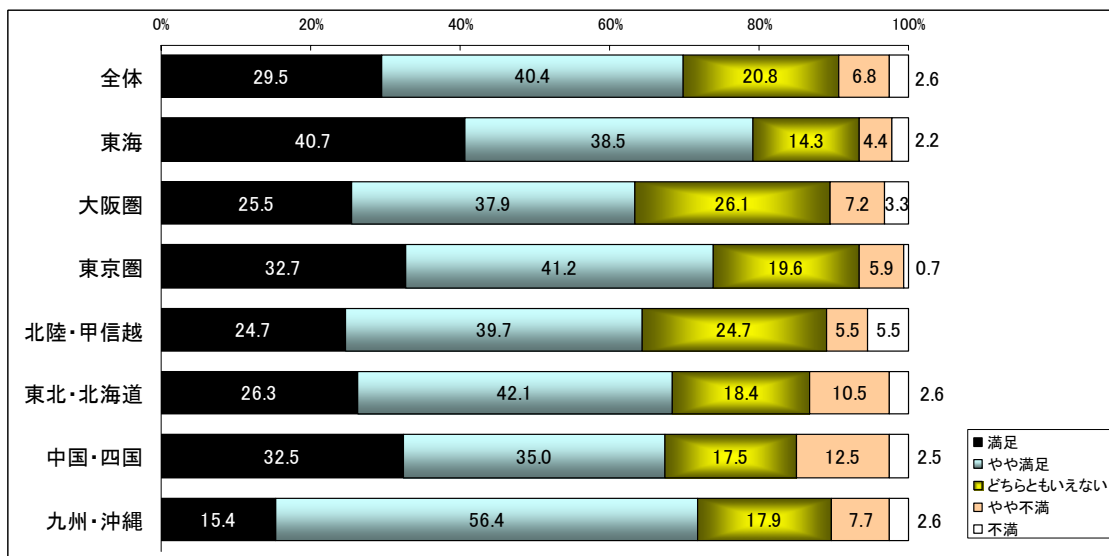


図 2-4-11-2 なごやめしなどの食事の評価（地域別）



6) 案内表示等のわかりやすさ

案内表示等のわかりやすさは「どちらともいえない」が59.1%、「やや満足」が26.6%「やや不満」が6.6%で不満と感じている方が多く見られる。

性別では、女性の方が「満足」と感じている割合が高い。

年齢別では、どの年代も「どちらともいえない」が5割以上を占めている。

地域別でみると、中国・四国圏の方の満足度は高いが、北陸・甲信越圏、九州・沖縄圏で満足度が低くなっている。

図 2-4-12-1 案内表示等のわかりやすさ（性別・年齢別）

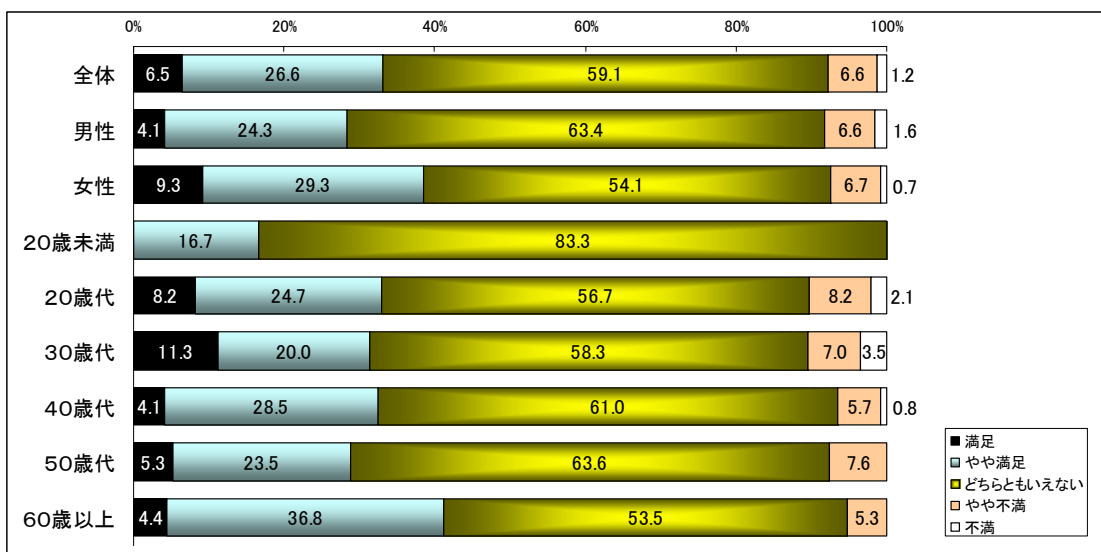
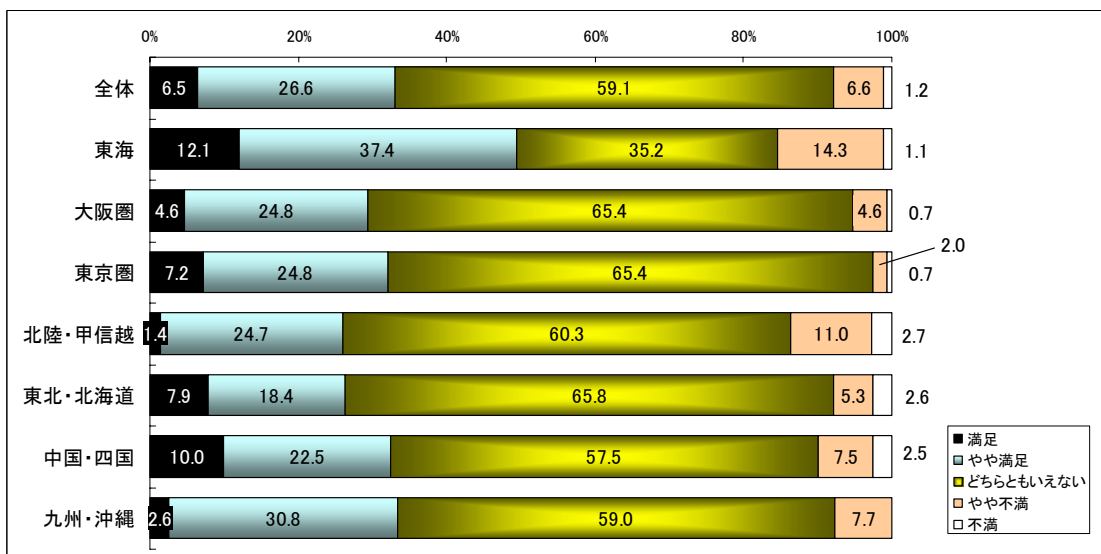


図 2-4-12-2 案内表示等のわかりやすさ（地域別）



7) 総合的な魅力の評価

総合的な魅力の評価は「やや満足」が 44.0%、「どちらともいえない」が 41.4%で約半数の方は満足と感じている。

性別でみると、女性の方が満足と感じている。

年齢別では、20 歳未満で「やや不満」が 16.7%と割合が多いものの、それ以外の年代は約 5 割が満足と答えている。

地域別でみると、東海圏の方の満足度は高く、九州・沖縄圏で満足度が低い。

図 2-4-13-1 総合的な魅力の評価（性別・年齢別）

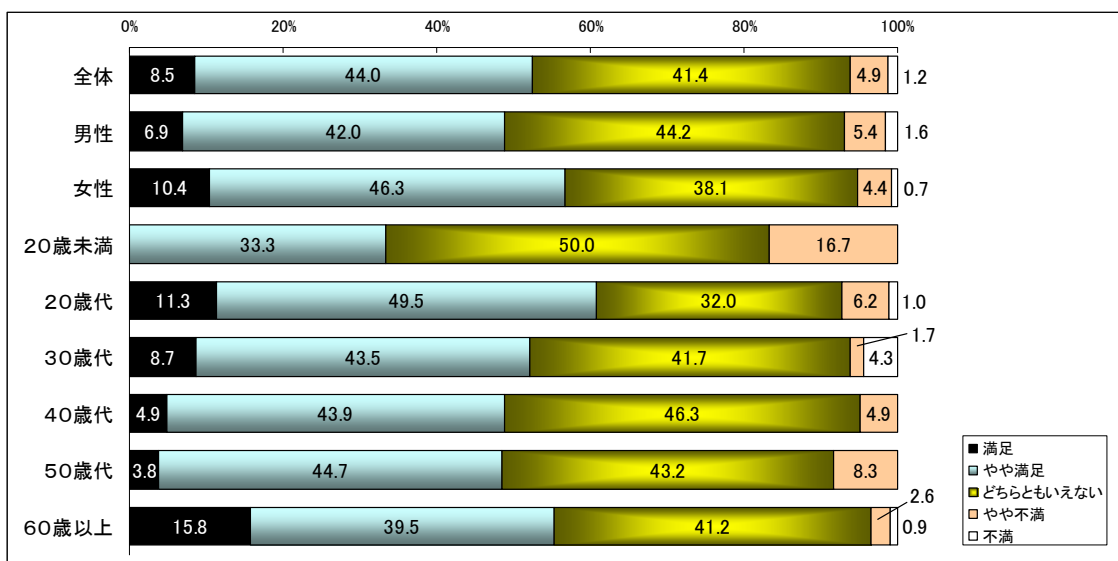
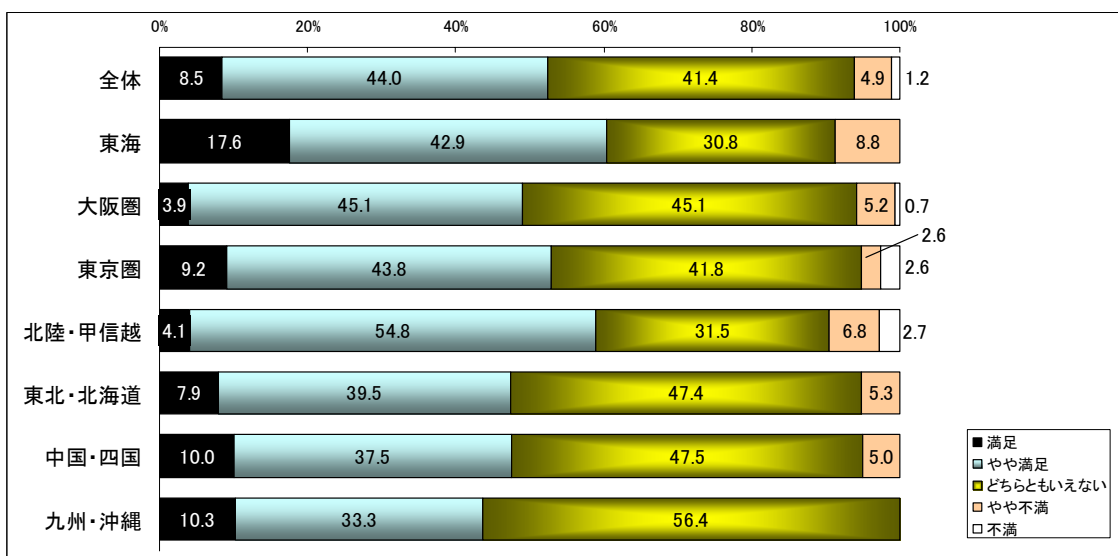


図 2-4-13-2 総合的な魅力の評価（地域別）



② 名古屋の特色

1) 名古屋の特色の知名度

ご存知の名古屋の特色として、「独自の食文化がある」が 84.3%と最も多くなっている。
名古屋が多くマスメディアに取り上げられていることが影響しているといえる。

性別では、男性・女性とも大きな違いは見受けられないが男性のほうが「家康、秀吉、信長ゆかりの史跡や遺産」が女性の方は「独自の食文化がある」と答える方が多い。

地域別でみると、どの地域も「独自の食文化がある」の知名度は高い。東海圏は全体的にどの特色においても知名度は高く、東北・北海道圏、九州・沖縄圏では「産業観光施設の集積」が高くなっている。

図 2-4-14-1 名古屋の特色の知名度（性別・年齢別）

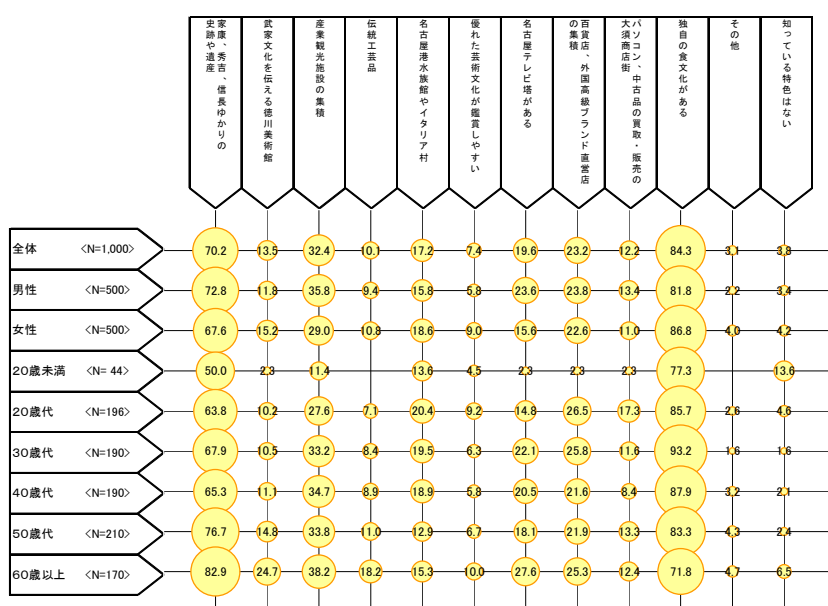
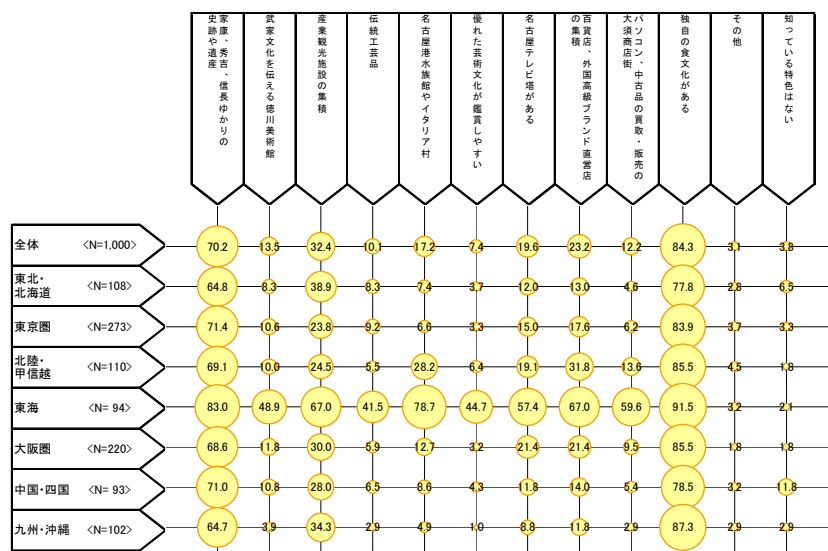


図 2-4-14-2 名古屋の特色の知名度（地域別）



(4) 観光振興の条件

① 名古屋の今後の訪問について

1) 名古屋への訪問意向

今後、名古屋へ観光での訪問の意向については、「機会があれば訪れたい」が 69.0%と最も多い。「是非訪れたい」の 19.1%とあわせて約 9 割の方は観光で名古屋を訪れたいと思っている。

性別では、どちらも大差は見られない。

年齢別でみると、20 歳代、30 歳代、60 歳代で「是非訪れたい」と考えている方の割合が高い。

地域別では、東海圏の方は「是非訪れたい」と思う割合が高く、東北・北海道、北陸・甲信越圏でも「是非訪れたい」の割合は高くみられる。

図 2-4-15-1 名古屋への訪問意向（性別・年齢別）

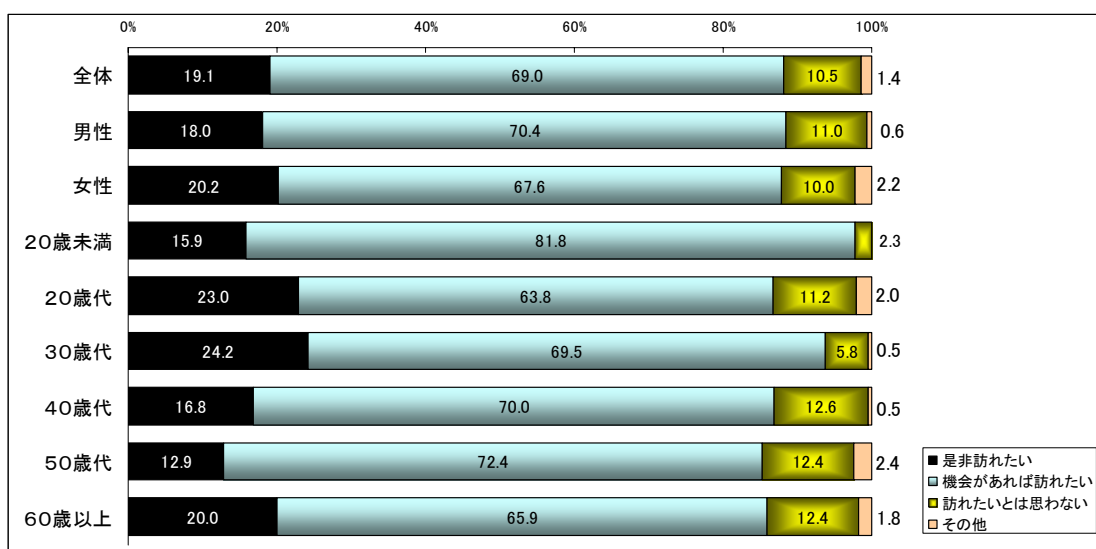
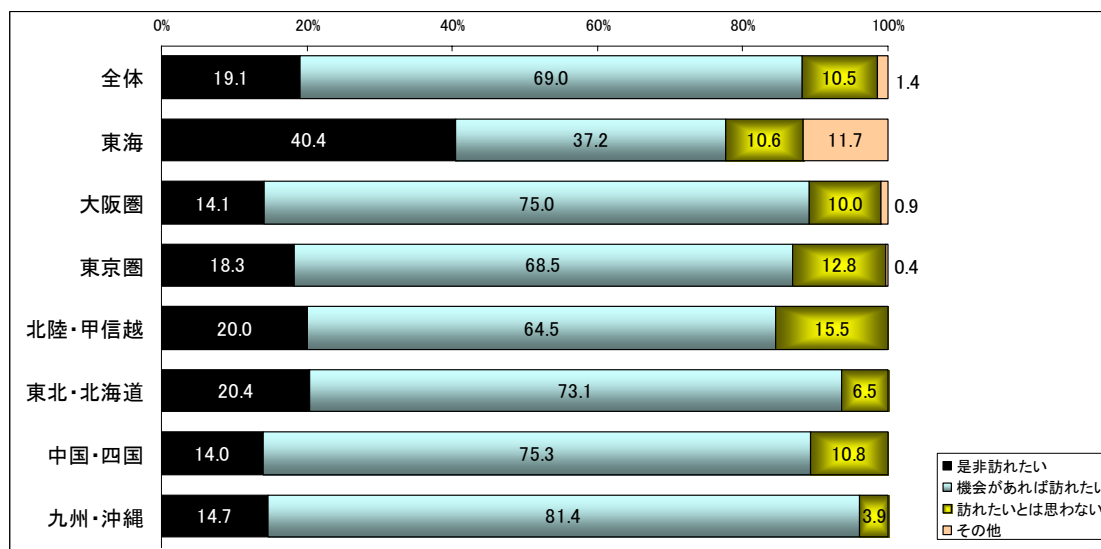


図 2-4-15-2 名古屋への訪問意向（地域別）



2) 訪れたい名古屋の観光の魅力

訪れたいと思われている名古屋観光の魅力は、「なごやめし」が 59.3%と多くの関心を集めている。次いで「名古屋城」50.3%、「徳川園・徳川美術館」31.0%、「リタケの森、トヨタテクノミュージアムなどの産業観光施設」30.0%、「名古屋港水族館、イタリア村」28.5%と続いている。

性別でみると、男性は「なごやめし」「名古屋城」「徳川園・徳川美術館」「リタケの森、トヨタテクノミュージアムなど産業観光施設」の順になり、女性では「なごやめし」「名古屋城」「リタケの森、トヨタテクノミュージアムなどの産業観光施設」「名古屋港水族館・イタリア村」を訪れたいと思っている。

年齢別では、どの年齢でも「なごやめし」「名古屋城」の割合は高くみられ、20 歳未満、20 歳代では「名古屋港水族館・イタリア村」の割合が、30 歳代、40 歳代では「リタケの森、トヨタテクノミュージアムなどの産業観光施設」の割合が、50 歳代、60 歳以上では「徳川園・徳川美術館」の割合が高くなっている。

地域別も「なごやめし」「名古屋城」の割合が高いが、東海圏では「名古屋港水族館・イタリア村」や「コンサート」「スポーツ鑑賞」の割合が高く、「名古屋城」の割合は低くなっている。東京圏では「徳川園・徳川美術館」「熱田神宮」「リタケの森、トヨタテクノミュージアムなどの産業観光施設」が、大阪圏では「名古屋港水族館・イタリア村」「リタケの森、トヨタテクノミュージアムなどの産業観光施設」「徳川園・徳川美術館」の順に割合が高い。

図 2-4-16-1 訪れたい名古屋の観光施設等（性別・年齢別）

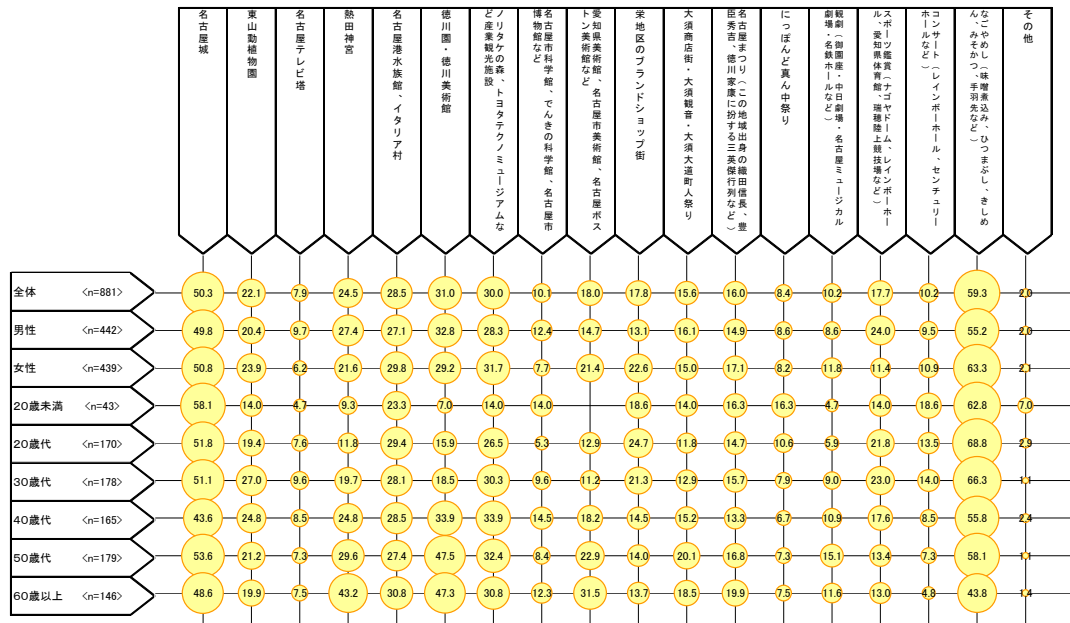
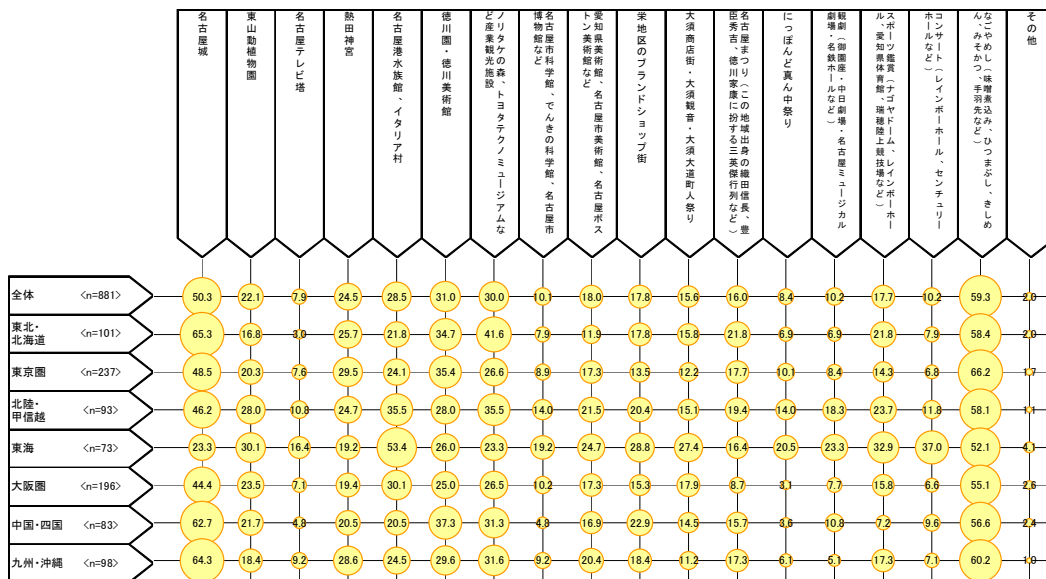


図 2-4-16-2 訪れたい名古屋の観光施設等（地域別）



② 名古屋を訪れたくない理由

一方、名古屋を訪れたいと思わない理由は「どの観光施設等も興味を感じないから」が 55.2% と半数を占めている。次いで「名古屋は遠いから」が 20.0%、「その他」が 14.3%、「どの観光施設等もよく知らないから」が 10.5%となっている。

性別でみると、女性では「どの観光施設等も興味を感じないから」の割合が高い。

年齢別でみると、20 歳未満を除き、どの年代も「どの観光施設等も興味を感じないから」の割合がほぼ半数を占めており、20 歳代では「名古屋は遠いから」の割合が比較的高くみられる。

地域別では、北陸・甲信越圏と東北・北海道圏を除き、どの地域ともに「どの観光施設等も興味を感じないから」の割合が高い。北陸・甲信越圏と東北・北海道圏では「名古屋は遠いから」と答える方の割合が多く見られる。

図 2-4-17-1 名古屋を訪れたくない理由（性別・年齢別）

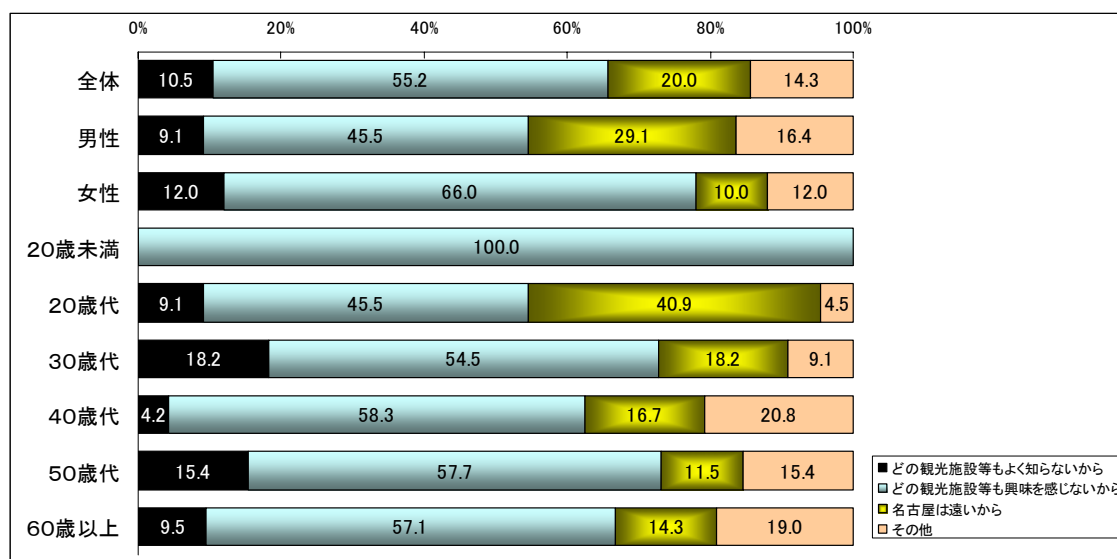
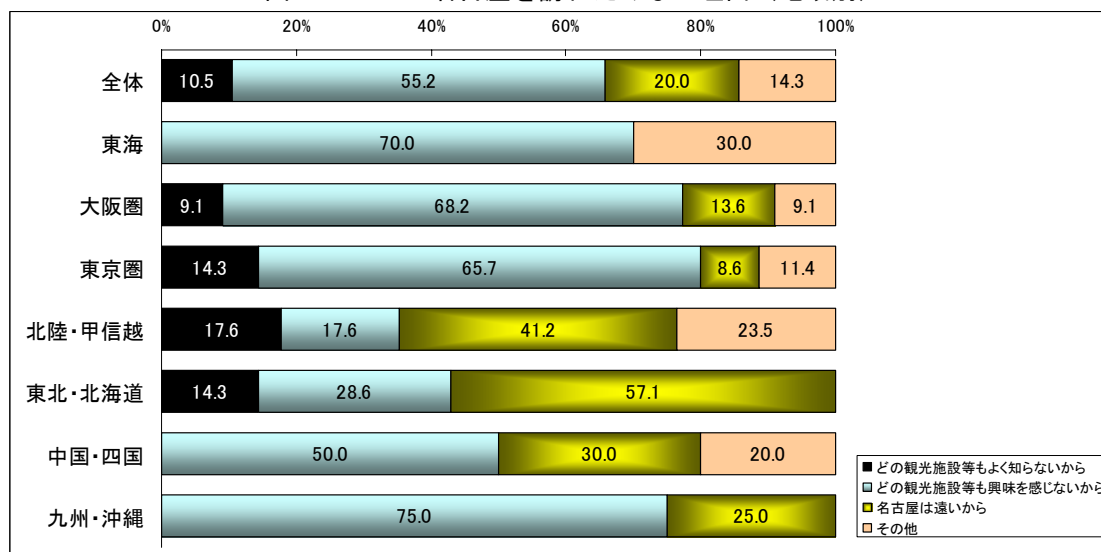


図 2-4-17-2 名古屋を訪れたくない理由（地域別）



③ 観光で訪れるために必要な魅力

1) 観光ルートバスの利用意向

名古屋市内の主要な歴史文化施設（名古屋城、徳川園など）や産業観光施設（トヨタテクノミュージアムなど）を気楽に巡ることができる「ルートバス」の利用意向については、「機会があれば利用したい」が 66.8%、「是非利用したい」が 15.8%とあわせて 8 割以上の方は利用を検討していることがわかる。

性別では、大きな変化は見られず、50 歳代の利用意向が高くなっている。

地域別では、どの地域も「機会があれば利用したい」の割合は高い。北陸・甲信越圏では「是非利用したい」の割合が 2 割となっているが、東海圏、東京圏、大阪圏では「利用したいとは思わない」の割合が約 2 割となっている。

図 2-4-18-1 観光ルートバスの利用意向（性別・年齢別）

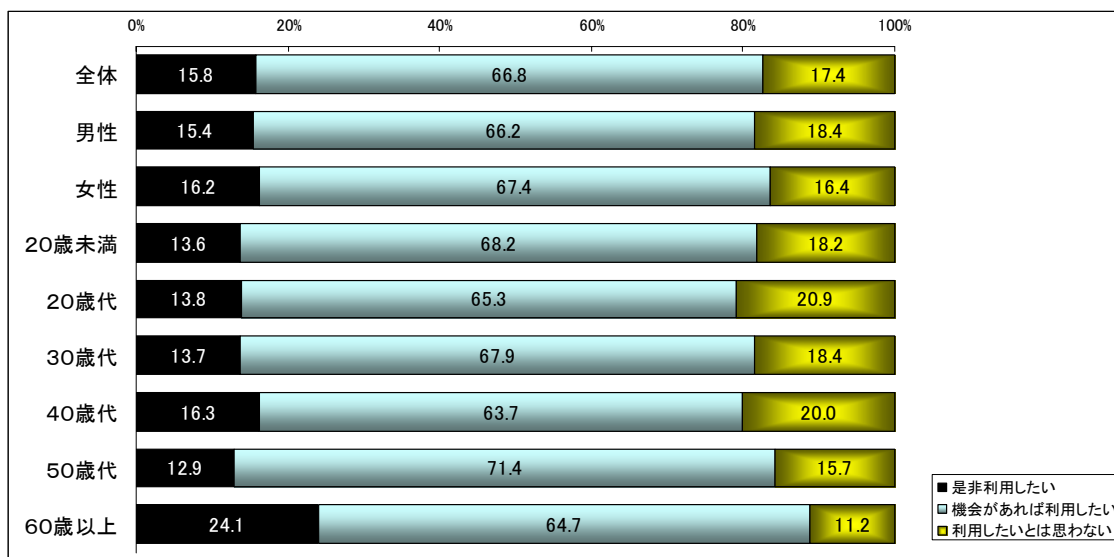
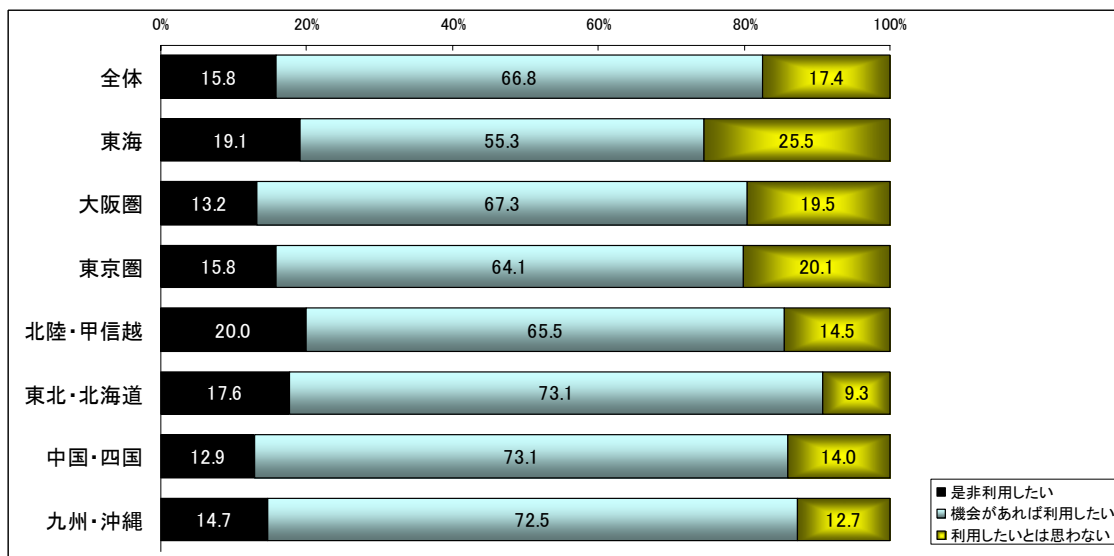


図 2-4-18-2 観光ルートバスの利用意向（地域別）



2) 名古屋城本丸御殿への意向

名古屋城本丸御殿が復元された場合の訪問意向については、「機会があれば訪れたい」が63.1%、「是非訪れたい」20.9%で約8割の方は訪れる意向を示している。

性別でみると、男性は「是非訪れたい」、女性では「機会があれば訪れたい」と答えた方の割合が高い。

年齢別では、20歳未満、20歳代では「訪れたいとは思わない」との回答が2割あるのに対し60歳以上の方では「是非訪れたい」が31.8%と高い割合をみせ、訪問意向の高さが伺える。

地域別でみると、どの地域も「機会があれば訪れたい」と思っている方の割合は高いが東海圏では「是非訪れたい」の割合が約4割を示している。東北・北海道圏、九州・沖縄圏、東京圏では「是非訪れたい」が2割を超えている。

図 2-4-19-1 名古屋城本丸御殿の訪問意向（性別・年齢別）

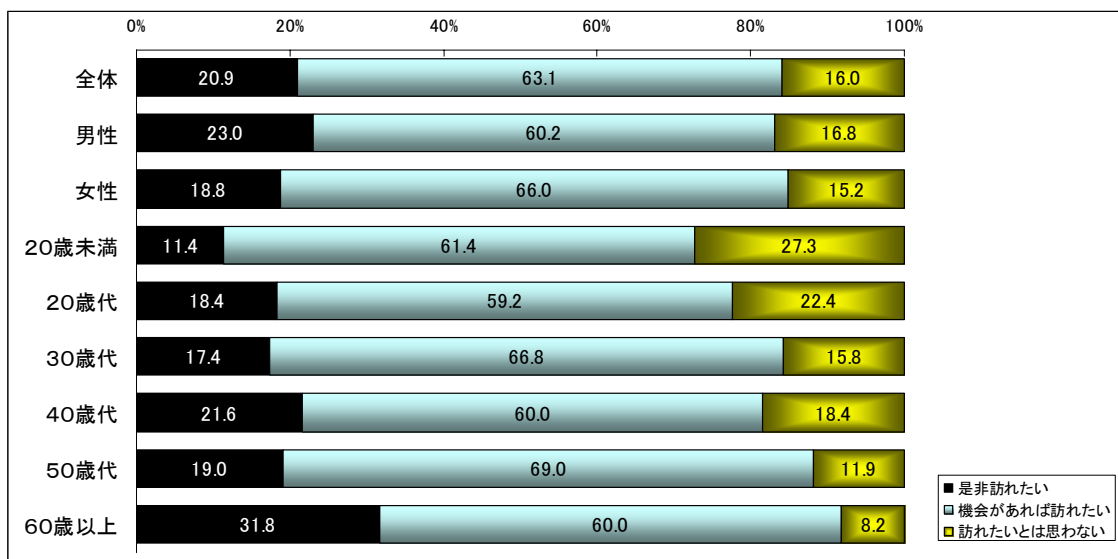
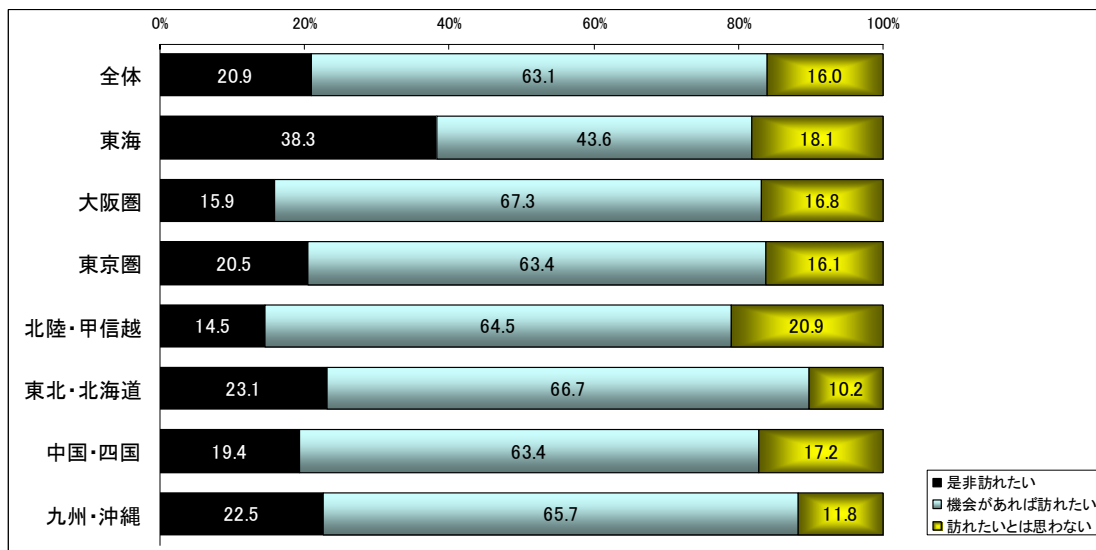


図 2-4-19-2 名古屋城本丸御殿の訪問意向（地域別）



3. 資料編

(1) 主要観光施設への入込動向

①名古屋市内在主要観光施設への観光入込客数の推移

平成 18 年度における名古屋市内在主要観光施設（32 施設）への入込客数は合計で約 2,151 万人であり、平成 17 年度と比較すると約 343 万人（13.8%）減少（平成 17 年度に万博ささしまサテライト事業の入込客数を含めると約 695 万人（24.4%）減少）した。

観光入込客数を施設別にみると、熱田神宮が約 624 万人と最も多く、次いで、東山動植物園（約 202 万人）、名古屋港水族館（約 193 万人）、イタリア村（約 169 万人）、名古屋城（約 110 万人）となっている。

施設別に昨年度の入込客数と比較すると、対前年度比率は名古屋市美術館が 177.0%、テレビ塔が 166.5%、名古屋市科学館が 126.4%、東山動植物園が 122.4%、名古屋能楽堂が 120.8%などとなっており、これらの施設では入込客数は増加を示している。

一方、昨年度に開館したイタリア村（38.8%）、昨年「新世紀・名古屋城博」を開催した名古屋城（55.2%）、及び昨年度大幅な増加を示した徳川美術館（59.9%）、愛知県美術館（62.3%）、文化のみち二葉館（62.7%）、徳川園（63.7%）、名古屋市博物館（63.9%）などにおいて入込客は減少している。

②名古屋市内在主要観光施設の月別観光入込客数

主要観光施設の月別入込客数を表 3-1-2 に示す。

熱田神宮は、初詣客を中心に「1 月」の入込客が圧倒的に多い。

花見の名所である名古屋城、東谷山フルーツパーク、名古屋市農業センターなどは 3 月～4 月の入込客が多い。また名古屋城は宵まつりが開催される 8 月も入込客は多い。

名古屋港水族館、シートレインランド、名古屋市科学館、でんきの科学館などは子どもが夏休みの 8 月に入込客が多い。

有松・鳴海絞会館は、絞りまつりが開催される 6 月に入込客が多い。

東山動植物園などの屋外の施設は、5 月、10 月の行楽シーズンを中心に入込客が多い。

美術館や博物館の入込客数のピークはまちまちで、時期ではなく特別展など展示内容によって入込客数は変動している。

表 3-1-1 入込客数の推移

(単位：人・%)

施設	年度	平成 14 年度	平成 15 年度	平成 16 年度	平成 17 年度 (A)	平成 18 年度 (B)	対前年度比率 (B)／(A)
名古屋城		915,974	925,250	994,994	1,984,187	1,096,137	55.2
東山動植物園		1,936,940	1,981,796	1,735,184	1,650,336	2,020,314	122.4
東山スカイタワー		245,291	253,450	231,048	224,951	259,886	115.5
テレビ塔		201,579	185,757	181,497	194,463	323,818	166.5
熱田神宮		6,498,585	6,535,998	6,465,460	6,547,860	6,235,956	95.2
名古屋港		248,281	213,817	203,434	202,177	195,639	96.8
名鉄海上観光船		31,397	43,524	36,939	34,133	25,117	73.6
名古屋空港		490,813	434,072	433,411	-	-	-
名古屋市科学館		675,170	624,325	615,425	486,104	614,577	126.4
徳川美術館		193,106	176,613	241,912	420,582	251,863	59.9
名古屋市博物館		502,286	478,858	448,195	568,581	363,271	63.9
東谷山フルーツパーク		560,700	572,313	511,899	459,031	547,717	119.3
農業文化園・戸田川緑地		741,236	681,265	658,225	642,757	712,288	110.8
でんきの科学館		566,229	523,940	492,856	333,893	348,158	104.3
名古屋市美術館		553,087	136,749	196,020	196,062	347,052	177.0
名古屋港水族館		1,784,821	1,733,279	1,759,536	1,663,186	1,927,274	115.9
産業技術記念館		136,587	156,277	150,921	303,312	230,618	76.0
白鳥庭園		94,311	90,989	79,848	76,196	82,966	108.9
市政資料館		69,220	65,228	59,274	67,749	59,240	87.4
名古屋能楽堂		129,448	141,141	127,470	135,297	163,455	120.8
愛知県美術館		759,365	824,938	629,283	1,222,438	761,088	62.3
名古屋市農業センター		735,600	727,864	713,839	669,831	622,769	93.0
シートレインランド		863,945	861,622	728,142	600,388	707,572	117.9
有松・鳴海絞会館		156,085	157,989	191,996	189,908	185,820	97.8
ランの館		141,700	126,562	133,473	117,999	128,193	108.6
名古屋ボストン美術館		303,726	246,609	242,916	209,599	237,245	113.2
パノラマハウス		543,604	454,248	391,754	309,246	-	-
ノリタケの森		553,296	496,929	421,515	533,830	410,558	76.9
ブルーボネット		283,066	161,875	117,892	95,941	93,831	97.8
徳川園		-	-	221,601	399,865	254,727	63.7
文化のみち二葉館		-	-	20,565	56,550	35,436	62.7
イタリア村		-	-	-	4,352,600	1,690,100	38.8
ロボットミュージアム		-	-	-	-	422,173	-
スカイプロムナード		-	-	-	-	160,000	-
小 計		20,915,448	20,013,277	19,436,524	24,949,052	21,514,858	86.2
万博ささしまサテライト事業		-	-	-	3,519,700	-	-
全 体		20,915,448	20,013,277	19,436,524	28,468,752	21,514,858	75.6

注 1：名古屋港は、ポートビル展望室、名古屋海洋博物館、南極観測船ふじの入場者の合計数。名古屋空港は、送迎デッキと航空宇宙館の入場者の合計数。展望デッキは平成 17 年 2 月、パノラマハウスは平成 17 年 10 月、名鉄海上観光船は平成 18 年 11 月にそれぞれ閉鎖した。

注 2：徳川園は平成 16 年 11 月、文化のみち二葉館は平成 17 年 2 月、イタリア村は平成 17 年 4 月、ロボットミュージアムは平成 18 年 10 月、スカイプロムナードは平成 19 年 3 月にそれぞれ開館した。

注 3：万博ささしまサテライト事業は愛・地球博（愛知万博）の関連イベントとして平成 17 年 3 月 18 日～9 月 25 日の間開催された。（全て平成 17 年度入込客数とした）

表 3-1-2 施設別・月別入込客数

(単位：人)

施設	年月	平成 18 年 4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月
名古屋城		144,313	114,594	55,072	61,892	159,000	78,867	95,044	99,871
東山動植物園		240,715	332,051	126,499	66,493	95,236	153,279	275,608	190,163
東山スカイタワー		27,761	34,794	14,890	11,696	19,179	20,822	31,024	24,166
テレビ塔		1,928	12,162	18,863	37,946	52,640	31,232	30,615	29,582
熱田神宮		155,402	199,992	424,719	138,844	127,280	133,255	23,770	262,145
名古屋港		15,975	29,653	12,536	16,415	31,535	14,110	21,734	15,871
名鉄海上観光船		2,738	4,099	1,885	2,545	4,986	2,396	3,845	2,623
名古屋市科学館		28,705	43,091	40,483	58,724	151,027	40,762	44,330	50,269
徳川美術館		20,204	23,123	17,712	15,787	22,266	15,912	23,147	23,478
名古屋市博物館		20,263	38,426	27,396	25,899	25,495	22,385	34,975	69,434
東谷山フルーツパーク		119,292	74,783	25,037	18,263	24,529	33,318	91,403	36,045
農業文化園・戸田川緑地		60,253	151,049	46,893	63,742	66,898	59,221	71,392	50,338
でんきの科学館		0	0	245	47,963	101,921	30,607	30,249	30,813
名古屋市美術館		13,066	25,662	13,139	14,240	19,140	3,568	7,567	9,288
名古屋港水族館		133,877	226,457	115,891	178,499	375,706	152,004	154,073	123,917
産業技術記念館		20,328	18,783	22,678	18,763	19,862	17,723	26,201	31,360
白鳥庭園		8,780	10,864	4,602	2,696	3,376	4,284	10,850	11,115
市政資料館		6,440	5,723	5,009	4,458	4,048	4,816	4,782	7,452
名古屋能楽堂		17,624	11,078	13,837	14,431	9,306	11,436	19,281	18,622
愛知県美術館		55,255	46,213	49,321	58,973	52,378	46,786	55,876	79,110
名古屋市農業センター		39,625	41,448	24,641	22,587	25,110	47,227	38,328	60,818
シートレインランド		42,903	64,198	52,038	72,995	111,129	51,412	59,313	52,794
有松・鳴海絞会館		7,266	10,044	106,796	7,674	7,771	7,512	10,172	7,872
ランの館		8,948	15,127	7,024	6,967	6,758	9,175	16,963	11,462
名古屋ボストン美術館		12,134	19,682	24,653	48,231	76,327	5,738	8,766	8,959
ノリタケの森		33,933	43,733	36,852	29,269	33,883	33,059	46,169	44,987
ブルーボネット		17,004	21,566	8,984	6,636	3,760	6,095	12,192	8,322
徳川園		27,263	33,085	15,840	10,512	17,350	15,298	22,349	26,865
イタリア村		196,500	234,000	146,000	145,000	206,000	126,500	123,900	101,100
文化のみち二葉館		3,083	4,160	3,755	1,850	1,767	2,218	3,256	4,201
ロボットミュージアム		-	-	-	-	-	-	78,793	77,610
スカイプロムナード		-	-	-	-	-	-	-	-
全 体		1,481,578	1,889,640	1,463,290	1,209,990	1,855,663	1,181,017	1,475,967	1,570,652

◆調査対象施設の選定について

名古屋市では、平成 8 年 3 月に社団法人日本観光協会が刊行した『全国観光客数統計～観光統計の調査・集計方法の全国統一～（全国観光統計基準の提案）』の基準を参考に、調査対象施設を選定しており、平成 16 年度に 2 施設（徳川園、文化のみち二葉館）を加え、平成 17 年度には、1 施設（名古屋空港）を除き、1 施設（イタリア村）を加え、平成 18 年度に 2 施設（ロボットミュージアム、スカイプロムナード）を加えた 31 施設を調査対象とした。

平成 17 年度には万博ささしまサテライト事業も調査対象とした。

参考：調査対象施設の基準

- ・原則として、年間入込客数が 5 万人以上である市内観光施設を対象とした。
- ・新規開業施設については、初年度から年間 5 万人以上の入込客が見込まれる場合には、初年度から調査対象とした。

(単位：人)

施設	年月	平成 18 年 12 月	平成 19 年 1 月	2 月	3 月	合計	備 考
名古屋城		44,645	52,786	75,393	114,660	1,096,137	
東山動植物園		66,268	104,917	125,927	243,158	2,020,314	
東山スカイタワー		11,576	16,264	16,928	30,786	259,886	
テレビ塔		33,500	27,660	22,462	25,228	323,818	
熱田神宮		136,575	4,275,984	197,640	160,350	6,235,956	
名古屋港		7,649	11,076	6,004	13,081	195,639	
名鉄海上観光船		-	-	-	-	25,117	平成 18 年 12 月から航路廃止
名古屋市科学館		29,608	37,537	37,820	52,221	614,577	
徳川美術館		4,195	11,544	33,639	40,856	251,863	
名古屋市博物館		28,075	21,333	33,103	16,487	363,271	
東谷山フルーツパーク		13,141	15,927	42,728	53,251	547,717	
農業文化園・戸田川緑地		22,808	28,642	34,808	56,244	712,288	
でんきの科学館		20,008	24,760	29,997	31,595	348,158	平成 18 年 4 月・5 月は臨時休業
名古屋市美術館		14,841	69,252	123,446	33,843	347,052	
名古屋港水族館		79,789	124,004	110,640	152,417	1,927,274	
産業技術記念館		11,869	9,958	17,655	15,438	230,618	
白鳥庭園		4,468	6,520	6,340	9,071	82,966	
市政資料館		3,754	3,148	4,486	5,124	59,240	
名古屋能楽堂		13,559	10,999	8,910	14,372	163,455	
愛知県美術館		62,151	83,026	123,083	48,916	761,088	
名古屋市農業センター		11,196	15,839	106,003	189,947	622,769	
シートレインランド		57,070	45,270	42,669	55,781	707,572	
有松・鳴海絞会館		3,714	4,848	4,706	7,445	185,820	
ランの館		18,436	8,017	9,792	9,524	128,193	
名古屋ボストン美術館		5,680	13,844	4,830	8,401	237,245	
ノリタケの森		25,092	18,993	32,009	32,579	410,558	
ブルーボネット		1,469	0	0	7,803	93,831	平成 18 年 1 月・2 月は休園。
徳川園		8,162	16,378	27,115	34,510	254,727	
イタリア村		125,600	98,900	81,100	105,500	1,690,100	
文化のみち二葉館		1,402	1,576	4,193	3,975	35,436	
ロボットミュージアム		75,849	65,802	57,014	67,105	422,173	平成 18 年 10 月 12 日開館
スカイプロムナード		-	-	-	160,000	160,000	平成 19 年 3 月 6 日開館
全 体		942,149	5,224,804	1,420,440	1,799,668	21,514,858	

（２）名古屋のまちの印象（自由回答より）

観光入込客、宿泊客に名古屋のまちの印象を尋ねたところ、次のような意見があげられました。

良い印象

【観光施設・観光スポット】

- ・いろいろ行く所があるので、とても楽しい街です。全国的にも名前が出てきてうれしいです。（男性 30代）
- ・意外に楽しい所があり、再び来たいです。（女性 50代）
- ・遊ぶところがたくさんあっていいなと思いました。（女性 20代）
- ・楽しめそうな場所がいっぱい出来てうらやましいです。（女性 50代）
- ・訪れた美術館、その他、どこの施設もとても清潔で清掃が行き届いており、気持ちよく拝見いたしました。（女性 60代）
- ・名古屋城がとてもきれいでした。桜がきれいでした。金鯱が輝いていました。名古屋城夜桜まつりが素敵でした。夜景がきれいでした。（女性 30代）
- ・名古屋城はいつ来ても見ごたえのあるところですよ。これからも度々来たいと思っています。（男性 70歳以上）
- ・名古屋城はとてもすごいと思いました。また、花などの展示も行われていて、その内容もすごいと思いました。（男性 30代）
- ・今回は目的が観光ではないため、本当はもっと色々見に行きたい場所がありますが残念です。でも新幹線代さえあれば名古屋はそう遠くはなく来れるので、またゆっくり来たいと思っています。行きたい所が分からなくて聞いても、とても優しく応えて下さる方ばかりでした。今度は一人じゃなくて、城を見て温泉にでもと思っています。（女性 30代）
- ・交通便利。ノリタケの森はゆとりのある施設でした。案内表示、親切です。（女性 70歳以上）
- ・ノリタケの森は楽しかったです。他はこれから行くので、まだ分からないが、観光名所が少ない。（女性 40代）
- ・名古屋には何度も来ているが、ノリタケの森は初めて来た。名古屋駅の観光案内所で地図をもらって、駅近くの見る所を教えてもらった。また行こうと思います。（女性 30代）
- ・どんどん発展する様子が見えます。徳川園、ノリタケの森など、文化的遺産を見学し有意義でした。（男性 70歳以上）
- ・名古屋港のイメージが変わった（良くなった）。（男性 50代）
- ・公共交通機関が発達して、どの観光地へ行くのも便利になったが、まだ子供が小さいため、自家用車を利用している。子供の成長に合わせ、科学館等にも行きたいと思う。（男性 30代）
- ・名古屋駅が意外に大きくて驚きました。（女性 20代）
- ・鹿児島に比べると当然ですが、人も多く建物も多いという印象を受けました。看板やイルミネーションも大きいと思います。仕事ではなく、旅行で遊びに来て観光名所等を見てまわりたいです。（女性 20代）

【名所・旧跡、伝統行事】

- ・道が広い。古い建物とビルが混在していて楽しい。屋根神様が珍しかった。（女性 30代）
- ・今日は名古屋まつりで山車揃いを見に来ました。こういった名古屋の伝統行事を続けていくことはとても大切なことだと思うので、これからもぜひやってほしいです。（女性 10代）
- ・名古屋まつりを直接見るのは、初めてです。色々なスタッフの方が協力して支えているのを目にして、「素晴らしい」と感じました。（男性 40代）
- ・栄はいつもにぎわってるけど、今日は名古屋まつりで特ににぎやかで楽しかったです。（女性 30代）
- ・初めて名古屋まつり見ました。街がきれいに管理されていました。（女性 30代）

【風景、景観】

- ・夜景がきれい。時期的にイルミネーション（名古屋駅付近等）がとてもきれいでした。歩道（車道側）の自転車が多くの気がなった。ゴミがなく（外の歩道と車道の間を老人が掃除していた）、とてもきれいなのがいい。（女性 50代）
- ・毎年12月には、駅前のイルミネーションを見に来ます。（女性 60代）
- ・意外と派手でした。テレビ塔（外）からの眺めは、一人占めという感じで素敵でした！（女性 20代）
- ・整った素敵な街だと思います。ビルが続き建って、大都会ともなれば”変化なし”。城の周辺の森がほっとさせられる感じです。夜景の名古屋はどこの街よりも素晴らしい。感激です。（女性 70歳以上）
- ・名古屋にはおいしい食べ物がたくさんあり、多くの名古屋名物を頂き、楽しむ事ができました。また、名古屋のまちは緑も多くきれいで駅内などもわかりやすく、あまり迷うことなく旅行ができました。（女性 20代）
- ・とても発展的で景観が美しくなった。マナーもとても良く、トラブルなく気持ちよく過ごせた。（女性 60代）

【町並み、雰囲気】

- ・三重から見れば都会。車でも電車でも行きやすいところなので、子供ができてからはよく訪れるようになりました。もっとも子供や老人（特に要介護の人連れ）が利用しやすい、ホッとできるような名古屋の街にしていっていただけたらと思います。今でも出掛けやすい町だと思いますが、それ以上に出掛けやすい場所を増やしていってほしいです。（女性 30代）
- ・人がたくさんいて楽しい。（女性 20代）
- ・日本の中央部に位置し、道路が広く地下鉄も通っていて、にぎやかだと思います。（女性 50代）
- ・東京のような大都会でびっくりしました。（女性 30代）
- ・街並みは予想していた以上に都会でしたが、夜間には人通りが少ないため、驚きました。（女性 20代）
- ・意外に都会。大阪は負けている、悔しい！今回のアンケートをもとに、大阪を盛り上げていきたい。共に頑張りましょう。（男性 20代）
- ・にぎやかで一つ一つのビルが高くて広い。地下街が長くて広いと思った。（女性 20代）
- ・活気が感じられうらやましい。私は岩手県民ですが、名古屋の元気を地方に分けてもらいたいといつも思っています。日本経済のけん引役として、更に頑張ってもらいたいと思います。（男性 50代）
- ・公共交通、特に地下鉄東山線は非常に利便性に富んでいると感じました。また、さまざまなビルが建設中で、名古屋はこれからの街だと感じました。（男性 20代）
- ・名古屋駅周辺の高層ビル群と、名古屋城周辺の町並みははっきり区分けされていて、気持ちよく名古屋の躍動感を見ました。名古屋には仕事の関係で100回以上来ましたが、全て仕事だけで帰りました。まもなく定年を迎え、一度ゆっくり観光したいと考え、休暇をとって来ました。期待通りのおいしい食べ物、名古屋城など歴史のある観光名所でした。（男性 50代）
- ・とても生活のしやすい都市だと思います。オフィス地区と住居の地区が近く、住むには快適な街だと感じました。（男性 30代）
- ・地下にまちが広がっていてびっくりしました。美しい日本（歴史とか）を大切にしていきたいです。（女性 20代）
- ・元気があって楽しい。買い物も娯楽施設も地域がコンパクトに収まってよい。遊びやすく楽しい。明るい町です。（女性 50代）
- ・仙台市と似ていて親近感が持てる。（男性 60代）
- ・金沢市をもっと大きくした都市のように感じました。人が多すぎず、お店の方も全般的に親切だと思いました。（女性 30代）
- ・派手。京都に比べてダイナミック。食べ物が個性的。（女性 20代）
- ・人が少ない。東京や大阪のように人が多くないので観光しやすい。（女性 20代）
- ・30年ぶりに来ました。大変好感的な都市と感じました。（男性 50代）
- ・名古屋で生まれて、5歳まで育ったところなので、いろんなところに行きたいと思って見て回っています。とてもよい町です。（女性 30代）
- ・緑が多い。ゆったりしている（大阪はなんか落ち着きがない、ゴソゴソしている）。案内が下手。（男性 60代）

【店舗、商店】

- ・大型店舗と個人店の共存が見られ、住人がのんびりとしている。（女性 30代）
- ・地下街、地上の町並み共に清潔感があり整理されていて、それぞれの店に入りやすく見やすい。名古屋港の水族館は広く、一日で十分楽しめた。大阪から近いので、また是非行きたい都市です。（女性 20代）
- ・お店がたくさんあり、活気のある街です。道路等にゴミも落ちていなくて、きれいな街だと思いました。（女性 50代）
- ・街並が統一されていない印象を受けた。名古屋へは買い物で来ることが多いので買い物の街のイメージがあったが、ノリタケの森に初めて来て、このような場所があることを初めて知った。（男性 30代）

【食べ物】

- ・もう食べるもの全てがおいしかったです！コーチン、ひつまぶし、小倉トースト、味噌煮込みうどん、味噌カツ、いろいろなどなど、美味な名物ばかりで感動しました。毎日食い倒れて満腹になりました。旅館の従業員の皆さんがとても優しくフレンドリーで、名古屋のおすすめ料理やおすすめスポットを教えてくれて、名古屋初の私たちにとってとても助かりました。駅もきれいで花壇が駅にあったり、ビルもお店もたくさん種類があって、本当に2日間まるまる満喫できました。（女性 20代）
- ・名物がたくさんあって、1泊2日で食べつくすのが大変でした。（女性 20代）

- ・食べ物安くておいしい（大阪以上！日本一！）。道路が広くて、信号が見やすい。金銭感覚がマヒする。（女性 30代）
- ・食べるものおいしいです。手羽先を食べました。あんかけスパゲティも食べました。（女性 30代）
- ・ひつまぶしおいしかった！！（女性 50代）
- ・京都とは違う食文化や雰囲気が好きです。今日は青春18キップで来ました。ういろを買って帰ります。（女性 30代）

【名古屋人、気質】

- ・礼儀正しい。あたたかみがある。新潟では手に入りにくいアイテム（フィギュア、同人誌が豊富）があつて、居心地が良い。（男性 20代）
- ・予想だと、大阪みたいなせかせかですうずうしい感じの人たちが多いと思っていたのですが、皆さん穏やかで親切でとても優しくて印象が良かったです。おいしいお食事いっぱい、大大満足です！観光もできてとても楽しかったです。旅館の従業員の方がとてもあたたかく私たちを歓迎してくださって嬉しかったです！大好きな友達と就職前の最後の旅行でこの名古屋に来て、本当に最高の思い出になりました。（女性 20代）
- ・のんびりとした人柄の方が多いと思いました。（男性 50代）
- ・思ったより人が少ない。初めて来ました。道や目的地に着くまで、何度も人に尋ねましたが、丁寧に教えて頂きました。人にとっても優しい街だと思います。（女性 20代）
- ・今回初めて名古屋に来て、銀座に似ているなど驚きましたが、名古屋の方は活気があつて親切だなと思いました。美味しいお店もたくさんあつて、とっても気に入りました。（女性 30代）
- ・名古屋のおばちゃんは優しいです。（男性 20代）
- ・名古屋って素晴らしくあたたかく親切な人にめぐりあう事ができてうれしい。また参ります。（女性 70歳以上）
- ・人は親切。荷物も快く預かってくれた。タクシーの運転手がよく説明してくれたのでよかった。きしめんがおいしかった。みそかつもおいしかった。（女性 70歳以上）
- ・大阪みたいに繁華街がごちゃごちゃしていなくてきれいでした。タクシーの運転手さんがとてもフレンドリーで、観光地や名古屋城のことを教えてください、とてもいい思い出になりました。（女性 20代）
- ・幼児連れでタクシーを何度か利用したが、どの運転手さんともとても親切で助かりました！町の方もあやしてくれたりして、東京よりも人が温かいと感じました。ビバ名古屋。（女性 30代）
- ・人がイイ！タクシーのおじさんがイキだった。アンケートのお兄さんがイケメンだった。路上駐車に量にびっくり。東京も取り締まらないでほしい。（女性 20代）
- ・バス、ホテル、タクシーでとても親切にしてもらったという知人の話を聞きました。ホテルの対応も良いです。市内も歩きやすく、楽しい街です。（男性 40代）
- ・丁寧に観光案内してくれてありがとう！！（男性 30代）
- ・女性のファッションが、個性的な方が多く、見ていてとても楽しい。（女性 30代）
- ・お洒落な建物が多く、興味深かった。そして、女の人がかっこいい人多そうだった。（男性 20代）
- ・新旧混在。活気がある。おしゃれのポイントが少々ずれてる（名古屋らしくていいと思います）。（女性 30代）
- ・新しい感じがする。名古屋弁があんまり聞こえない。（男性 20代）
- ・名古屋弁はあまりしゃべらないようですね（「ぎゃー」とか「みゃー」とか）。（女性 30代）
- ・東京と変わらない感じでもとてもきれいだと思います。至る所でお茶が出てくるのがおもしろいです。（女性 20代）

【道路・道路交通】

- ・市内は駐車場が少ないが、他の都市部よりは多いと思う。普段車で来ることはないが、たまに行く時、乳児がいるのでとてもありがたい。地下鉄、バスが多いので公共交通が使いやすい。町並みはとても華やかに感じる。（女性 30代）
- ・バス優先道路のシステムに興味深く感じられた。路上駐車が多いのには驚かされました。名古屋城のライトアップ、素敵でした。（女性 40代）
- ・名古屋は道が広くて歩きやすいです。エスカレーターの本真の中に、ラインが引いてあるのが衝撃的でした。きっちりしてますね。名古屋港のイタリア村はすごく素敵でした。栄も繁華街なのに、すごい街中はきれいでした。名古屋いいですね！！（女性 20代）
- ・今回は2回目の名古屋訪問です。前回は地下鉄（バス）での移動でした。今回はレンタカーをお借りして移動しました。慣れない上、通路の中央が工事の所が多くあり、少々運転に不便でした。でも、どこに行っても広い道路が続いており、公園地下のパーキングなども広く、車での移動で一番大変な駐車場に困らなかったのが良かったと思います。（男性 50代）
- ・神奈川に比べ道が広い。車が速い。しゃちほこが素晴らしい。（男性 20代）

- ・ 緑の街路樹が気持ちよく感じられました。街路樹はこれからも多く設けてください。(女性 60代)
- ・ 街がきれいで歩きやすく、見るところが多かった。(男性 20代)
- ・ 道が広く、特に歩道が広いので感激しました。また、地下鉄網が便利なので、手軽に名古屋市内をまわることが出来て短時間で色々な所を訪れることが出来るのが良い点だと思います。(女性 50代)

【公共交通】

- ・ 交通手段が分かりやすいので、電車・バス等で目的地へ行ける。都心を離れると、都心でひなびた風情があるのがおもしろい。空港に風呂があるのも、落ち着いてよい。(女性 40代)
- ・ 公共交通の利便性や観光施設の回遊性が優れていると思った。都会ですね。(女性 30代)
- ・ 地下鉄でほとんどの場所に移動できて便利。案内表示も分かりやすい。(男性 40代)
- ・ 祝日ということで、どこも混雑していました。ただ、観光施設などは地下鉄の駅を降りてすぐなので、利便性はいいと思います。(女性 20代)
- ・ 地下鉄エコ切符は利用しやすくとても良いです。(女性 40代)
- ・ 土日、フリーの地下鉄、バスの切符は大満足です。また何度か来たいと思います。(女性 50代)
- ・ 地下鉄にエレベーターができて、子供と出かけるときに楽です。(女性 30代)
- ・ 電車が東京や大阪に比べ、ゆっくりでした。(男性 20代)

【その他】

- ・ 名古屋は素晴らしい。さすが天下統一の織田さんの出身地です。今後も頑張ってください。(男性 60代)
- ・ 交通機関が充実しているので、どこでも行きやすい。ホテルの対応が親切で、また来たい。(男性 30代)
- ・ 大都市なのに信号機のない所(交差点)があるのがびっくり。初めて来たのに場所がわかりやすい(標識など)。名古屋城が思ったより小さく見えた。街中の観覧車はあまり意味ないのでは。道案内等親切、丁寧で好感。(女性 50代)

不満な点、要望

【道路、運転マナー】

- ・ 道が広くて走りやすそうですが、路駐が多い気がしました。(男性 30代)
- ・ 田舎に比べると車の往来が激しいのは納得できるのですが、ここまで来るまでに迷ってしまったことを考えると、少し道路が複雑でわかりにくかったと思います。(男性 20代)
- ・ 道路がとても広い。その割に道が分かりにくい。(男性 30代)
- ・ 名古屋高速及び、伊勢湾岸道の料金が非常に高い。(男性 30代)

【公共交通】

- ・ にぎやかで人が多い。地下鉄が入り組んで迷った。(男性 30代)
- ・ 栄の町がにぎやかだった。地下鉄が便利だが、1区間200円は高い感じがした。(女性 40代)

【案内、表示】

- ・ 主要駅にそれぞれの観光地のマップがあるといいと思います。(女性 60代)
- ・ 駅周辺に道案内の人がいると便利だと思います。(女性 20代)
- ・ 名古屋駅からのバスの観光名所へのアクセスが分かりにくい。道路は広くてごみごみしてなくて良い。(男性 50代)
- ・ 地下鉄を降りた箇所くらいから、もう少し大須の案内が詳しくあるといいな。たとえば、大須中華街はこっちとか、目的に合わせて案内がほしい。(女性 40代)

【町づくり、町並み】

- ・ 旧建築のスポットが多くても全体に近代的。神社・仏閣が近代的過ぎる。(男性 50代)
- ・ 城下町らしくない。近代的すぎる。(女性 50代)
- ・ ちょっと外れたら田舎。(男性 10代)

- ・名駅や栄はにぎわっているが、中心部以外は閑散としている。緑区は公園が多いけど、交通機関が不便なので、早く地下鉄が開通すれば住みやすくなると思う。地下鉄やＪＲ名鉄などの案内は、他の都市よりも分かりやすいと思う。(女性 30代)

【店舗、商店】

- ・地下鉄の路線がたくさんあり、移動するときに迷った。地下鉄のエコきっぷが利用できてよかった。デパートなどが２０時に閉まってしまうことにびっくり。買物がしなかった。(女性 20代)
- ・ポートメッセ近くにショッピングするところがない。(女性 10代)

【食べ物】

- ・はじめての名古屋だったので有名なひつまぶしを食べたくてグルメマップで調べていったが、入った店が悪かったのか、味がまいちであった。今度来たら本当の名古屋のひつまぶしを食べたい。(男性 50代)

【名古屋まつり】

- ・名古屋まつりは年々縮小傾向で、見に来る人も減っている気がします。もっと色々考えてやったほうがいいと思います。若い人たちにも興味をもたれるような趣向を考えてみてください。あと、矢田川の花火を復活させてほしいです。(女性 40代)
- ・英傑行列にたどり着くまでが長すぎる。とりわけ、子供みこしなど参加することに意義があると思うが。もっとメリハリが必要。(男性 50代)

【宣伝、告知】

- ・普通。特に特徴が伝わってこないの、宣伝に工夫がほしい。(女性 30代)
- ・歴史的に貴重なものが多いのに宣伝が足りない。市指定のパッケージ案をもっと出すべき。(男性 40代)
- ・新聞の三河版に、名古屋まつりの詳細掲載がなかったので、情報収集のために早朝より苦労しました。(男性 30代)
- ・地下鉄降車口等に、英傑行列の時刻・予定が大きく掲示されていると良かった。(男性 50代)

【その他】

- ・交通の便はすごくいいと思います。ただ、時間（本数）が少ないのでバスの本数を増やしてほしいです。もっと歩きタバコ禁止区域を増やしてほしいです。(女性 20代)
- ・人の流れが遅い（歩行者）。公共交通の利便性は、大阪および東京と変わらない。中心部を離れると人通りが少ない。(男性 30代)
- ・名古屋駅は人通りが多く、人込みにぶつかってしまうことが度々あり、とても驚きました。(男性 20代)
- ・大きな特徴がない。街が他都市と比べてきれい。道が広い。交通費が高い。公共交通機関が弱い。(男性 30代)

お楽しみどころ恐れ入りますが、アンケート調査にご協力いただきますようお願い申し上げます。

問 1 どこからお越しになりましたか（出発地はどちらですか）。1つに○印をつけてください。

1	名古屋市内	2	名古屋市を除く愛知県	3	岐阜県	4	三重県
5	静岡県	6	その他の都道府県（具体的に）				

問 2 今回、名古屋を訪れた（今回の名古屋への旅行）主な目的は何ですか。1つに○印をつけてください。

1	観光施設の見学	2	ショッピング（非日常の買物、ウインドショッピングを含む）
3	観劇・コンサート	4	イベント（参加・鑑賞）
5	飲食	6	その他の娯楽行為（具体的に）
7	商用・公用	8	帰省・冠婚葬祭
9	大会・学会・国際会議への出席・参加	10	その他（具体的に）

問 3 問 2 で「1」から「6」を選んだ方にお伺いします。観光・娯楽の目的地として、名古屋を選んだきっかけは何ですか。該当するものをすべてに○印をつけてください。

1	雑誌・新聞をみて	2	旅行代理店の紹介や店頭チラシをみて
3	テレビやラジオ番組の情報から	4	インターネットホームページの情報から
5	友人・知人に薦められたから	6	前に来たことがあり良かったから
7	駅や電車内のポスター・広告	8	特になし
9	その他（）		

問 4 今回の名古屋訪問で、既に訪れたところ、またはこれから訪れる施設に○印をつけてください。

1	名古屋城	2	熱田神宮	3	白鳥庭園
4	ブルーボネット	5	徳川園	6	名古屋市博物館
7	市政資料館	8	文化のみち二葉館	9	徳川美術館
10	名古屋市美術館	11	愛知県美術館	12	名古屋ボストン美術館
13	東山動植物園	14	ランの館	15	名古屋港水族館
16	名古屋港	17	名古屋市科学館	18	でんきの科学館
19	名古屋能楽堂	20	名古屋市農業センター	21	有松・鳴海絞会館
22	産業技術記念館	23	ノリタケの森	24	東谷山フルーツパーク
25	農業文化園・戸田川緑地	26	シートレインランド	27	イタリヤ村
28	東山スカイタワー	29	テレビ塔	30	その他（）

その他、観劇、スポーツ観戦、コンサート、まつりなど行・祭事、イベントで訪れたところ
名称（）会場（）

問 5 今回の名古屋訪問（名古屋への旅行）はパッケージ旅行ですか。どちらかに○印をつけてください。

1	パッケージ旅行	2	パッケージ旅行ではない
---	---------	---	-------------

問 6 今回の名古屋訪問（今回の名古屋への旅行）における1人あたりのご予算をお教えください。

① 1人あたりのご旅行の予算（パッケージ旅行の方はパッケージ料金を含みます）。1つに○印をつけてください。

1	5,000 円未満	2	5,000～10,000 円未満	3	10,000～30,000 円未満
4	30,000～50,000 円未満	5	50,000 円以上		

② 現金、カードの使用を含めて、名古屋市内で使うお金（パッケージ旅行の方はパッケージ料金を除きます。）は、1人あたりいくらほどになりますか

およそ（）円くらい

③ 市内での交通費（都市高速道路通行料や駐車場代金を含みます）。1つに○印をつけてください。

1	交通費はかからない	2	1,000 円未満	3	1,000～3,000 円未満
4	3,000～5,000 円未満	5	5,000 円以上	6	バック旅行のため不明

④ 市内でのおみやげ代。1つに○印をつけてください。

1	購入予定なし	2	2,000 円未満	3	2,000～5,000 円未満
4	5,000～10,000 円未満	5	10,000 円以上		

⑤ 市内での食事代（パッケージ旅行の方はパッケージ料金に含まれていない食事代の合計額）。1つに○印をつけてください。

1	お弁当持参で飲み物類を購入する程度	2	2,000 円未満
3	2,000～5,000 円未満	4	5,000～10,000 円未満
5	10,000～30,000 円未満	6	30,000 円以上

⑥ 市内での宿泊代（市内の宿泊施設に宿泊される方は1泊の概ねの平均額）。1つに○印をつけてください。

1	5,000 円未満	2	5,000～15,000 円未満	3	15,000～30,000 円未満
4	30,000 円以上	5	バック旅行のため不明		
6	友人、知人の家に宿泊するので、費用はかからない				
7	名古屋市内には宿泊しない				

問7から問11については、名古屋市外からお越しの方のみお答えください。

問7 名古屋市内に訪れたのは、今回で何回目ですか。該当するもの1つに○印をつけてください。

1 はじめて 2 2回目 3 3回目 4 4～9回目 5 10回目以上

問8 今回の訪問（旅行）において、名古屋までの主な交通手段すべてに○印をつけてください。

1 J R 2 名鉄電車 3 近鉄電車
4 自家用車 5 航空機 6 路線バス
7 観光バス 8 その他（ ）

問9 今回の訪れる予定、もしくは既に訪れたところ（地域）すべてに○印をつけてください。

1 名古屋市内のみ 2 明治村・犬山方面 3 瀬戸・小原方面
4 知多・常滑・セトア方面 5 豊田・岡崎・足助方面 6 蒲郡・西浦・三谷方面
7 豊川・鳳来寺方面 8 豊橋・伊良湖方面 9 岐阜・関ヶ原方面
10 多治見・恵那・中津川方面 11 下呂・高山方面 12 長島温泉・湯の山・鈴鹿方面
13 伊勢・志摩方面 14 その他（ ）

問10 今回の訪問（旅行）は何日間の予定ですか。該当するもの1つに○印をつけてください。

1 日帰り 2 2日間 3 3日間 4 4日間 5 5日以上

問11 問10で回答が2日間以上のご旅行の方に向います。

名古屋市内に宿泊される日数（予定も含む）をお答えください。該当するもの1つに○印をつけてください。

1 1泊 2 2泊 3 3泊 4 4泊以上
5 名古屋市内には宿泊しない

あなたご自身（回答者）についてご質問します。

問12 あなたの性別・年齢をお答えください。（○は一つずつ）

①性別

1 男
2 女

②年齢

1 10～19歳 2 20～29歳 3 30～39歳
4 40～49歳 5 50～59歳 6 60～69歳
7 70歳以上

問13 本日の名古屋訪問（名古屋への旅行）で同行されている方をお教えください。（○は一つだけ）

1 ひとり（同行者なし） 2 友人・知人
3 幼児や小学生連れの家族 4 夫婦
5 家族（「3」・「4」以外） 6 団体旅行
7 修学旅行 8 その他（ ）

【自由意見】 名古屋のまちの印象をお聞かせください。

まち並み、にぎわい、公共交通の利便性、道路や施設の案内表示、まちの美観や治安、観光施設の回遊性など、何でも結構です。

質問は以上で終了です。お忙しいところ、調査に協力していただき、誠にありがとうございました。
この調査結果は、統計的に処理し、有用な資料として活用させていただきます。

名古屋市観光客・宿泊客動向調査（宿泊施設）[対象年次：平成18年度]

○貴施設の名称、所在地、電話番号について変更などあるかご確認ください。また、差し支えなければ、この調査票の記入者の氏名等をご記入ください。

貴施設の名称	
貴施設所在地	〒名古屋市
電話 番号	
ご 記 入 者	(ご所属) (ご氏名)

問1 貴施設のタイプについて、次のいずれか1つに○印をお付けください。

1 ホテル	2 旅館	3 簡易宿所	4 下宿
-------	------	--------	------

問2 貴施設の平成19年3月末時点の室数および収容可能人数をご確認ください。変更などがあれば、修正をお願いします。

和 室		洋 室		合 計	
室 数	収容人数	室 数	収容人数	室 数	収容人数
室	人	室	人	室	人

問3 貴施設の平成18年4月から平成19年3月までの宿泊客数（月別・合計）をご記入ください。
※月別で把握できない場合や正確な記録がない場合でも、ご記入頂ける範囲でご回答ください。

	18年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
①実人数	人	人	人	人	人	人	人
うち外国人	人	人	人	人	人	人	人
②延人数	人	人	人	人	人	人	人
うち外国人	人	人	人	人	人	人	人

	18年11月	12月	19年1月	2月	3月	合 計	
①実人数	人	人	人	人	人	人	
うち外国人	人	人	人	人	人	人	
②延人数	人	人	人	人	人	人	
うち外国人	人	人	人	人	人	人	

注：連泊客の数え方

- ①実人数は、連泊客が2泊以上宿泊しても「1人」と数えてください。
- ②延人数は、連泊客が同一の方であれば1泊で「1人」、2泊で「2人」と数えてください。

問4 貴施設では、外国からの宿泊客が、年間でどの国から何人ありますか。宿泊客数の多い上位3位についてご記入下さい。なお、宿泊客数は実人数でご記入下さい。（概数でも結構です）

第1位		第2位		第3位	
国 名	宿泊客数	国 名	宿泊客数	国 名	宿泊客数
	人		人		人

問5 貴施設では、これまでに修学旅行団体（小・中・高・高校など）を受入れたことがありますか。また今後受入れることはできますか。次のいずれか1つに○印をお付けください。

- 1 平成18年度、受入れた。
- 2 平成18年度受入れなかったが、これまでに受入れたことはある。
- 3 実績はないが受入れ可能。
- 4 受入れられない。

問6 問5で「1 平成18年度、受入れた。」と回答した施設にお聞きます。貴施設が平成18年4月1日から平成19年3月末までに受入れた修学旅行団体の所在地（都道府県名）、学校数、宿泊客数を下記の例にしたがってご記入ください。

〈例〉「京都府の小学校が2校で400人、中学校が1校100人」の場合

都道府県名	小学校	中学校	高等学校	その他
京都府	2校 400人	1校 100人	校 人	校 人

都道府県名	小学校	中学校	高等学校	その他
	校 人	校 人	校 人	校 人
	校 人	校 人	校 人	校 人
	校 人	校 人	校 人	校 人
	校 人	校 人	校 人	校 人
	校 人	校 人	校 人	校 人
	校 人	校 人	校 人	校 人
	校 人	校 人	校 人	校 人

問7 問5で「1」以外を回答した施設にお聞きます。貴施設が平成18年度に修学旅行団体を受入れたなかった理由についてご記入ください。

[]

ご多忙中、ご協力いただきましてありがとうございます。

名古屋市市民経済局文化観光部観光推進室

ページ1	全員		
番号	条件	内容	区分
Q1	必須回答	あなたは、「名古屋」といえば、何を思い浮かべますか。	FA
Q2	必須回答	あなたは、名古屋に訪れたことがありますか。	SA
1		訪れたことがある	
2		訪れたことがない	
Q3	必須回答	名古屋に訪れる場合の主な交通手段をお選びください。名古屋に訪れたことがない方も、名古屋に訪れることを想定してお答えください。	MA
1		新幹線	
2		鉄道（新幹線以外）	
3		航空機	
4		長距離バス	
5		観光バス	
6		自家用車	
7		フェリー	
8		その他	FA付
Q4	必須回答：Q2 = 1	名古屋を訪れた目的は何ですか。	MA
1		名古屋城、徳川美術館、名古屋港水族館など観光施設の見学	
2		観劇・コンサート	
3		スポーツ観戦（野球、サッカー、相撲等）	
4		まつり・イベント	
5		ショッピング	
6		仕事	
7		友人・親戚への訪問	
8		その他	FA付
Q5	必須回答：Q2 = 1	名古屋を訪れたきっかけはなんですか。	MA
1		以前から訪れたいと思っていたから	
2		知人に薦められたから・知人に案内されたから	
3		ガイドブックやパンフレットを見て	
4		テレビ等番組を見て	
5		ホームページを見て	
6		団体の訪問コースに組み込まれていたから	
7		興味のある催事が開催されていたから	
8		その他	FA付
Q6	必須回答	名古屋は以下に示すような特色を有しています。この中で、あなたが知っている名古屋の特色は何ですか。あてはまるものをお選びください。	MA
1		名古屋城、徳川園、建中寺、大須観音などの徳川家康、豊臣秀吉、織田信長ゆかりの史跡や遺産が残っている	
2		源氏物語絵巻をはじめとする国宝級の文化財や数々の大名道具を展示し、武家文化を伝える徳川美術館がある	
3		トヨタテクノミュージアム、リタケの森などの企業の産業観光施設が集積している	
4		有松・鳴海絞り、名古屋仏壇、名古屋仏壇、尾張七宝焼などの伝統工芸品が伝わっている	
5		名古屋港には、世界最大級の水槽でイルカのショーやシャチが見られる名古屋港水族館やイタリヤ村がある	
6		オペラ、ミュージカル、コンサート、能楽の専用劇場があり、優れた芸術文化が鑑賞しやすい	
7		日本で最初に展望台を備えた集約テレビ電波塔として建設された名古屋テレビ塔がある	
8		名古屋の繁華街、栄地区には、売り場場精日本一の百貨店をはじめとする大型店が集積するほか、主要な外国高級ブランドの直営店が集まっている	
9		パソコショップ、古着、中古品の買取・販売店が集積してにぎわう大須商店街がある	
10		味噌煮込み、みそかつ、ひつまぶし、手羽先などの独自の食文化がある	
11		その他	FA付
12		知っている特色はない	

Q7	必須回答	名古屋の観光施設等の中で、あなたが知っているものをお答えください。	MA
1		名古屋城	
2		東山動植物園	
3		名古屋テレビ塔	
4		熱田神宮	
5		名古屋港水族館、イタリヤ村	
6		徳川園・徳川美術館	
7		リタケの森、トヨタテクノミュージアムなど産業観光施設	
8		名古屋科学館、でんきの科学館、名古屋市博物館など	
9		愛知県美術館、名古屋市美術館、名古屋ポストン美術館など	
10		栄地区のブランドショップ街	
11		大須商店街・大須観音・大須大通町人祭り	
12		名古屋まつり(にの地域出身の織田信長、豊臣秀吉、徳川家康に扮する三英傑行列など)	
13		にっぽんど真ん中祭り	
14		観劇(御園座・中日劇場、名古屋ミュージカル劇場、名鉄ホールなど)	
15		スポーツ鑑賞(ナゴヤドーム、レインボーホール、愛知県体育館、瑞穂陸上競技場など)	
16		コンサート(レインボーホール、センチュリーホールなど)	
17		なごやめし(味噌煮込み、ひつまぶし、きしめん、みそかつ、手羽先など)	
18		その他	FA付
19		知っているところ、ことがない	
Q8	必須回答：Q2 = 1	名古屋の観光施設等の中で、あなたが訪れたり体験したことがあるものをお答えください。	MA
1		名古屋城	
2		東山動植物園	
3		名古屋テレビ塔	
4		熱田神宮	
5		名古屋港水族館、イタリヤ村	
6		徳川園・徳川美術館	
7		リタケの森、トヨタテクノミュージアムなど産業観光施設	
8		名古屋科学館、でんきの科学館、名古屋市博物館など	
9		愛知県美術館、名古屋市美術館、名古屋ポストン美術館など	
10		栄地区のブランドショップ街	
11		大須商店街・大須観音・大須大通町人祭り	
12		名古屋まつり(にの地域出身の織田信長、豊臣秀吉、徳川家康に扮する三英傑行列など)	
13		にっぽんど真ん中祭り	
14		観劇(御園座・中日劇場、名古屋ミュージカル劇場、名鉄ホールなど)	
15		スポーツ鑑賞(ナゴヤドーム、レインボーホール、愛知県体育館、瑞穂陸上競技場など)	
16		コンサート(レインボーホール、センチュリーホールなど)	
17		なごやめし(味噌煮込み、ひつまぶし、きしめん、みそかつ、手羽先など)	
18		その他	FA付
19		訪れたり体験したことがある観光施設がない	
Q9	必須回答：Q2 = 1 and Q8 != 19	その観光施設等を訪れた感想(良かった点、悪かった点など)について自由に記入してください。	FA

Q10	必須回答：Q2 = 1 and Q8 != 19	名古屋に観光で訪れた時に、どのように感じましたか。あてはまるものをお選びください。	SAマトリクス
Q10M001		観光施設等の魅力	
Q10M002		観光施設周辺の雰囲気	
Q10M003		係員、店員の親切さ、親しみやすさ	
Q10M004		おみやげ品	
Q10M005		なごやめしなどの食事	
Q10M006		案内表示等のわかりやすさ	
Q10M007		総合的な魅力	
1		満足	
2		やや満足	
3		どちらともいえない	
4		やや不満	
5		不満	
Q11	必須回答	あなたは今後、観光等で名古屋を訪れたいと思いますか。	SA
1		是非訪れたい	
2		機会があれば訪れたい	
3		訪れたいとは思わない	
4		その他	FA付
Q12	必須回答：Q11 = 1,2	訪れたいと思う名古屋の観光施設等はどこですか。	MA
1		名古屋城	
2		真山動物公園	
3		名古屋テレビ塔	
4		熱田神宮	
5		名古屋港水族館、イタリヤ村	
6		徳川園・徳川美術館	
7		刈谷の森、トヨタテクノミュージアムなど産業観光施設	
8		名古屋科学館、でんきの科学館、名古屋市博物館など	
9		愛知県美術館、名古屋市美術館、名古屋ホストン美術館など	
10		栄地区のブランドショップ街	
11		大須商店街・大須観音・大須大通町人祭り	
12		名古屋まつり(この地域出身の織田信長、豊臣秀吉、徳川家康に扮する三英傑行列など)	
13		につぼんど真ん中祭り	
14		観劇(御園座・中日劇場・名古屋ミュージカル劇場・名録ホールなど)	
15		スポーツ鑑賞(ナゴヤドーム、レインボーホール、愛知県体育館、瑞穂陸上競技場など)	
16		コンサート(レインボーホール、センチュリーホールなど)	
17		なごやめし(味噌煮込み、ひつまぶし、きしめん、みそかつ、手羽先など)	
18		その他	FA付
Q13	必須回答：Q11 = 3	訪れたいとは思わない理由は何ですか。あてはまるもの一つをお選びください。	SA
1		どの観光施設等もよく知らないから	
2		どの観光施設等も興味を感じないから	
3		名古屋は遠いから	
4		その他	FA付
Q14	必須回答	名古屋市内の主要な歴史文化施設(名古屋城、徳川園など)や産業観光施設(トヨタテクノミュージアムなど)を気楽に巡ることができる「観光ルートバス」がありますが、あなたは利用したいと思いますか。あてはまるものをお選びください。	SA
1		是非利用したい	
2		機会があれば利用したい	
3		利用したいとは思わない	
Q15	必須回答	あなたは、「名古屋城本丸御殿」が復元されれば訪れてみたいと思いますか。あてはまるものをお選びください。	SA
1		是非訪れたい	
2		機会があれば訪れたい	
3		訪れたいとは思わない	

Q16	必須回答	あなたが思う「名古屋」のイメージを一言でお願いします。	FA
Q17	必須回答	名古屋の観光に対するご意見・ご感想、ご提案などがありましたら自由にご記入ください。	FA
F1	必須回答	あなたの性別をお答えください。	SA
1		男性	
2		女性	
F2	必須回答	あなたの年齢をお答えください。	SA
1		20歳未満	
2		20歳代	
3		30歳代	
4		40歳代	
5		50歳代	
6		60歳以上	
F3	必須回答	お住みの地域(都道府県)をお答えください。	FA
F4	必須回答	お住みの、市区町村をお答えください。	FA



名古屋市観光客・宿泊客動向調査
(平成18年度)

平成19年 10月発行

発行 名古屋市市民経済局
業務委託先 株式会社 綜研名古屋
電話 (052) 733-3302